令和４年度　社会福祉法人摂津宥和会　事業報告

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）発生から３年目を迎えた令和４年度は、「with コロナ」に向けた移行が大きく進んだ１年となった。

これまでは感染症法の「新型インフルエンザ等感染症」に位置付けられ、国や自治体が実施できる措置については「２類相当」とされてきたことから、すべての陽性者が発生届の対象となっていたが、令和４年９月 26 日以降は、65 歳以上の方、入院を要する方など４類型に限定された。また、陽性者および濃厚接触者の自宅待機期間について、陽性者は、令和４年９月に７日間、濃厚接触者は、令和４年７月に５日間にそれぞれ短縮された。さらに、これまでは屋内では原則着用を推奨するとされてきた感染症対策としてのマスク着用について、令和５年３月 13 日以降は、個人の判断に委ねることを基本とするとされた。加えて、令和５年５月８日より、感染症法上の位置づけについても、季節性インフルエンザ等と同じ「５類感染症」へ引き下げることが決定された。

当法人においては、重症化リスクの高い利用者がいることを踏まえ、各施設においては令和３年度までと同様の感染防止対策を徹底して行った。また、令和５年３月 13 日以降５月７日まで間、職員については、通勤中および勤務時間中、これまで通りマスクの着用を求めるものとした。さらに、来年度からの「５類感染症」移行後の対応については、関係省庁の発表等に基づき、適切な対応を行っていく予定である。

人材確保に向けた取り組みでは、2023 年卒採用活動において、学生２名に対して採用内定を出すことができた。また、2024 年卒採用活動においては、インターンシップとして実施した施設見学の参加学生数について、前年度の４名から、今年度は約２倍の９名となった。ここから採用内定につなげていけるよう、取り組んでいきたい。

人材育成に向けた取り組みでは、「全体研修」、「管理監督者向け研修」、「若手職員向け研修」など、様々な研修を企画し、実施することができた。

虐待防止に向けた取り組みでは、今年度より、各施設において「虐待防止責任者」および「虐待防止マネジャー」を選任し、法人全体で「虐待防止・身体拘束等適正化委員会」を設置した。今年度は、委員会を１回、マネジャー会議を４回、外部講師を招いた研修を２回実施することができた。

１　法人事務局　・・・・・・・ 1

２　地域生活支援センター

Ⅰ　障害者支援施設「摂津市立みきの路」　・・・・・・・ 21

Ⅱ　共同生活援助（グループホーム）　・・・・・・・ 41

３　摂津市立児童発達支援センター

Ⅰ　児童発達支援センター「つくし園」　・・・・・・・ 53

Ⅱ　障害児通所支援施設「めばえ園」　・・・・・・・ 67

４　多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」　・・・・・・・ 73

５　摂津市立身体障害者・老人福祉センター　・・・・・・・ 95

６　摂津市障害者職業能力開発センター「せっつくすのき」　・・・・・・・104

７　摂津市立第１児童センター　・・・・・・・118

８　摂津市障害者総合支援センター

Ⅰ　摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」　・・・・・・・129

Ⅱ　茨木・摂津障害者就業・生活支援センター　・・・・・・・136

1　法人事務局

1　概況

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、令和２年１月 16 日に国内で初めて感染者が確認されてから３年が過ぎ、大きな転換期を迎えている。

令和４年９月には、感染者の発生届の対象について 65 歳以上の方、入院を要する方など４類型に限定された。さらに、感染症対策としてのマスク着用について、これまでは屋内では原則着用を推奨するとされてきたが、令和５年３月 13 日以降は行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の判断に委ねることを基本とするとされた。加えて、令和５年５月８日からは、感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザ等と同じ

「５類感染症」へ移行されることが決定するなど、「with コロナ」に向けた移行が進んでいる。当法人においては、厚生労働省、大阪府、摂津市などの関係省庁の発表等について、速やかに情報収集を行って対応し、必要に応じて職員への周知を行った。

人材確保に向けた取り組みにおいては、令和 3 年 6 月からの 2023 年卒採用活動での様々な取り組みの結果、２名の学生に対して採用内定を出すことができた。

人材育成に向けた取り組みにおいては、令和４年 10 月より、次代を担う職員の人材育成とサービスの質の向上を目的として、新たに法人事務局と各施設の中堅職員で構成する「サービス管理責任者等会議」を設置し、参加者全員で法人内各施設のサービス内容等についての情報を共有してきた。

2　事業の実施状況

（１）理事会の開催

回	開催日	出席者	議　案
1	令和４年 ５月 27 日	理事　６名 監事　２名	1　理事長の業務執行報告 2　業務執行理事の業務執行報告 3　令和４年度補正予算第１号承認 4　経理規則の一部を改正する規則制定 5　令和３年度事業報告承認 6　令和３年度収支決算承認 7　令和４年度第１回定時評議員会開催
2	令和５年 ３月 27 日	理事　６名 監事　２名	1　理事長の業務執行報告 2　業務執行理事の業務執行報告 3　令和４年度補正予算専決処分 4　職員就業規則の一部を改正する規則制定 5　役員賠償責任保険契約締結 6　令和５年度指定管理者年度協定書締結 7　令和５年度事業計画承認 8　令和５年度収支予算承認 9　評議員選任・解任委員選任 10　施設長選任

（２）評議員会の開催

回	開催日	出席者	議　案
1	令和４年 ６月 20 日 決議の省略 による開催	評議員 ７名 理事　　６名 監事　　２名	1　令和４年度第１回理事会の議事 2　令和３年度収支決算承認

（３）監事監査の実施

実施日	出席者	監査内容
令和４年５月 20 日	監事　２名	1　令和３年度事業報告 2　令和３年度計算書類及び財産目録

（４）施設連絡会の開催

開催日	開催方法	出席者	主な内容
令和４年４月 13 日	対面	14 名	各施設の近況報告 理事会・評議員会の日程について 他
令和４年４月 27 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 法人運動会について 他
令和４年５月 11 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 監事監査について 他
令和４年５月 25 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 交通安全について 他
令和４年６月 15 日	WEB	14 名	みきの路におけるクラスターへの対応について
令和４年６月 15 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 新型コロナウイルス感染症対応について 他
令和４年６月 29 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 虐待防止・身体拘束等適正化委員会について 他
令和４年７月 13 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 令和３年度決算について 他
令和４年７月 27 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 令和５年度当初予算ヒアリング実施について 他
令和４年８月 10 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 法人ジャージの貸与について 他
令和４年８月 24 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 新型コロナウイルス感染状況について 他
令和４年９月 14 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 サービス管理責任者等会議について 他

令和４年９月 28 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 健康保険の適用拡大について 他
令和４年 10 月 12 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 障害者雇用について 他
令和４年 10 月 26 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 令和４年度人権研修実施について 他
令和４年 11 月９日	WEB	14 名	各施設の近況報告 令和４年年末調整について 他
令和４年 11 月 24 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 法人内事業発表会について 他
令和４年 12 月７日	WEB	14 名	各施設の近況報告 人事考課者向け研修について 他
令和４年 12 月 21 日	WEB	13 名	各施設の近況報告 年末年始の理事長挨拶について 他
令和５年１月 11 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 令和４年度決算までのスケジュール 他
令和５年１月 25 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 社会福祉施設等従事者支援事業について 他
令和５年２月８日	WEB	14 名	各施設の近況報告 キャリアパス及び人材育成ビジョンについて 他
令和５年２月 22 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 マスク着用見直しについて 他
令和５年３月 15 日	WEB	14 名	各施設の近況報告 運転者雇用契約更新年齢制限について 他
令和５年３月 29 日	対面	14 名	各施設の近況報告 令和５年４月１日付人事異動 他

（５）法人運動会の開催

利用者・家族・ＯＢ・職員参加の「法人運動会」について、例年は 10 月に開催をしてきたが、昨年度に引き続き、今年度についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

（６）事業発表会の開催

各施設における日頃の取り組みについて、法人全体で共有し、他施設の職員との交流を深めるため、また、自施設の取り組み内容について改めて理解を深めるための研修の一環として、「事業発表会」を以下の通り開催した。

開催日	場所	参加職員数	内容
令和5年 3月19日	摂津市立 コミュニ ティプラザ	職員81名 新卒内定者1名	①せっつくすのき 「くすのきの日常をお見せします」 ②グループホーム 「グループホーム・ショートステイ“ヒマワリ”の紹介」 ③ひびきはばたき園 「ひびきはばたき園の紹介」 ④児童発達支援センター 「つくし園・めばえ園ってどんなとこ？」 ⑤障害者総合支援センター 「個別相談の実際」 ⑥みきの路 「コロナ禍における活動内容の工夫」 ⑦身体障害者・老人福祉センター 「健康づくり・生きがいづくり・友だちづくり」 ⑧第1児童センター 「みんなあつまれ！児童センターへ！」 ⑨法人事務局 「法人事務局の正体」

3　新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

厚生労働省、大阪府、摂津市などの関係省庁の発表等について、速やかに情報収集を行い、それに基づき以下のように対応をした。

（1）令和4年度中の経過

令和4年5月23日	・大阪モデルの「緑信号（警戒解除)」が点灯 ・ゴールドステッカーを取得している飲食店においては、同一テーブル4人まで、2時間程度以内としていた制限を解除
令和4年7月12日	大阪モデルが「黄信号（警戒)」へ移行
令和4年7月22日	濃厚接触者の待機期間が、「7日間」から「5日間」に短縮される
令和4年7月27日	大阪モデルが「赤信号（非常事態)」へ移行
令和4年9月4日	陽性者の療養期間が、「10日間」から「7日間」に短縮される
令和4年9月14日	大阪モデルが「黄信号（警戒)」へ移行

令和4年9月26日	感染者の発生届について、全数届出が見直しとなる
令和4年10月11日	大阪モデルの「緑信号（警戒解除)」が点灯
令和4年11月8日	大阪モデルが「黄信号（警戒)」へ移行
令和4年12月26日	大阪モデルが「赤信号（非常事態)」へ移行
令和5年1月31日	大阪モデルが「黄信号（警戒)」へ移行
令和5年2月24日	大阪モデルの「緑信号（警戒解除)」が点灯
令和5年3月13日	マスク着用については、個人の判断に委ねることを基本とするとされる

（2）特例措置について

①　特別休暇の取扱いについて

職員が以下のいずれかに該当する場合、特別休暇として取り扱うこととした。

・職員本人が、新型コロナウイルスに感染した場合、7日間の療養期間
・職員本人が、濃厚接触者または濃厚接触の可能性がある場合、5日間の自宅待機期間
・職員の同居する家族が、濃厚接触者または濃厚接触の可能性がある場合、同居家族の自宅待機期間が終了するまでの間
・職員本人が、PCR検査または抗原検査を受検した場合、結果が判明するまでの間
・職員の同居する家族が、PCR検査または抗原検査を受検した場合、結果が判明するまでの間
・新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校、中学校、特別支援学校等の臨時休業等その他の事情により、子の世話を行う職員が勤務しないことがやむを得ない場合
・新型コロナワクチン接種を受ける場合、接種等に要する時間
・新型コロナワクチン接種に伴う風邪症状等の副反応が発生した場合

②　通勤経路変更の取扱いについて

公共交通機関を利用して通勤している職員については、臨時的な措置として、自家用車等を併用しての通勤を認めている。

（3）クラスター発生時における対応

「みきの路」および「グループホーム」の居住系施設においてクラスターが発生した際、法人事務局として以下の対応を取った。

・複数の職員が陽性者となり、施設の職員で対応することが難しくなったため、法人全体での職員応援体制を構築し、法人内の他施設から職員が応援に入った。
・やむを得ない事情で自宅に帰ることができない職員に対して、クラスター終息までの間、宿泊用ホテルを手配した。

（4）マスク着用の見直し

新型コロナウイルス感染症対策におけるマスクの着用について、これまでは屋内では原則着用を推奨するとされてきたが、令和5年3月13日以降、マスク着用については行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の判断に委ねることを基本とするとされた。当法人においては、3月13日以降5月7日までの間は、それまでの対応を継続して実施している。

（5）職員への注意喚起

・全職員向けの通知文を合計7回配布した。
・37.5度以上の発熱などの風邪症状がある場合や体調不良がみられる場合は、出勤をせず、速やかにかかりつけ医等を受診し、施設長へ診断結果を必ず報告するよう周知した。
・感染予防対策（3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等）の徹底を周知した。

（6）検査キットの備蓄

感染拡大防止のため、法人でPCR検査および抗原検査キットを購入し、必要に応じて各施設に配布した。

（7）高齢者施設等の従事者等への定期検査

施設における新型コロナウイルス感染者の早期発見及び無症状感染者を原因とするクラスター発生を未然に防止する観点から、大阪府では高齢者施設等の従事者等を対象に定期的な検査を実施している。当法人においては、以下の通り実施した。

実施施設	対象者	検査方法	実施頻度
摂津市立みきの路	無症状の従事者等	抗原定性検査	3日に1回
摂津市立ひびきはばたき園	無症状の従事者等	PCR検査	1週間に1回

（8）大阪府障がい福祉サービス事業者燃料費高騰対策支援金

物価高騰の影響を受ける事業所等において、特に影響が大きいガソリン代について、施設の性質上、日々車両にて利用者の送迎等が基本業務となる通所系、訪問系等の障がい福祉サービス事業者の負担軽減のため、ガソリン代の高騰分見合いに対して、大阪府より「障がい福祉サービス事業者燃料費高騰対策支援金」が以下の通り支給された。

摂津市立みきの路	75,600円
グループホーム	50,400円
摂津市立児童発達支援センター	40,200円
摂津市立ひびきはばたき園	75,600円
摂津市障害者総合相談支援センター	9,600円

（9）摂津市障害福祉サービス事業者物価高騰対策支援金

物価高騰の影響を受けながらも、障害福祉サービスの安定的な供給を継続する事業者に対し、障害者の就労及び活動の場の確保を図ることを目的として、摂津市より「障害福祉サービス事業者物価高騰対策支援金」が以下の通り支給された。

グループホーム	600,000 円
摂津市障害者総合相談支援センター	50,000 円

（１０）大阪府社会福祉施設等物価高騰対策一時支援金事業

新型コロナウイルス感染症及び物価の高騰の影響を受けている社会福祉施設等に対し、安定的な事業継続を支援するため、大阪府より「社会福祉施設等物価高騰対策一時支援金」が以下の通り支給された。

グループホーム	378,000 円
摂津市障害者総合相談支援センター	22,000 円

（１１）大阪府社会福祉施設等従事者支援事業

令和４年４月１日から令和５年１月１日までの間、社会福祉施設等において 10 日以上勤務し、かつ利用者等と接する業務に 1 日以上従事した職員に対して、大阪府より１万円相当のギフトカードが配布された。

（１２）障がい福祉サービス等事業者に対するサービス継続支援事業補助金

新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者が発生した施設・事業所において、建物の消毒に要する費用や職員の感染等に伴う人員確保等、サービスの継続に必要な経費を支援するため、大阪府より「障がい福祉サービス等事業者に対するサービス継続支援事業補助金」が以下の通り支給された。

摂津市立みきの路	1,790,000 円
グループホーム	481,000 円
摂津市立児童発達支援センター	600,000 円
摂津市立ひびきはばたき園	1,374,000 円
摂津市障害者総合相談支援センター	124,000 円

４　情報公開

（1）財務諸表等電子開示システム

社会福祉法第 59 条の規定に基づき、独立行政法人福祉医療機構が運営する「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を通じて、令和３年度の計算書類等及び財産目録等、現況報告書を公開した。

（２）障害福祉サービス等情報公開システム

障害福祉サービス情報公開制度に基づき、独立行政法人福祉医療機構が運営する「障害福祉サービス等情報公開システム」を通じて、当法人の運営する障害福祉サービスの内容について公開している。

（３）ホームページでの情報公開

社会福祉法第59条の2の規定に基づき、法人ホームページにおいて、定款、役員等名簿、役員等報酬規程、事業計画書、事業報告書、計算書類、財産目録、現況報告書、監事監査報告書を公開している。

5　人材確保に向けた取り組み

（１）2023年卒採用に向けた取り組み

① 採用説明会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「対面」と「WEB」の両方で開催し、参加する学生がどちらかを選択して参加できるように配慮した。

開催日	場所	参加学生数	参加職員
令和4年4月14日	WEB開催	2名	理事長、法人事務局
令和4年4月14日	みきの路	1名	理事長、法人事務局
令和4年6月3日	WEB開催	3名	理事長、法人事務局
令和4年6月15日	WEB開催	2名	理事長、法人事務局
令和4年6月23日	WEB開催	1名	理事長、法人事務局
令和4年9月22日	WEB開催	2名	法人事務局
令和4年10月26日	WEB開催	1名	法人事務局
令和5年3月2日	WEB開催	1名	法人事務局

② 広報活動

「マイナビ2023」に新卒採用に関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からのエントリーや採用説明会の予約受付をした。

③ 内定式の開催

入職意識を高め、法人へ理解を深める場とすることを目的として、2023年度新卒採用職員1名の内定式を実施した。

実施日	参加職員	内　容
令和4年10月14日	理事長 事務局長 支援員 法人事務局	・内定証書授与 ・若手職員との懇談会 ・施設見学 ・入職までの流れについての説明

④ 2023年卒採用活動状況

インターンシップ（施設見学）参加学生数	4名
令和3年11月27日開催 「マイナビ福祉・介護業界仕事研究インターンシップフェア」 ブース来訪学生数	43名
令和4年3月16日開催 「マイナビ福祉・介護業界就職フェア」ブース来訪学生数	21名
採用説明会参加学生数	21名
採用試験応募学生数	4名
採用内定学生数	2名

（2）2024年卒採用に向けた取り組み

① 合同説明会への参加

実施日	内　容
令和4年11月26日	「マイナビ福祉・介護業界インターンシップフェア」 ・主催：株式会社マイナビ ・場所：梅田スカイビルアウラホール ・当日参加職員：理事長、支援員、保育士、法人事務局 ・ブース来訪学生数：21名
令和5年3月8日	「マイナビ福祉・介護業界就職セミナー」 ・主催：株式会社マイナビ ・場所：ハービスホール ・当日参加職員：理事長、支援員、保育士、法人事務局 ・ブース来訪学生数：9名

② インターンシップの実施

大学3年次の早い時期から学生と接触していくため、インターンシップとして施設見学を実施した。

実施日	実施内容	参加学生数	実施施設
令和4年10月17日	施設見学（対面）	1名	児童発達支援センター

令和4年10月24日 令和4年11月2日 令和5年1月24日	施設見学（対面）	1名	児童発達支援センター 第1児童センター
令和4年10月28日	施設見学（対面）	1名	児童発達支援センター ひびきはばたき園
令和5年1月16日	施設見学（対面）	1名	児童発達支援センター 第1児童センター
令和5年1月26日	施設見学（対面）	1名	児童発達支援センター
令和5年1月30日	施設見学（対面）	1名	児童発達支援センター ひびきはばたき園
令和5年2月14日	施設見学（対面）	1名	ひびきはばたき園
令和5年2月16日 令和5年2月28日	施設見学（対面）	1名	児童発達支援センター 身・老センター ひびきはばたき園
令和5年2月16日	施設見学（対面）	1名	児童発達支援センター

③ 採用説明会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「対面」と「WEB」の両方で開催し、参加する学生がどちらかを選択して参加できるように配慮した。

開催日	場所	参加学生数	参加職員
令和5年3月9日	WEB開催	2名	理事長、法人事務局
令和5年3月13日	WEB開催	2名	理事長、法人事務局

④ 広報活動

・「マイナビ 2024 プレサイト」にインターンシップに関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からインターンシップの予約受付をした。

・「マイナビ 2024」に新卒採用に関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からのエントリーや採用説明会の予約受付をした。

（3）中途採用に向けた取り組み

① 就職フェアへの参加

実施日	内　容
令和4年7月9日	「2022 介護のお仕事福祉就職フェア」 ・主催：摂津市介護保険事業者連絡会 ・場所：摂津市立コミュニティプラザ

② 広報活動

・法人ホームページに募集要項を掲載し、職員募集を行った。

・ハローワークおよび求人サイトに求人情報を掲載し、職員募集を行った。

6　人材育成に向けた取り組み

（1）人材育成策検討委員会

① 委員会の開催状況

令和３年度より、人材育成担当統括者と各施設の主任以下の職員で構成する人材育成策検討委員会を設置し、人材育成ビジョンの作成に向けた検討を行ってきた。今年度は、主に若手職員向け研修の企画を行った。

開催日	開催方法	出席委員	主な内容
令和４年４月 20 日	WEB	12 名	・令和３年度の取り組み内容 ・令和４年度の活動内容と予定等
令和４年５月 18 日	WEB	9 名	・人材育成会議の内容ついて ・若手職員向け研修の企画
令和４年７月 20 日	WEB	10 名	・人材育成会議の内容ついて ・虐待防止研修の日程について ・若手職員向け研修の企画
令和４年９月 21 日	WEB	12 名	・人材育成会議の内容ついて ・「人の発達プロセス」研修について
令和４年 10 月 19 日	WEB	10 名	・「人の発達プロセス」研修について ・次回若手職員向け研修の企画
令和５年１月 18 日	WEB	9 名	・若手職員向け研修の振り返り ・人材育成会議の内容ついて
令和５年２月 15 日	WEB	10 名	・人材育成会議の内容ついて ・ビジネスマナー研修の企画 ・人材育成策検討委員会の振り返り

② 若手職員向け研修の実施

入職して概ね 10 年以内の職員を対象とした研修について、人材育成策検討委員会において企画し、以下の通り実施した。

開催日	内　容	講　師	場　所	受講職員数
令和４年 11 月１日 11 月８日	虐待防止研修	NPO 法人サポート グループほわほわの会 代表理事　宮﨑充弘 氏	みきの路 ふれあいの里	34 名

令和４年 12 月 14 日	人の発達プロセス	児童発達支援センター 施設長代理 宇都宮久美子	WEB 開催	31 名

（２）サービス管理責任者等会議

次代を担う職員の人材育成とサービスの質の向上を目的として、新たに法人事務局と各施設の中堅職員で構成するサービス管理責任者等会議を設置し、参加者全員で法人内各施設のサービス内容等についての情報を共有した。

開催日	開催方法	参加者	主な内容
令和 4 年 10 月 12 日	対面	11 名	・会議設置の目的や役割等について ・参加者の自己紹介 ・各施設の経営状況についての説明
令和 4 年 12 月 7 日	WEB	9 名	・前回会議についての質問や意見等 ・今後のスケジュールについて
令和 5 年 1 月 11 日	WEB	7 名	施設のサービス内容と課題・展望について （グループホーム）
令和 5 年 2 月 8 日	WEB	10 名	施設のサービス内容と課題・展望について （ひびきはばたき園）
令和 5 年 3 月 15 日	WEB	11 名	施設のサービス内容と課題・展望について （みきの路）

（３）全体研修の実施

全職員を対象に、全体研修を以下の通り実施した。

開催日	内　容	講　師	場　所	受講職員数
令和４年 11 月 1 日 ≀ 11 月 30 日	人権・同和問題企業啓発講座	部落解放・人権研究所	WEB 開催	111 名
令和５年 2 月 20 日 2 月 24 日	安全運転研修	摂津警察署 交通課 交通総務係 警部補 左貫丈富 氏	みきの路 ふれあいの里	72 名

（４）管理監督職員向け研修

管理監督職員を対象として、以下の通り研修を実施した。

開催日	内　容	講　師	場　所	受講職員数
令和４年 7 月 27 日	メンタルヘルス研修	板東嘉子労務コンサルタンツ 特定社会保険労務士 板東嘉子 氏	WEB 開催	15 名

令和５年 ２月 22 日	人事考課者向け研修	板東嘉子労務コンサルタンツ 特定社会保険労務士 板東嘉子 氏	WEB 開催	22 名

（５）法人事務局職員研修

法人事務局職員としての資質向上を目的に、外部研修を積極的に受講した。

開催日	内　容	主　催	場　所	受講者
令和４年 ９月 13 日	令和４年度会計管理者・担当者研修会	大阪府社会福祉協議会	社会福祉指導センター	事務局職員
令和４年 10 月 28 日	日中活動、生産活動・就労支援部会施設長会　研修会	大阪知的障害者福祉協会	社会福祉指導センター	事務局職員
令和５年 １月 26 日 １月 27 日	令和４年度第 10 回障害者支援施設部会全国大会 近畿地区大阪大会	日本知的障害者福祉協会	大阪国際交流センター ホテルアウィーナ大阪	事務局職員
令和５年 ２月７日	令和４年度社会福祉法人 会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	WEB 開催	事務局職員
令和５年 ２月 16 日	令和４年度近畿社会福祉法人経営者協議会　近畿ブロックセミナー兵庫大会	近畿社会福祉法人経営者協議会	WEB 開催	事務局職員
令和５年 ２月 28 日	令和４年度社会福祉法人会計実務セミナー	福祉医療機構	WEB 開催	事務局職員
令和５年 ３月 24 日	令和４年度 PR＆ブランディングセミナー	全国社会福祉法人経営者協議会	WEB 開催	事務局職員

７　人材定着に向けた取り組み

（１）新規採用職員に対する研修体系の構築

①採用時研修

新規採用職員を対象として、採用時研修を実施した。

実施日	内　容	参加者
令和４年 ４月１日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員５名
令和４年 ７月１日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員２名

令和４年 ９月１日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員１名
令和５年 １月４日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員１名
令和５年 ２月１日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員１名
令和５年 ３月１日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員１名

② 新規採用職員日誌

・新規採用職員への OJT の一環として、配属先の指導担当職員との３か月にわたる「新規採用職員日誌」への記入を通して、新規採用職員の指導に努めた。

・採用３か月後に、指導担当職員及び施設長との面談を実施した。

（２）福利厚生事業

働きやすい職場づくりを目指し、福利厚生事業の充実に努めた。

職員健康診断	◎一次検診 ・実施日：令和４年７月 25 日～7 月 29 日 ◎二次検診 ・実施日：令和４年 10 月 17 日、18 日 ◎子宮がん検診 ・実施日：令和４年 11 月４日、14 日 ◎夜勤従事職員健康診断 ・実施日：令和５年３月 23 日
大阪民間社会福祉事業従事者共済会	・一般給付金事業 ・生活サポートサービス　他
福利厚生センター （ソウェルクラブ）	・慶事のお祝い ・健康生活用品給付　他

（３）働き方改革への取り組み

年次有給休暇が 10 日以上付与される全ての職員に対し、年５日、時季を指定して年次有給休暇を取得させた。

8　地域における公益的な取り組み

社会福祉法第 24 条第 2 項の規定により、地域における公益的な取り組みの実施は、社会福祉法人の責務として位置づけられている。当法人では、地域から支えられる施設づくりを目指して、以下の取り組みを実施し、その内容を法人ホームページにも掲載をした。

（1）社会貢献事業

昨年度から引き続き、大阪府社会福祉協議会社会貢献事業である「大阪しあわせネットワーク」に参画し、コミュニティソーシャルワーカーを配置して、地域で課題を抱える方への支援を行った。

（2）「こども食堂」の実施

令和 3 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

（3）災害時の福祉避難所

「摂津市立みきの路」及び「摂津市立ふれあいの里」は、摂津市と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結し、災害時には、地域の高齢の方や障害のある方々などを地域から受け入れ、安心安全に過ごせる避難所を運営できるよう、「福祉避難所運営マニュアル」に基づき、災害用備蓄品の整備を行っている。

（4）地域清掃活動

ふれあいの里の各施設（摂津市立ひびきはばたき園、摂津市立身体障害者・老人福祉センター、摂津市障害者職業能力開発センター）の職員が、定期的に周辺の清掃、ゴミ拾いなどを実施した。

9　虐待防止・身体拘束等適正化委員会

令和 3 年度からの障害福祉サービス等報酬改定に伴い、各施設において「虐待防止責任者」「虐待防止マネジャー」を選任し、法人全体で「虐待防止・身体拘束等適正化委員会」を設置・運営している。

（1）虐待防止・身体拘束等適正化委員会の実施

開催日	開催方法	出席者	主な内容
令和 5 年 2 月 22 日	WEB	委員長 副委員長 法人事務局 虐待防止責任者 虐待防止マネジャー	各施設における虐待防止、身体拘束等適正化に向けての取り組みについて

（2）虐待防止マネジャー会議

開催日	開催方法	出席者	主な内容
令和 4 年 11 月 1 日	WEB	8 名	・各施設の取り組みの現状 ・マネジャーの役割と会議の運営
令和 4 年 12 月 5 日	WEB	5 名	身体拘束等適正化の取り組みについて
令和 5 年 2 月 2 日	WEB	3 名	・身体拘束等適正化研修について ・委員会での検討内容について
令和 5 年 3 月 28 日	WEB	3 名	次年度の事業計画について

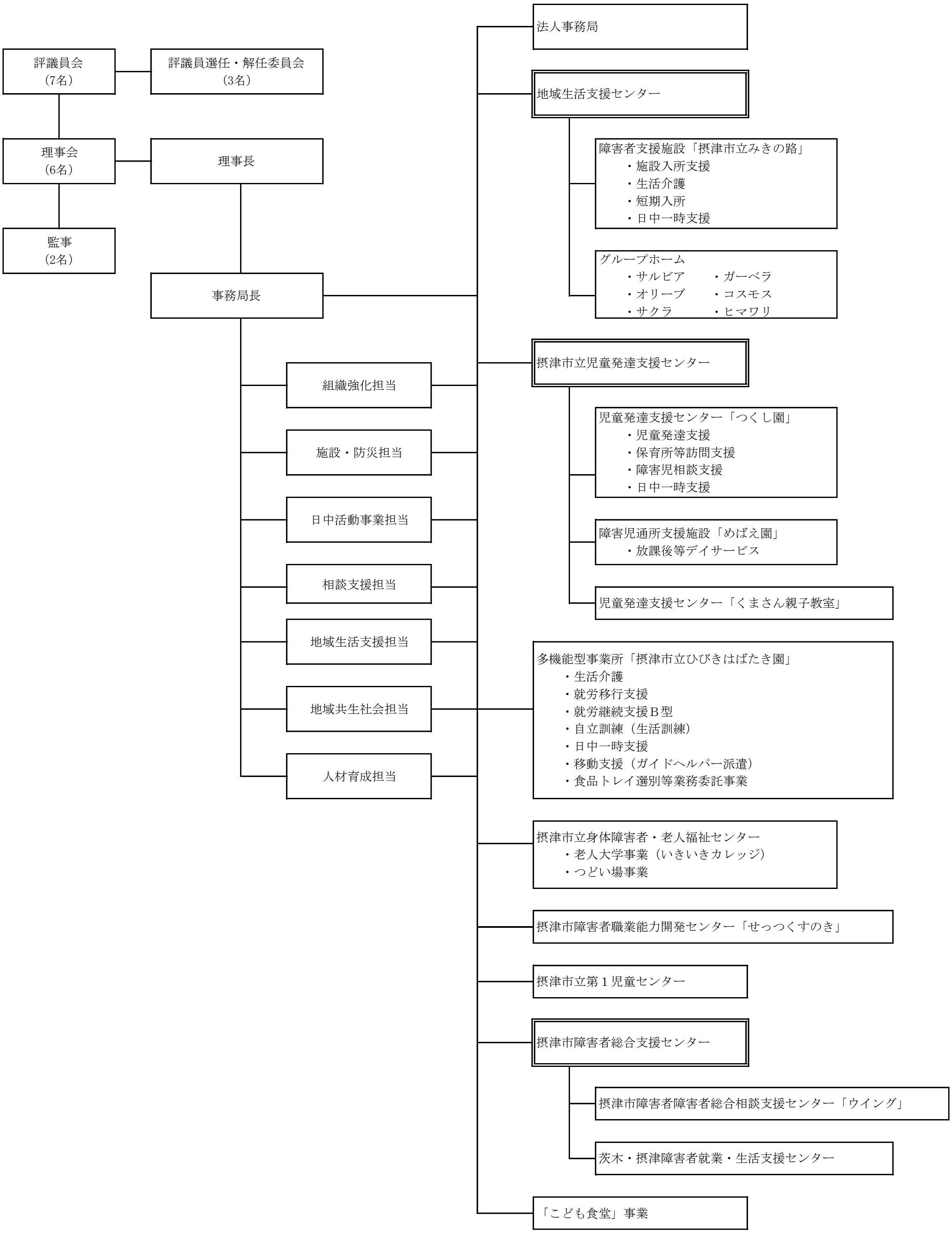
（3）従事者に対する研修の実施

開催日	内　容	講　師	場　所	受講職員数
令和 4 年 7 月 29 日	虐待防止研修	(社福)北摂杉の子会 地域生活支援部 統括部長　平野貴久 氏	WEB 開催	18 名
令和 5 年 3 月 20 日	身体拘束適正化研修	(社福)四幸舎和会 理事長　大崎年史 氏	ふれあいの里	30 名

１０　役員・評議員体制　（令和４年４月１日現在）

役職名	氏　名	所　属
理事長	松嶋　桂子	社会福祉法人摂津宥和会　理事長
理　事	稲田　通子	摂津市手をつなぐ親の会　会長
理　事	馬渡　恵美子	摂津市肢体不自由児者父母の会　会長
理　事	山下　恵美子	摂津市立ひびきはばたき園家族会
理　事	小島　勝英	摂津市身体障害者福祉協会　副会長
業務執行理事	野村　眞二	社会福祉法人摂津宥和会　事務局長
監　事	村田　　守	鳥飼小学校地区福祉委員会　委員長
監　事	辻　　晴雄	辻税務経営事務所　所長
評議員	高岡　國士	社会福祉法人成光苑　理事長
評議員	坂本　ヒロ子	社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会　理事長
評議員	榎谷　佳純	社会福祉法人摂津市社会福祉協議会　会長
評議員	井川　美知子	摂津市民生児童委員協議会
評議員	鶴野　隆浩	大阪人間科学大学　教授
評議員	北野　人士	一般財団法人摂津市保健センター　事務局長
評議員	松方　和彦	摂津市保健福祉部長

１１　組織図（令和５年３月３１日現在）



１２　施設定員と職員配置（令和５年３月３１日現在）

施設区分	施設定員	職員配置				合　計
		正職員（再雇用含む）	契約職員	嘱託職員	嘱託医	
法人事務局		4				4
地域生活支援センター						
障害者支援施設「摂津市立みきの路」		25	11	11	1	48
施設入所支援	30					
生活介護	40					
短期入所・日中一時支援	5					
グループホーム「サルビア」	10	6	2	34		42
グループホーム「ガーベラ」	5					
グループホーム「オリーブ」	4					
グループホーム「コスモス」	4					
グループホーム「サクラ」	6					
グループホーム「ヒマワリ」	10					
短期入所「ヒマワリ」	5					
摂津市立児童発達支援センター						
児童発達支援センター「つくし園」	30	16	4		2	22
障害児通所支援施設「めばえ園」	10	2	1	2	1	6
くまさん親子教室		3				3
多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」		17	7	5	3	32
生活介護	32					
就労移行支援	6					
就労継続支援Ｂ型	16					
自立訓練	6					
摂津市立身体障害者・老人福祉センター		3	2			5
摂津市障害者職業能力開発センター	20	6	3	1		10
摂津市立第１児童センター		3	2			5
摂津市障害者総合支援センター						
摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」		7				7
茨木・摂津障害者就業・生活支援センター		4	2			6
合　計		96	34	53	7	190

１３　車輛管理状況（令和５年３月３１日現在）

	施　設	年　式	取得 年月日	車　輛	車両番号	年間走行距離 (Km)	所有区分	備　考
1	法人事務局	H18.1	H29.3	トヨタ　パッソ 乗用車	大阪503　も 60-16	2,192	法人	
2	地域生活支援センター 摂津市立みきの路	H29.3	H29.3	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪800　そ 15-69	7,738	法人	日本財団助成
3	〃	H30.6	H30.6	スズキ　エブリィ 車椅子移動車	大阪880　あ 41-39	1,773	リース	
4	〃	H31.3	H31.3	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪801　そ 37-28	7,254	リース	
5	〃	H31.3	H31.3	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪801　そ 37-29	6,926	リース	
6	〃	H27.3	H27.3	トヨタ　シエンタ 車椅子移動車	大阪503　ふ 58-98	2,039	リース	
7	地域生活支援センター グループホーム	H20.6	H29.3	ダイハツ　タント 軽乗用車	大阪581　な 16-83	6,229	法人	
8	〃	R2.7	R2.7	日産　デイズ 軽乗用車	大阪581　や 50-96	2,046	法人	
9	〃	R3.2	R3.2	日産　デイズ 軽乗用車	大阪581　や 87-79	3,244	法人	
10	〃	R3.4	R3.4	日産　バネット 送迎用バン	大阪800　を 61-21	1,299	リース	
11	摂津市立児童発達支援センター	H23.2	H23.2	日産　キャラバン 送迎用ワゴン	大阪302　す 43-48	3,004	法人	日本財団助成
12	〃	H29.4	H29.4	日産　シビリアン 送迎用マイクロバス	大阪200　は 5-98	7,206	リース	
13	〃	H30.4	H30.4	日産　デイズ 軽乗用車	大阪581　は 12-41	3,564	リース	
14	〃	H26.8	H26.8	スズキ　スクーター 原付バイク	摂津市　A 33-76	592	法人	
15	摂津市立ひびきはばたき園	H23.3	H23.3	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪800　せ 51-66	10,499	法人	日本財団助成
16	〃	R2.7	R2.7	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪800　そ 53-39	10,702	リース	
17	〃	H28.2	H28.2	日産　キャラバン 車椅子移動車	大阪800　そ 3-25	9,635	法人	日本財団助成
18	〃	H24.3	H24.3	スバル 軽貨物	大阪480　ち 54-84	5,910	法人	
19	〃	H29.3	H29.3	トヨタ　ノア ステーションワゴン	大阪503　も 91-17	10,371	法人	
20	摂津市立身体障害者・ 老人福祉センター	R3.7	R3.7	トヨタ　ルーミー 乗用車	大阪504　と 37-04	4,923	リース	
21	障害者職業能力開発センター せっつくすのき	R2.8	R2.8	トヨタ　シエンタ 車椅子移動車	大阪504　ち 68-65	4,555	リース	
22	摂津市障害者総合支援センター	H23.3	H23.3	スズキ　アルト 軽乗用車	大阪580　ま 4-15	7,317	法人	日本財団助成
23	〃	H26.8	H26.8	スズキ　スクーター 原付バイク	摂津市　A 33-75	345	法人	
24	〃	R1.7	R1.7	トヨタ　アクア 乗用車	大阪504　せ 75-94	2,393	リース	

2　地域生活支援センター

Ⅰ　障害者支援施設「摂津市立みきの路」
（施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援・緊急一時保護）

1　施設入所支援・生活介護

（1）　概況

利用者の個人としての尊厳の保持を旨とし、利用者が心身ともに健康で潤いのある生活を送る中で、それぞれの年齢、障がい特性、健康状態に応じ、可能な限りニーズを尊重して、自立と社会参加ができるよう努めた。また、常に利用者の安心、安全を最優先した。重点課題として取り組んだ項目としては、①新型コロナウイルス感染症対策　②地域生活支援拠点等事業への取り組み　③社会貢献事業　④生活・活動環境の整備とサービスの質の向上　⑤情報発信　⑥防災拠点としての整備

①　新型コロナウイルス感染症対策

「利用者を守る」「職員を守る」「みきの路を守る」をスローガンに、日々の健康管理、情報収集、感染予防の徹底、陽性者発生時の初動対応、衛生備品の確保に努めた。

大阪府から提供される抗原検査キットを使用し、職員には概ね 3 日に 1 回の定期検査、出入り業者には入館前の検査を実施し、新型コロナウイルスの流入を最大限に防止する策を講じた。

昨年度から継続している利用者への面会自粛については、利用者や家族の希望を最大限に叶えるため、リモート面会を実施した。大阪府の感染者の減少時には、時間制限やソーシャルディスタンスを取りながら、対面での面会を実施した。正月の外泊も予定していたが、結果的には実現できなかった。感染による重症化を防ぐため、協力医療機関である千里丘協立診療所に依頼し、ワクチン接種（4 回目・5 回目）を実施した。2 回とも数名の方が発熱したが、数日で解熱しその後は重症化することはなかった。

利用者に体調不良者、濃厚接触者およびその疑いがある場合、職員は防護服・フェイスシールド着用での支援、使い捨て食器の活用、処理用ごみ箱の設置等感染対策に努めた。PCR 検査については、市障害福祉課、保健所、協力医療機関とも連携を密に取りながら、検査対象の職員および利用者が積極的に受検するように取り組んだ。

職員に対しても体調不良が伺える場合には積極的に休んで医療機関を受診できるように配慮を行なった。

施設行事については、感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き各フロアの行き来を制限したため、オンラインで実施した。

2 か所の出入り口にはサーモセンサー・手指消毒液を設置し、会議等で使用する部屋全てに二酸化炭素濃度測定器を設置するなど、職員や来館者からの感染防止に取り組んだ。職員に向けては、法人からの文書や大阪府等からの情報を周知し、伝言ボードも活用しながら情報共有に努めて感染対策の徹底を図った。

大阪府看護協会から感染予防認定看護師を派遣してもらい、現在行なっている感染予防対策や事業継続計画の評価を受け、改善の指摘があったポイントについては早急な改善を行なった。

しかしながら結果として、6 月に通所・入所合わせて職員 8 名、利用者 8 名、12 月にも通所・入所・事務所職員合わせて職員 7 名、利用者 10 名の感染者で、2 度のクラスターとなった。幸い、2 度のクラスターともに重症化した職員、利用者はおらず、全員回復している。

② 地域生活支援拠点等事業への取り組み

令和 4 年度は地域生活支援拠点等の機能を担う事業所として体験利用の機会、場所を提供する事業所として摂津市に登録を行なった。

施設長が地域生活支援拠点等事業のコーディネーターを担い、摂津市内の福祉事業所に対して拠点等事業の説明会を行ない、事業所登録の推進を図った。結果としてみきの路を含め、新たに 5 つの事業所の新規登録に繋げ、地域で暮らす障がい者の安心で安定した地域生活の維持・向上に貢献した。また摂津市障害者地域自立支援協議会の相談支援部会や各種ワーキングにも参加し、地域ニーズの把握や支援困難事例から見る社会資源の開発、改善にも取り組んだ。

活動内容

No	日　時	場　所	項目	内　容
1	4/13（水） 10：00～11：30	みきの路 （zoom）	①⑤	相談支援部会
2	4/22（金） 13：00～	みきの路 （電話調整）	②	虐待事案の緊急ショートステイの受入先調整
3	5/11（水） 10：00～11：30	みきの路 （zoom）	①⑤	相談支援部会
4	8/17（水） 10：00～10：30	みきの路 （zoom）	①⑤	相談支援部会
5	8/30（火） 14：00～14：30	みきの路	⑤	新規開設事業所に向けた説明、登録の依頼
6	9/8（木） 13：30～14：15	摂津市役所	⑤	日中活動系事業所に向けた説明会
7	9/9（金） 13：30～14：30	摂津市役所	⑤	日中活動系事業所に向けた説明会
8	9/14（水） 10：00～11：30	みきの路 （zoom）	①⑤	相談支援部会
9	9/21（水） 16：15～16：20	みきの路 （電話対応）	①	相談支援事業所から退院先を確保するための受入先確保の相談
10	9/27（火） 15：00～	みきの路		市内 GH および SS 事業所に No.9 案件の受入先の打診
11	10/3（月） 9：50～9：55	みきの路 （電話）		No.10 の返答
12	10/12（水） 10：00～12：00	みきの路 （zoom）	①⑤	相談支援部会

13	10/17（月） 13：00～15：00	障害者総合支援センター	⑤	新型コロナ情報共有ワーキング
14	11/2（水） 13：00～15：00	障害者総合支援センター	⑤	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング打ち合わせ
15	11/9（水） 10：00～12：00	みきの路 (zoom)	①⑤	相談支援部会
16	11/14（月） 13：00～14：00	障害者総合支援センター	⑤	新型コロナ情報共有ワーキング
17	11/25（金） 13：00～14：30	みきの路 (zoom)	⑤	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
18	12/1（木） 10：30～11：30	みきの路 (zoom)	②	NO.9～11 の案件の担当者会議
19	12/12（月） 16：00	みきの路	②	NO.9～11 の案件、短期入所受け入れ対応立ち合い
20	12/14（水） 10：00～11：00	みきの路 (zoom)	①⑤	相談支援部会
21	1/10（火） 13：30～14：30	みきの路 (zoom)	⑤	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
22	1/11（水） 10：00～12：00	みきの路 (zoom)	①⑤	相談支援部会
23	1/13（金） 9：00	みきの路	②	NO.19 の案件、短期入所利用終了の立ち合い
24	1/16（月） 13：00～14：30	障害者総合支援センター	⑤	新型コロナ情報共有ワーキング
25	1/19（木） 16：00～16：30	家庭訪問	②	NO.23 後のご家族への様子伺い、事務手続き
26	1/30（月） 13：30～14：30	みきの路 (zoom)	⑤	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
27	2/8（水） 10：00～12：00	みきの路 (zoom)	①⑤	相談支援部会
28	2/21（火） 13：30～14：30	みきの路	⑤	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
29	3/6（月） 14：00～15：00	みきの路 (zoom)	⑤	摂津市 CSW 情報交換会での支援困難事例の調査、および拠点等事業の説明
30	3/8（水） 10：00～11：30	みきの路 (zoom)	①⑤	相談支援部会
31	3/22（水） 10：00～11：00	ハッピー食堂 あいのわ	⑤	社会資源のヒアリング、拠点等事業の説明
32	3/30（木） 10：00～11：00	とりかい 白鷺園	⑤	社会資源のヒアリング、拠点等事業の説明

①相談　②緊急時の受入・対応　③体験利用の機会・場所の提供

④専門的人材の確保・養成　⑤地域の体制作り

③　社会貢献事業

施設長がコミュニティソーシャルワーカーとして大阪府社会福祉協議会に登録し、地域の生活困窮者の支援に当たった。令和 4 年度の活動実績としては 3 件の相談案件を対応した。また年 2 回の摂津市コミュニティソーシャルワーカー情報交換会に参加した。

乳幼児のおむつ交換や授乳場所を提供する「赤ちゃんの駅」、こどもたちにトラブルが生じた際の駆け込み先となる「こども 110 番の家」の事業所登録を行ない、地域のセーフティーネットとしての役割を担った。

AED 設置の表示も掲げ、人命救助などで貸し出しが必要な際には円滑に対応できるような配慮を行なった。

【コミュニティソーシャルワーカーとしての活動実績】

1）精神科病院退院後の住まいの確保

実施日	支援内容	訪問先・場所	対応者
4 月 11 日	初回面談	相談支援あしすと	施設長
4 月 20 日	・入居予定のグループホーム職員との打ち合わせ ・入居前準備品の買い物支援	入居予定先 グループホーム	施設長
4 月 26 日	生活保護受給開始までの買い物支援	近隣スーパー	施設長

2）疾病悪化防止のための住環境整備

実施日	支援内容	訪問先・場所	対応者
8 月 4 日	初回面談	ご自宅	施設長
8 月 8 日	訪問看護事業所と介護用ベッド購入についての打ち合わせ	電話	施設長
8 月 10 日	介護用ベッド搬入の立会い	ご自宅	施設長

3）持病と怪我で外出が出来ず生活維持の支援、生活保護申請など（支援継続中）

実施日	支援内容	訪問先・場所	対応者
2 月 17 日	初回面談 食材と寝具類の提供	ご自宅	施設長
2 月 21 日	生活保護申請、配食サービス手配、医療への繋ぎなど関係機関と役割分担調整	電話	施設長
2 月 27 日	担当ケアマネと情報交換	〃	施設長
2 月 28 日	〃	〃	施設長
3 月 2 日	配食サービス費支払い	金融機関	施設長
3 月 22 日	配食サービス費支払い	金融機関	施設長

④　生活・活動環境の整備とサービスの質の向上

利用者が快適に生活・活動できる環境作りとして、通所フロアおよび社会適応訓練室の床を張り替え、清掃や消毒のしやすい素材に変更した。また、コロナ禍で手洗いやうがいをする頻度が格段に増えたので、利用者・職員ともに使用しやすいよう各フロアの洗面台、合計９台を受け口の広いタイプに入れ替えた。近年の利用者の重度・高齢化に伴い、排泄面でもおむつ使用の利用者が増えた事で、入所フロアのトイレに設置されているユニバーサルベッドを２台とも新しいものに入れ替えた。

施設外においては、蛇腹門扉の交換工事を行ない、施設への進入口の傾斜も改善させ、より安全に開閉できるようにした。またセキュリティ対策として内側から鍵の掛かるタイプに変更した。敷地内の点字ブロックも傷みを修繕し、視覚障がい児者が安全に来館できるように改善した。

歩道に設置している車両や人の通行を知らせるパトランプの改修も行ない、利用者や職員だけでなく、一般歩行者への安全配慮も行なった。

⑤　情報発信

風通しの良い施設を目指し、日々の活動の様子や行事などの取り組みを、ホームページを活用し情報発信した。インターネットの利用が難しいご家族もおられるため、「みきのみちつうしん（機関紙）」の発行回数を年 7 回実施し、ホームページ同様に日々の様子を載せ、ご自宅や成年後見人に郵送で配布した。

また、コロナ禍で外泊や面会の機会が減った事で、利用者の生活の様子を見て頂くために、毎月の連絡票郵送時には生活の様子を撮影した写真を同封した。

⑥　防災拠点としての整備

福祉避難所として、摂津市と協力しながら必要な備蓄品、防災グッズの確保を行った。

備蓄食料の賞味期限が迫った物も入れ替えの際には給食で提供し、災害時の食事を体験してもらう事とフードロス削減の取り組みとした。

（2）支援の状況　　【施設入所支援　・　生活介護（通所)】

■施設入所支援

利用者に施設入所支援と、平日及び土曜、祝日の日中は生活介護を一体的に提供した。

新型コロナウイルス感染予防対策として、診察が必要な受診以外は職員が代理で受診した。

帰宅の代替えとして、ご家族には毎月連絡票と写真を送り利用者の様子を伝えた。

また、オンラインを活用した面会と、感染予防を徹底し直接面会を行った。外出の代替えとして、余暇時間のドライブや、近隣のコンビニエンスストアでの買い物の頻度を増やし、外に出る楽しみを継続した。

① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のエンパワメントに着目しながらアセスメントを行い、利用者のニーズや家族のニーズを踏まえ、看護師や主治医にも相談しながら短期間で達成できるより具体的な目標を設定し、個別支援計画を作成し支援を行なった。意思決定支援を重視し、意思決定しやすいような工夫、利用者のストレングスに着目した立案を心掛けた。

② 生活支援

居室整理・清掃・洗濯・シーツ交換・布団干し・入浴準備等、生活に必要な支援を行い、感染予防の徹底や清潔に配慮し、生活しやすい環境と住みやすい空間の提供に努めた。

食事は、栄養士が栄養管理を行い、利用者の嗜好調査を参考にしながらメニューを考え、利用者の嚥下、咀嚼状況に合わせた食事形態で提供した。各フロアの食堂は、新型コロナウイルス感染予防対策として、テーブルをパーテーションで仕切り、利用者同士の距離を空けて座れるよう工夫した。

③ 入浴

利用者が、心身ともにリラックスできるよう、週に４回入浴サービスを提供した。

個別支援として、入浴日以外にも入浴や足浴を行ないリラックスできる配慮を行なった。利用者の身体の状況に応じ、一般浴と機械浴（リフト浴槽、介護浴槽）を利用し、より安全で快適な状況での入浴を行なった。

④ 誕生会

月に１度、誕生月の利用者とともに、ケーキを食べながらお祝いし、誕生月の利用者が主役になり、喜びを感じて頂けるように取り組んだ。

⑤ 理髪

月に１度、摂津理美容組合より１名と、同じく月に１度、美容師２名が施設内の部屋を活用し、利用者の理髪を行なった。新型コロナウイルス感染予防対策として、密になることを防ぐため二部屋に分かれて実施した。

⑥ 余暇活動

新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで、散歩・近隣での買い物・制作・カラオケ・ドライブ・室内スポーツ等、利用者が楽しくいきいきとした生活を営めるよう、利用者の希望に沿ったレクリエーション活動を行なった。

⑦ 健康管理

利用者が、心身ともに安定した生活が営めるよう、看護師を中心に、日常的な健康

管理を行った。また、定期通院や、突発的な体調の変化が見られた時は医療機関を受診し、早期治療に努めた。

嚥下機能の低下が見られる利用者には、耳鼻咽喉科等の専門医の診察や検査を実施し食事形態の工夫などを行なった。

また、検尿によるがんリスク検査および血液検査によるピロリ菌検査を実施し、がんの早期発見、早期治療ができるように努めた。がんリスクが高値を示した利用者は主治医および協力医に相談し、治療方針や経過観察方法を協議した。

（ア）診察

嘱託医、協力医等の来所による診察を受けた。

嘱託医（精神科医）	毎月１回
協力医（内科医）	毎月１回
歯科医	毎週火曜日 女性、毎週金曜日 男性
精神科医	毎月２回
鍼灸師	新型コロナウイルス感染症の観点から、令和４年度の受診は中止した。

（イ）健康診断　（医療機関：千里丘協立診療所・場所：１階社会適応訓練室）

実施日	内　容	受診人数
10 月 4 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、心電図（検尿は 10 月 11 日に実施）	30
3 月 23 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診	30

（ウ）インフルエンザ予防接種

協力医（内科）の往診時に、11 月と 1 月にインフルエンザの予防接種を実施した。

（エ）新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルス感染症の感染による重症化を予防するため、10 月の協力医療機関の往診時にワクチン接種を実施した。実施にあたっては、利用者や家族に目的を説明し、書面による承諾を得た。また、看護師指導の下、接種後の健康観察、発熱や体調不良者への対応を行った。

（オ）医療機関受診状況（延べ人数）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	11	10	11	16	10	11	11	11	12	12	14	18	147
神経内科	1	0	2	0	3	1	0	2	0	2	0	0	11
循環器内科	2	2	0	2	0	0	4	0	0	2	0	0	12
整形外科	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
歯科	102	86	29	102	116	90	103	116	81	103	85	43	1056
精神科	26	13	14	30	35	30	30	31	31	33	30	29	332
泌尿器科	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
皮膚科	3	5	2	5	5	2	4	9	5	3	3	5	51
肛門科	3	3	3	3	3	0	3	0	3	0	3	0	24
便秘専門外来	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	5
耳鼻科	1	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	2	8
消化器内科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	1	0	6
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
外科	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
精神神経	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	9
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
救急外来	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
発熱外来	1	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
腎不全外来	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4
小児心臓外来	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合　計	154	121	67	164	175	138	162	171	135	160	138	101	1688

■生活介護（通所）

利用者の個人の尊厳やニーズを尊重し、利用者の障がい特性や、心身の状態に応じて、生きがいや、やりがいを感じられる文化的活動や創作活動、身体能力の保持を目的とした身体運動、自立と社会参加を支援する社会適応訓練を提供した。また、給食サービス（昼食)、リフト付きワゴン車（３台）での送迎サービスを実施した。

利用者の障がい特性やご家族の介護状況などを考慮し、感染症対策を講じて営業したが、結果としては 6 月と 12 月の 2 度、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。6 月は法人各施設での分散営業を行なったが、12 月は一定期間の休所となった。

休所期間は電話や家庭訪問などで利用者の生活の様子や体調確認を行なった。

茨木保健所の指導があった際には、家庭訪問で PCR 検査検体の採取を行ない、健康管理を行なった。

① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のエンパワメントに着目しながらアセスメントを行い、利用者のニーズや家族のニーズを踏まえ、看護師や主治医にも相談しながら短期間で達成できるより具体的な目標を設定し、個別支援計画を作成し支援を行なった。意思決定支援を重視し、意思決定しやすいような工夫、利用者のストレングスに着目した立案を心掛けた。

② 活動

月案と日案を作成し、一日の流れにメリハリをつけ、活動内容の充実を図った。また、療育的活動にも着目し、利用者の障がい特性に応じた活動、支援に取り組んだ。

（ア）個別活動

個別支援計画をもとに、利用者の障がい特性やエンパワメント、ストレングスに着目した個別のプログラムを作成し、身体機能の維持、向上や集中力を高める活動を取り入れた。

（イ）制作

季節感を味わえるよう、季節に応じたガラス扉の制作、ロビー及び廊下の作品展示、飾り付けなどを行った。利用者の特性に応じ、塗る・貼る・切る等の工程を分担して行った。年間を通して翌年のカレンダー作りにも取り組み、皆で作り上げるという達成感を味わって頂く取り組みも行なった。

（ウ）館内清掃

利用者の特性に応じ、役割を決めて施設内の清掃を実施した。

（エ）散歩・外気浴

身体機能の維持、気分転換、運動不足解消等を目的とし、施設周辺や町内、近隣の公園へ散歩に出かけた。活動時間が少ない時は施設前を歩きながら外気浴を実施した。

③ 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対し、希望される方には週に一度入浴サービスを提供した。また、利用者の身体状況に応じて、一般浴と機械浴（リフト浴、介護浴槽）を使用した。

④ 家族との連携

連絡ノートを利用し、利用中の様子を家族に伝えると共に、自宅での様子を連絡ノートに記載してもらい、利用者の様子や連絡事項を家族と共有できるようにした。

複数の事業所を併用利用されている利用者には、各事業所と家族が共有できるように、専用の連絡ノートを作成し、情報共有がしやすい工夫を行なった。

また、利用者の身体の状態を家族に伝え、補装具の調整や、必要なサービスの提供を行った。

⑤　健康管理

利用者の健康状態を把握するため、来所時の検温と血圧測定に加え、自宅での体調を把握できるよう健康チェック表を作成し、毎日検温等の健康チェックをお願いした。健康状態に変化が見られた時は、看護師に相談するとともに、家族に電話で状況を伝え、必要に応じて受診の必要性を説明した。

（ア）健康診断

病気の早期発見、治療を目的とし、普段病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ協力医による健康診断を実施した。

実施日	内　容	受診人数
10 月 4 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、心電図	6

（イ）インフルエンザ予防接種

病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医によるインフルエンザの予防接種を 11 月に実施した。

（ウ）新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルス感染症の感染による重症化を予防するため、10 月の協力医療機関の往診時にワクチン接種を実施した。実施にあたっては、利用者や家族に目的を説明し、書面による承諾を得た。また、看護師指導の下、接種後の健康観察、発熱や体調不良者への対応を行なった。

⑥　支援学校の体験利用受け入れ

支援学校卒業後、生活介護の利用を希望されている方に対して、支援学校から体験実習を受け入れている。令和 3 年度に体験実習を受けた 4 名の利用者が、今年度の利用に繋がり、今年度は 2 名の実習を受け入れ、内 1 名は令和 5 年度 4 月からの利用が決まった。

⑦　送迎サービス

通所時に、送迎サービスの利用を希望される方に対し、ドアツードアを基本とし、自宅までの往復に対してリフト付き送迎車 3 台で送迎サービスを提供した。

また、ひびきはばたき園と合同運行することにより、より利用者のニーズに合った送迎サービスが提供できた。合同運行は、感染予防対策を講じながら実施したが、感染が疑われる場合は合同運行を中止し、その後連絡を密に取りながら早期再開に努めた。

■合同の取組

① グループ活動

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、利用者が階をまたいだ交流を避けたため、グループ活動は中止した。代替えとして、フロアごとの活動を行った。

（ア）おやつ作り

フロアごとに 2 週間おきに実施した。栄養士が利用者の希望を聞きながらおやつを作り、器や盛り付けを工夫し提供した。

（イ）音楽療法

利用者の心身の安定や潤いのある生活を目指し、新型コロナウイルスの感染予防を徹底しながらオンラインを利用して実施した。感染者数が減少した際には音楽療法士に来所してもらい、ビニールカーテンを設置したうえで、音楽療法を行なった。

（ウ）グループ外出

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止し、代替え行事として、オンラインで観光地を巡る『オンラインツアー』を 9 月に実施した。今年度は初の海外ツアーとして『韓国』の観光名所スクリーンに映し、民族衣装であるチマチョゴリを折り紙で作成し、昼食やおやつはご当地メニューを提供した。

② 絵画教室

新型コロナウイルス感染症対策として、リモートで作品作りの指導を受け、職員が利用者の作品作りをサポートする取り組みを実施した。感染者数が減少した際には、感染予防対策を図りながら、直接指導を受けた。

③ 理学療法

リハビリが必要な方に対し、感染予防を徹底し理学療法士がリハビリを実施した。

新型コロナウイルス感染拡大の観点から、感染者数が増加しているときはフロアの行き来ができないため、支援員が理学療法士から指導を受けた運動などを実施した。

④ 各種会議

・地域生活支援センター全体会議（月 1 回）
・支援（フロア）会議（月 1 回）
・ケース会議（随時）
・行事担当者会議（随時）
・給食運営会議（3ヶ月 1 回）
・リスクマネジメント会議（随時）
・サービス管理責任者会議（月 2 回）
・リーダー会議（月 2 回）

⑤ 災害事故防止対策

福祉避難所として摂津市と協定を結び、地域の障がいのある方が災害にあわれた

際に安心して利用できるよう、非常食の準備、衛生品や日用品、ポータブル電源等の整備を行なった 。

⑥　虐待防止・身体拘束等適正化委員会

職員一人ひとりが利用者の人権擁護、虐待防止に努め、その責務を果たせるよう虐待防止・身体拘束等適正化委員会を法人で立ち上げ、虐待防止マネジャー会議の開催、および委員会を合計３回開催した。

毎月「自己チェックシート」を使って自らの支援を見直し、虐待防止について意識を高めると共に、法人の理念、経営方針、みきの路の行動規範、事業所理念などを確認し、支援者、職員としての意識を高められるよう努めた。

⑦　社会参加と地域貢献

地域の一員として、よく利用している嘉円公園のごみ拾いを利用者と共に行った。

摂津市の人権教育啓発作品展と、ひびきはばたき園の作品展に利用者の作品を出展して啓発活動に努めた。

昨年度は開催されなかった大阪府障がい者スポーツ大会に今年度は参加した。

⑧　アフターケア

施設からグループホームに地域移行した利用者に対し、グループホームスタッフが対応に困った時や、利用者家族から相談があった時は、利用者の状況を確認したうえでアドバイスを行った。

⑨　苦情解決システム

利用者及び家族、支援者から寄せられた苦情は真摯に受け止め、状況を確認したうえで丁寧に説明し、検証後の改善策を伝えた。また、市障害福祉課にも報告を行った。

⑩　各種会議への利用者の参加

入所・通所各フロアから代表利用者計 3 名を選任してもらい、給食会議や各種行事やイベントの企画会議に参加してもらった。利用者の希望する内容や、忌憚ない意見を伺い、利用者ニーズを最大限に企画内容に反映させた。

（3）定員及び利用状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

①　定員及び利用人数

（ア）　利用実人数

■施設入所支援　　定員 30 名（男性 17 名・女性 13 名）　　　　　　　　　　　　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
女	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
計	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360

■生活介護（通所）　契約者数 15 名　　　　　　　　　　　　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
女	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180

（イ）利用延人数（通所）　　　　　　　　　　　　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	140	144	63	127	105	132	129	134	57	128	132	148	1439
女	108	106	62	81	98	88	89	97	37	89	87	101	1052
計	248	250	125	208	203	220	218	231	94	217	219	249	2491
支援日数	20	19	13	20	23	21	21	21	12	19	20	22	239
平均人数	12.4	13.1	9.6	10.4	8.8	10.4	10.3	11.0	7.8	11.4	10.9	11.3	10.4

② 利用者の状況

（ア）年齢

■施設入所支援（人）

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	合計
男	0	0	2	8	5	2	17
女	0	1	1	3	6	2	13
計	0	1	3	11	11	4	30

■生活介護（通所）（人）

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	合計
男	2	4	1	1	1	0	9
女	2	0	1	1	0	2	6
計	4	4	2	2	1	2	15

（イ） 手帳の所持状況

■施設入所支援

【療育手帳】（人）

	A	B1	B2	合計
男	17	0	0	17
女	12	1	0	13
計	29	1	0	30

【身体障害者手帳】（人）

	1級	2級	3級	4級	5級	なし	合計
男	2	0	0	0	1	14	17
女	2	4	2	1	0	5	13
計	4	4	2	1	1	19	30

■生活介護（通所）

【療育手帳】（人）

	A	B１	B２	なし	合計
男	9	0	0	0	9
女	6	0	0	0	6
計	15	0	0	0	15

【身体障害者手帳】（人）

	1級	2級	3級	4級	5級	なし	合計
男	3	1	0	0	0	5	9
女	3	0	0	0	0	3	6
計	6	1	0	0	0	8	15

（ウ）障害支援区分

■施設入所支援（人）

	区分6	区分5	区分4	合計
男	4	9	4	17
女	9	3	1	13
計	13	13	4	30

■生活介護（通所）（人）

	区分6	区分5	区分4	区分3	合計
男	6	3	0	0	9
女	3	2	1	0	6
計	9	5	1	0	15

（４）行事

① 施設行事

5月18日	音楽コンサート	施設入所支援 生活介護（通所）	音楽療法士によるコンサートをリモートでつないで実施
7月26日	夏祭り	施設入所支援 生活介護（通所）	納涼会中止による代替え行事

9 月 27 日	バーチャル ツアーin 韓国	施設入所支援 生活介護（通所）	グループ外出中止による代替え行事 各フロアで実施
10 月 4 日	みきの路運動会	施設入所支援 生活介護（通所）	各フロアでオンラインと プロジェクターを使って実施
12 月 15 日	クリスマス会	〃	〃
3 月 29 日	多世代交流事業	〃	身障老人センター、児童発達支援センター、第一児童センターとリモートでつないだイベント

② 地域行事

大阪府障がい者スポーツ大会（フライングディスク）には利用者 6 名、職員 3 名で参加した。摂津まつり、桜町自治会盆踊り、三中フェスタ、風船バレーボール大会は、新型コロナウイルス感染症により、中止又は規模を縮小して実施されたため参加していない。

③ 法人行事

摂津宥和会運動会及び、つくっ展とかがやけコンサートは新型コロナウイルス感染症対策により中止となったが、つくっ展（作品展示のみ）を摂津市立コミュニティプラザで開催したため、利用者の合同作品を出展した。

（5）防災・防犯

① 災害時に備えるために、防災設備の点検を行った。

第 1 回目	10 月 19 日
第 2 回目	3 月 28 日

② 利用者参加のもと、避難訓練を 3 回実施した。

第 1 回目	9 月 7 日（通報、避難訓練）
第 2 回目	1 月 16 日（夜間・震度 6 弱の地震）
第 3 回目	3 月 20 日（避難、消火訓練）

③　ＡＥＤ使用法の講習

6 月 10 日に摂津市消防本部による救命救急講習を予定していたが、新型コロナウイルス感染症クラスター発生により、実施できなかった。その後も開催を模索したが、摂津市消防本部との調整の中で、感染予防の観点から講師の派遣が実現せず、昨年と同様に救急法の DVD を一週間借用し、視聴による研修を実施した。

④　防犯訓練

11 月 11 日に摂津警察署による不審者侵入時の通報方法やさすまたの使用方法、護身術の訓練を実施した。

（6）実習生の受け入れ

実習依頼のあった大阪成蹊短期大学と事前に感染予防と健康管理について打ち合わせを行ない、実習 2 週間前から健康チェックをお願いし、生活介護（通所）での実習を 2 名受け入れた。

（7）支援学校進路説明会

支援学校の進路説明会は、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら参加した。また、支援学校から依頼のあった事業所説明会用資料の作成を行い、その資料にはＱＲコードを貼り付けて、簡易に施設のホームページが観られるよう工夫した。

（8）職員研修

職員の専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、外部研修への参加を積極的に行なっているが、新型コロナウイルス感染予防のため、複数の研修が中止又は、オンライン研修となった。また、施設内でクラスターが発生したため、受講決定であった研修を辞退したものもあった。

実施日	研　修　名	場　所	主　催	職種
5 月 26 日	・虐待防止法に係る大阪府下の対応状況について ・虐待防止体制の整備	大阪府社会福祉会館	大阪府知的障害者福祉協会	施設長
7 月 5 日	高齢者施設のクラスター対応研修会	摂津市立地域福祉活動支援センター	摂津市	施設長 看護師
7 月 8 日	感染症・食中毒予防対策	オンライン	大阪府社会福祉協議会	栄養士
7 月 27 日	メンタルヘルス研修～職場のメンタルヘルス～	オンライン	摂津宥和会	施設長 施設長代理

7 月 29 日	虐待防止研修	オンライン	摂津宥和会	施設長 施設長代理 主任
8 月 22 日	安全運転管理者講習	吹田市文化会館	大阪府公安委員会	施設長
9 月 16 日	メンタルヘルス研修	〃	ソウェルクラブ	施設長代理
9 月 28 日	接遇講習会	〃	〃	支援員
10 月 4 日	リスクマネジメント研修会	大阪府社会福祉会館	福祉と人権の研修ネットワークおおさか	支援員
10 月 21 日	新人フォロー講習会	オンライン	ソウェルクラブ	支援員
10 月 25 日	カスタマーハラスメント研修	〃	ソウェルクラブ	支援員
11 月 24 日	ハラスメント研修	〃	ソウェルクラブ	施設長代理
11 月 24 日	個人情報保護基礎研修	〃	大阪府社会福祉協議会	支援員
12 月 8 日	レクリエーション研修	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	支援員
12 月 19 日	苦情解決第三者委員会	オンライン	大阪府社会福祉協議会	主任
12 月 21 日 ～3 月 3 日	大阪府サービス管理責任者等基礎研修	オンライン（1 日目） ビッグ・アイ （2・3 日目）	大阪障害者福祉事業団	支援員
1 月 26 日 27 日	障害者支援施設部会全国大会	大阪国際交流センター ホテルアウィーナ大阪	日本知的障害者福祉協会	施設長 支援員
1 月 30 日 ～2 月 6 日	相談支援従事者初任者研修（2 日課程）	オンライン	一般社団法人 大阪府地域福祉推進財団	支援員
2 月 1 日	サービス管理責任者等更新研修	大阪社会福祉会館	一般社団法人 大阪府地域福祉推進財団	支援員
2 月 20 日 24 日	安全運転研修	オンライン	摂津宥和会	施設長 運転手 支援員

3 月 2 日	新任職員研修会	オンライン	大阪知的障害者福祉協会	支援員
3 月 20 日	身体拘束適正化に向けて	ふれあいの里	摂津宥和会	施設長 施設長代理 主任 看護師 他

2　短期入所　　定員5名（男性2名・女性3名）

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方や、相談支援事業所が作成したサービス等利用計画に基づいて利用される方に対し、施設入所支援の日課に沿いながら、個別の支援を提供した。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、短期入所利用者には昨年度から引き続き、利用の自粛をお願いしたが、緊急的に利用が必要な方については、利用前の利用者やご家族、身近な方の健康状態を確認したうえで受け入れた。

（1）利用延人数

【成人】　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	8	9	0	0	0	0	0	0	20	13	0	0	50
女	8	31	53	32	26	0	0	0	0	0	0	0	150
計	16	40	53	32	26	0	0	0	20	13	0	0	200

【児童】　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3　日中一時支援事業

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難になった方に対し、日帰りでのサービスを提供した。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、利用の自粛をお願いしていたが、ご家族の状況や利用者の障がい特性から、利用の相談があった方については、利用前の利用者や家族、身近な方の健康状態を確認したうえで受け入れを行った。

（1） 利用延人数

【成人】 （人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

【児童】 （人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 緊急一時保護

平成 24 年 10 月に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、令和 4 年度も摂津市と「緊急一時保護等のための居室の確保（1床)」の覚書を締結した。

5 大阪知的障害者福祉協会の活動

令和 4 年度に開催された障害者支援施設部会全国大会 大阪大会の実行委員を施設長が努めた。

Ⅱ　共同生活援助　（グループホーム）　短期入所（ショートステイ）

（１）概況

「心と心のつながりで、温かさのある地域生活」をスローガンに、6ヶ所のホームで生活されているご利用者39名それぞれが思い描く生活の実現のために、直接支援をする世話人や支援員、サービス管理責任者がご利用者の声に耳を傾け、寄り添いながら安心して楽しく生活していただけるよう努めている。また、ご家族や支援者、相談支援事業所や日中活動の事業所、就労先の会社等の関係機関と連絡や情報共有を密に行い、支援やサービスが適切に提供できるよう努めている。

ご家族の支援が難しくなっているご利用者には、相談支援事業所と連携し、成年後見制度について説明を行った。令和4年度は2名のご利用者が利用に繋がり、現在は7名の方が当該制度を利用されている。

グループホームは、令和3年度後期から3名の体験利用を受け入れていたが、3名共本入居となり、現在39名が6ホームで生活されている。ガーベラは空床が1床あるが、入居されているご利用者の年齢に伴うQOLの低下や、簡易のスプリンクラーの設置が必要になることを見越し転居先を探しているため、転居先が見つかるまでは積極的な受け入れを行っていない。

世話人会議は、連絡事項だけでなく、ご利用者の支援やグループホームの動向などを説明し、支援の統一化やそれぞれがスキルアップできる機会としても活用している。令和4年度からは、新しい世話人を採用する時にオリエンテーションを実施し、グループホームの目的や世話人の業務に加え、障がい特性や世話人としての役割や心構えなどを説明し、ご利用者に寄り添う支援ができるよう指導に努めた。

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、帰宅や移動支援の利用の自粛をお願いし、ホーム内でも出来る限りの感染予防の協力をお願いした。ご利用者39名中24名が感染し（内2名は2回感染）、8月にヒマワリでクラスターが発生した。また、2月にはサルビアで同時期にインフルエンザの感染者と新型コロナの感染者がおり、感染拡大防止の徹底と、ご利用者や世話人の健康状態の確認を強化した。

（２）定員及び利用状況（延べ利用者数）

◎サルビア（利用定員10名　女性）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	269	280	283	287	273	267	287	277	271	289	251	291	3325
1日平均	9.0	9.0	9.4	9.3	8.8	8.9	9.3	9.2	8.7	9.3	9.0	9.4	9.1

◎ガーベラ（利用定員５名　女性）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1460
1日平均	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

◎オリーブ（利用定員５名　女性）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1825
1日平均	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

◎コスモス（利用定員４名　男性）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	120	121	120	114	124	119	123	110	116	118	112	123	1420
1日平均	4.0	3.9	4.0	3.7	4.0	4.0	4.0	3.7	3.7	3.8	4.0	4.0	3.9

◎サクラ（利用定員男性４名　女性２名）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	154	157	158	159	135	162	152	149	150	162	154	167	1859
1日平均	5.1	5.1	5.3	5.1	4.4	5.4	4.9	5.0	4.8	5.2	5.5	5.4	5.1

◎ヒマワリ（利用定員男性８名　女性２名）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	276	276	273	273	256	271	276	265	268	259	255	284	3232
1日平均	9.2	8.9	9.1	8.8	8.3	9.0	8.9	8.8	8.6	8.4	9.1	9.2	8.9

（３）入居者の状況（令和５年３月31日現在）　（単位：人）

◎サルビア

■年齢構成

20代	30代	40代	50代	60代	合計
1	2	3	3	1	10

■障害支援区分

区分3	区分4	区分5
3	4	3

■手帳所持状況

療育手帳Ａ	療育手帳Ｂ１
8	2

■介護認定

要支援
1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型	デイサービス（介護保険）
8	2	1（生活介護と併用利用）

◎ガーベラ

■年齢構成

40 代	60 代	合計
1	3	4

■障害支援区分

区分 3	区分 4	区分 5
1	2	1

■手帳所持状況

療育手帳Ａ	療育手帳Ｂ１	療育手帳 B2	精神保健福祉手帳２級
1	1	1	1

■介護認定

要支援 1	要支援 3
1	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型	デイサービス（介護保険）
3	1	1（生活介護と併用利用）

◎オリーブ

■年齢構成

20 代	40 代	50 代	合計
3	1	1	5

■障害支援区分

区分 2	区分 3	区分 4
2	2	1

■手帳所持状況

療育手帳Ｂ１	療育手帳Ｂ２
2	3

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型	就労
2	1	2

◎コスモス

■年齢構成

40 代	50 代	合計
2	2	4

■障害支援区分

区分 3	区分 5
2	2

■手帳所持状況

療育手帳A	療育手帳Ｂ２
2	2

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型	就労
2	1	1

◎サクラ

■年齢構成

20代	50代	60代	合計
3	2	1	6

■障害支援区分

区分3	区分4
5	1

■手帳所持状況

療育手帳A	療育手帳B2	精神保健福祉手帳2級	身体障害者手帳2級
3	1	1	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援Ｂ型	就労継続支援Ａ型
2	3	1

◎ヒマワリ

■年齢構成

20代	30代	50代	合計
4	5	1	10

■障害支援区分

区分3	区分4	区分5	区分6
1	2	5	2

■手帳所持状況

療育手帳A	療育手帳B1	身体障害者手帳2級	身体障害者手帳4級
9	1	1	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援B型
9	1

（4）支援の状況

ご利用者には、平日の夜間及び土日祝日、年末年始はホームで暮らすという事で、個々に必要なサービスを提供した。支援にあたっては、家庭的な雰囲気を最優先に考え、日常生活において個々のニーズに合わせて自立と社会参加が出来るように、日常生活上の配慮を重点に置いて支援を行った。昼間は、就労や生活介護等の日中活動の場を利用した。土日祝日に関しては、コロナ禍で移動支援を利用した外出を控えて頂いたが、「大阪モデル」や感染者数を日々把握し、感染リスクの少ない時期に帰宅や移動支援の利用を制限付きで再開した。ホームでも余暇を楽しめるように、デリバリーでの食事提供や週替わりのスイ

ーツの提供、感染予防を徹底して職員との近隣散歩などを実施し、余暇の充実を図った。

新型コロナウイルス感染症の影響で、日中活動の場の事業所が休所した時や、感染者が判明したご利用者のホームには日中も世話人を配置し、食事の提供や生活のサポート、健康管理を行った。また、移動支援が再開できない間は、ご利用者に日常生活で必要な物、欲しい物を伺い買い物に行ったり散髪の同行を行った。

食事提供には、加齢と重度化により誤嚥防止に対する対応を強化し、しっかりとよく噛み、味わって食するように声を掛け、場合によっては刻み食対応やお粥の提供など、ご利用者の障がい特性の変化に柔軟に対応すべく、主治医との意見交換も積極的に行った。

（５）個別支援計画

ご利用者それぞれの多様なニーズに対応するために、６ヶ月に １ 回、アセスメントを行い、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに合わせたサービス・支援を提供した。

ご利用者の意思表示を引き出しやすくする工夫や、ご家族の意見を聞き取る時間も設け、ご利用者を中心に関わりのある支援者の意見を反映させるように努めた。特にコロナ禍では、ご家族と電話での連絡や聞き取りを行い対応した。

相談支援事業所の作成するサービス等利用計画とも整合性を持たせ、サービス担当者会議でご利用者の生活状況を情報共有し、個別支援計画に反映させた。

（６）健康管理

日常より、世話人がバイタルチェックやご利用者の様子等の把握に努めた。サービス管理責任者への申し送りや、状況に応じての定期受診、その他必要に応じて臨時受診を行った。

健康診断についてはそれぞれの日中活動の事業所での受診に併せ、その他の検診（各種がん検診）や歯科検診に同行した。その結果を各主治医に提出し、健康状態の把握や対応に努めた。定期通院で配慮のいる方については、通院同行を行った。一人で通院されるご利用者については、主治医と書面や電話での情報交換を行った。歯科通院については、サルビアのご利用者に訪問歯科診療を導入した事をきっかけとして、ヒマワリに続きコスモスやサクラにもにも訪問歯科診療を導入した。

服薬が不十分なご利用者に対して、誤薬等が無いように支援員が管理し、配薬の準備や世話人への配薬指導を行い、世話人がチェック表を用いて声掛けや手渡し、全面的な介助で服薬を行った。

生活習慣病の予防と悪化防止の目的で、全ホーム統一した栄養管理の徹底を継続するために、NPO 法人摂津市サポートビューローに委託した配食サービスを継続した。

ヒマワリに関しては、毎食の配食サービスを必要とする観点から、株式会社ヨシケイの配食を継続し、栄養管理と支援に費やす時間の確保を行った。

全ホームにＡＥＤを設置し、玄関前にＡＥＤ設置のステッカーを貼り、近隣住民からの要請に貸し出しを行う取り組みを行い、社会貢献、地域貢献の意識を高めた。

■医療機関受診・往診状況

◎サルビア　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	1	2	2	2	1	2	1	2	0	3	1	19
精神科	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	0	2	14
脳神経内科	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2	9
歯科	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	6
皮膚科	3	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1	10
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
婦人科	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
訪問歯科	10	17	19	14	10	10	22	18	6	19	16	14	175
訪問看護	4	4	4	3	3	2	4	4	2	3	3	3	39
インフルエンザ予防接種	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
コロナ関係	1	1	0	0	2	7	0	0	2	8	3	0	24
合　計	26	26	28	22	20	24	31	25	18	30	27	30	307

◎ガーベラ　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	5	3	4	5	3	4	4	3	3	4	2	44
精神科	4	4	3	5	4	3	4	4	4	3	4	1	43
歯科	3	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	8
皮膚科	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
眼科	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
訪問看護	4	5	4	3	2	2	2	2	2	2	2	3	33
訪問リハ	10	11	8	10	10	7	12	11	6	8	9	10	112
コロナ関係	1	0	0	0	0	2	0	0	2	3	0	0	8
合　計	26	27	19	23	22	17	23	22	19	20	20	17	255

◎オリーブ　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神科	1	2	1	1	2	2	2	1	2	1	2	1	18
歯科	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	6
皮膚科	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4
脳神経内科	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
耳鼻科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
インフルエンザ予防接種	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
皮膚科	1	0	0	1	0	4	1	2	0	4	0	0	13
合　計	6	5	2	3	3	6	3	7	6	5	3	2	51

◎コスモス　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	2	10
整形外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	7
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
訪問歯科	0	11	12	9	9	6	9	15	9	9	9	9	107
インフルエンザ予防接種	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
コロナ関係	0	0	0	0	0	2	0	0	3	3	0	0	8
合　計	2	12	12	10	10	8	10	16	15	16	13	11	135

◎サクラ　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	2	1	2	1	0	2	2	2	1	2	2	18
精神科	0	0	0	1	2	1	1	3	1	2	1	1	13
歯科	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
皮膚科	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
眼科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

訪問歯科	0	6	7	7	2	6	6	8	6	6	6	7	67
インフルエンザ予防接種	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
コロナ関係	2	2	1	0	0	1	0	1	3	1	0	0	11
合　計	6	12	9	11	5	10	10	14	12	10	9	10	118

◎ヒマワリ　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
精神科	1	1	1	1	2	1	1	1	1	0	1	0	11
歯科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3
皮膚科	1	1	1	1	1	2	1	1	1	0	1	1	12
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
整形外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
訪問歯科	14	11	8	11	5	14	11	11	11	9	11	11	127
コロナ関係	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8
合　計	16	14	10	13	16	17	14	14	13	11	13	13	164

（7）日中活動

日中活動の事業所とは必要に応じて連携を図り、ご利用者の状況や支援の方向性での情報共有をした。相談支援事業所や医療機関、ヘルパー事業所とも連携し、定期的及び必要に応じ随時、ケース会議を開催した。

（8）レクリエーション・行事

コロナ禍の影響で、地域や各種団体の活動には参加出来なかった。コロナ禍において、感染予防を徹底しながら、移動支援の利用を継続させるための工夫を話し合い、ご利用者の余暇の過ごし方に少しでも潤いを持たせる事が出来るように配慮した。

各ホームで行っていた誕生会や季節のイベントは感染予防の観点から、最小限に留めて実施した。

生活のめりはりや楽しみの提供として、毎週1回、週替わりで食後のスイーツを職員が配達したり、季節イベントの時期にはデリバリーで食事を注文するなどの取り組みを行った。

（9）災害対策・防犯対策

各ホームに災害時の避難場所とハザードマップを活用した危険個所、災害時の連絡方法を記載した書類を目に付く場所に掲示し、有事の際に円滑に確認出来るように配慮した。全ホームの「洪水時の避難確保計画」を作成し、全職員が閲覧出来るように掲示し、日頃の外出や散歩の際にもご利用者に説明を行う事を徹底した。災害時の安否確認や迅速な情報伝達の手段として新規採用の職員にも、セコム安否確認サービスの登録を完了させた。

ヒマワリの館外 3 か所に防犯カメラを設置し、ホームの防犯目的はもちろん、近隣の防犯にも役立つように、道路や公園も映る角度で設置している。

ヒマワリにおいては、消防法区分で避難訓練が義務付けられており、年 2 回の避難訓練を実施した。

（１０）職員研修等

コロナ禍で外部研修が自粛や中止になったケースが多く、例年よりは研修参加の回数は減ったが、オンラインでの研修会や、感染予防を徹底した研修会には参加した。

世話人会議でその伝達研修を行っていたが、世話人会議の回数も減らした事で、伝達研修も実施出来なかったが、研修報告書の回覧で周知を図った。

◎研修会

実施日	研 修 名	場 所	主 催	参加者
6 月 8 日	令和 4 年度　障がい等福祉従事者研修（世話人研修）	大阪府社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	世話人
8 月 26 日	第 33 回　全国グループホーム等研修会 ～北海道大会～	オンライン	日本知的障害者福祉協会　地域支援部会	主任
12 月 12 日	令和 4 年度　グループホーム世話人等研修	大阪府咲洲庁舎	大阪府福祉部障がい福祉室生活基盤推進課	世話人
11 月 24 日 12 月 6 日 （※）	令和 4 年度　大阪しあわせネットワーク「コミュニティソーシャルワーカー養成研修会	オンライン	大阪府社会福祉協議会社会貢献推進室	主任
1 月 26 日 1 月 27 日	第 10 回　障害者支援施設部会全国大会　近畿地区大阪大会	大阪国際交流センター ホテルアウィーナ大阪	日本知的障害者福祉協会	施設長 主任
2 月 20 日 24 日	安全運転研修	オンライン	摂津宥和会	施設長 主任

				支援員 契約職員
3 月 20 日	身体拘束適正化に向けて	ふれあいの里	摂津宥和会	施設長 主任 支援員 契約職員

（※）12 月 23 日に 3 回目の研修を受講し研修終了の予定であったが、受講者が新型コロナウイルスに感染したことがわかり受講できなかったため、令和 5 年度に再度受講予定。

◎ホーム別世話人会議　（人）

実施日	ホーム名	場所	参加人数
6 月 23 日	ガーベラ	みきの路	9 名
6 月 23 日	サルビア	サルビア	9 名
11 月 4 日	サクラ	みきの路	8 名

◎世話人全体会議　（人）

実施日	場所	参加人数
4 月 21 日	みきの路	11 名
7 月 21 日	みきの路	10 名
9 月 15 日	みきの路	10 名
10 月 20 日	みきの路	11 名
11 月 17 日	みきの路	12 名
3 月 16 日	みきの路	10 名

◎スタッフ会議

実施日	場所	参加人数
7 月 21 日	ヒマワリ	5 名
10 月 20 日	ヒマワリ	4 名
1 月 19 日	ヒマワリ	5 名
2 月 16 日	ヒマワリ	5 名
3 月 16 日	ヒマワリ	7 名

（11）社会貢献事業

◎こども食堂

新型コロナウイルス感染症を考慮し、今年度は実施せず。

（12）新型コロナウイルス感染症の対応

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大阪府及び摂津市の通知にならい、令和 4 年度も帰宅や移動支援の利用の自粛をお願いした。障がい特性上及びやむを得ない理由で外出（外泊）を希望されるご利用者とご家族の個別の相談には応じ、健康観察と行動履歴の記録、家庭での感染予防の徹底をお願いした。

ご利用者に発熱や風邪症状等、感染が疑われる症状があれば世話人からすぐに連絡を受け、当該ホームに従事する世話人には防護ガウンやフェイスシールド、手袋の着用を指示し、同ホームご利用者には事情を説明した後居室対応をお願いした。体調不良者は医療機関を受診し、PCR 検査を受検していただき、症状が軽減するよう処方された薬の服用を開始し毎日健康観察を行った。万が一を想定し、すぐに感染者対応を開始したことで、5 ホームはご利用者の感染が判明しても感染を最小限に留めるとができたが、8 月にヒマワリで 10 名中 9 名が感染しクラスターが発生した。これはご利用者の障がい特性上、個室対応が難しく一気に感染が広がった。同時期に職員の家族等による感染が数名判明し、ホーム内のゾーニングを含め感染対策についてみきの路の看護師から指導を受け、法人内に職員の応援体制を依頼し、法人内の事業所から 3 名の応援職員が配置された。

感染が判明した場合、その都度茨木保健所に連絡し指示を仰いだ。また、ご家族や支援者、大阪府や摂津市への報告や、日中活動の事業所等には頻繁に連絡し、ご利用者の体調の報告や感染状況、ホーム療養解除日の調整等を行った。茨木保健所からご利用者の健康観察の指示があった場合、毎日所定の様式で健康状態を報告した。また、濃厚接触者となったご利用者には健康観察や茨木保健所の指示で PCR 検査を受検していただき、体調不良や感染拡大に対して早急に対応できるよう努めた。

濃厚接触者に特定されたご利用者は居室対応をお願いし、ホーム待機期間が終了した翌日には、濃厚接触者に特定されたご利用者、感染者の対応をしている世話人に対し、市販の抗原検査キットで検査を実施し、陰性が確認されてから通常の生活に戻っていただいた。そのことで、ご利用者やご利用者の通う事業所や会社、世話人やその家族にも安心していただけた。

新型コロナのワクチン接種や、インフルエンザの予防接種については、そのリスクやメリットをご利用者に説明し、希望される方の通院同行ができるよう職員体制を整えた。

（１３）短期入所

ショートステイヒマワリを開設し 2 年目になるが、同法人内の相談支援事業所の協力もあり、契約者数は 42 名、内 5 名は施設入所支援やグループホームの利用が決まり契約終了となったため、現在の契約者数は 37 名。その他に令和 4 年度中に契約日の調整を行い、令和 5 年度中に 3 名の方の契約が決まっている。

契約日にはアセスメントを行い、ご利用者の利用目的や利用方法についても確認し、受け入れ体制を整えると共に、契約日にはできるだけ 1 回目の利用日を決めていただけるよう提案し、関わりが途切れないよう取り組んだ。その結果、令和 3 年度の延べ利用者数は 258 名に対し、令和 4 年度は 559 名で約 2.2 倍の利用増に繋がった。しかし、8 月は、同じ建物のグループホームヒマワリで新型コロナのクラスターが発生したことにより、予約が入っていたご利用者には状況を説明し、感染拡大防止の観点から利用の自粛をお願いした。そのため、8 月はご利用者の体調不良を含め 16 件の利用がキャンセルとなった。

地域生活支援拠点等事業の登録施設でもあり、地域の障がいのある方が安心して利用でき、必要とされる施設であり続けられるよう、スタッフの育成やスキルアップに力を入れると共に、受け入れ体制を整え個別対応が必要な方の受け入れにも少しずつ取り組んでいる。

ミキサー食が必要なご利用者については、調理方法についてご家族から数回指導を受け、対応する職員がわかりやすいように動画撮影を行い周知した。食事提供に必要なミルサーを購入し、みきの路の栄養士に相談しながら適切な食事が提供できるよう努めている。

◎ショートステイヒマワリ（定員 5 名）（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性（者）	12	9	11	19	0	21	19	26	21	29	37	35	239
女性（者）	8	20	14	16	6	24	26	22	17	23	21	23	220
男性（児）	0	6	2	6	2	8	4	6	2	10	4	4	54
女性（児）	0	4	2	6	2	6	4	4	4	6	2	6	46
合計	20	39	29	47	10	59	53	58	44	68	64	68	559

3　摂津市立児童発達支援センター

Ⅰ　児童発達支援センター「つくし園」

（1）概況

つくし園は、発達に課題のある就学前の児童を対象にきめ細やかな支援を行う『児童発達支援』、障がい特性へのきめ細かい配慮を行い、生活全般をトータルに見据え相談を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活をより豊かに過ごすことができる様に専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』を行い、児童発達支援センターの指定要件を満たしている。

障がい種別を問わない就学前の児童の心身共に豊かな発達を育む環境を整えることを主眼に置いた療育、保育を行った。また、個々様々な発達の課題を有している子どもの保護者に対して子育て支援・家族支援を行いともに子育てをする関係作りを大切にして取り組を行った。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談を行い、令和 5 年度に就学を迎える 6 名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組みの理解を得て、対象の小学校及び支援学校の保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決定に繋げた。

障害児相談支援については、発達に課題のある児童を対象に児童期における障がい特性へのきめ細かい配慮を行い実施しているが、年々増加する相談件数への対応として、保護者に不安を与えず、今まで通りのサービスの提供を継続出来る事を主眼に置き、市子育て支援課との協議により、当センターのみの利用児に対し令和 3 年度より「セルフプラン」を導入し、3 月末には、更新および新規利用申請、計 108 件の手続きを行った。今後も保護者ニーズを探りながら良好なサービス提供に向け、市子育て支援課とも協議、検討を行います。

保育所等訪問支援については、保護者からの希望により、市内のこども園、保育所(園)幼稚園に訪問員が訪問し、発達に課題のある児童が地域で生き生きと生活できるよう、児童への直接支援、職員への助言、環境調整等を行った。

（2）療育の状況

発達に課題がある児童に対し個々の特性や発達段階に応じて集団や個別で療育を行った。

①　クラス編成は単独通園 2 クラスと親子通園 1 クラスとし、年齢、発達状況、親子関係、家庭環境を考慮した個別支援計画を立て療育を行った。親子クラスでは単独クラスへの移行の見通しを親子ともに持ちやすいよう、親子分離の機会を設けると共に、登園日数を変更する等し、スムーズな移行につなげるなど状況に応じたきめ細かな取組みを行った。

② 食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の自立に向けて、個々に応じた援助を行った。

③ あそびや様々な行事を通して人との関係性を育むとともに、その中で自己を表現し発揮できるよう配慮を行い、心豊かに過ごすことが出来るよう環境を整える工夫を行った。また全員で同じ遊びに取り組む設定保育では、個々の発達状況、興味関心により課題別にグループ編成をするなどし、ひとり一人が集団の中で自分の想いや力を発揮できる様な環境作りに力を注いだ。

保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等、多職種で連携を図り日々の保育を行った。

④ 行事　（人）

実施日	行事名	場　所	参加者（人）	内　容
4 月 5 日	始業式	集会室	園　児　14 保護者等　11	職員挨拶・紹介および連絡事項
5 月 15 日	日曜参観	園内	園　児　15 保護者等　20	日頃保育に参加しにくい家族に参加を促し、日頃の様子の理解を図った。
7 月 7 日	七夕まつり	〃	順次写真撮影	季節の行事として経験の拡大を図った。
7 月 8 日	夏まつり	〃	園　児　16 保護者等　14	季節の行事として、園内をおまつり会場とし、保護者と共に楽しんだ。
10 月 6 日	遠　足 (親子クラス)	桑田公園	園　児　5 保護者　5	親子通園クラスの在籍児童の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
10 月 7 日		第 1 児童センター	園　児　1 保護者　1	
10 月 12 日	遠　足 (単独クラス)	万博公園	園　児　8	単独通園クラスの在籍児童の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10 月 14 日	遠　足 (単独クラス)	桑田公園	園　児　5	
11 月 5 日	運動会	鳥飼体育館	園　児　22 保護者等　16	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12 月 15 日	クリスマス会	園　内	園　児　12 保護者等　16	友達と一緒にクリスマス会を楽しんだ。

12月16日			園　児　　11 保護者等　11	
2月11日	生活発表会	〃	園　児　　22 保護者　　54	保育で日頃取り組んでいる事を、保護者等の前で発表することにより、経験の拡大を図った。
3月10日	お楽しみ会 （単独ｸﾗｽ）	第1児童 センター	園　児　　11 保護者　　11	1年の締めくくりとして、親子で楽しむプログラムに参加し、一緒にお弁当を食べ、親子ともども楽しい時間を過ごした。
3月17日	卒園式 修了式	園内	園　児　　13 保護者等　24	卒退園・一年の修了を祝った。

※行事については・通常の保育形態で実施する行事・季節の行事・保護者と協力して実施する行事・家族参加の行事に分類されている。令和4年度は新型コロナウィルス感染症の感染状況により、行事内容、形態について検討し、その時々の状況に応じて実施した。

⑤ 家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取組みを実施し、園児の成長、発達について共通の認識を持ち、わが子の理解を深めると共に、家庭での育児力を育むことに取り組んだ

項　目	実施内容
家庭訪問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため、入園後、感染症の状況を踏まえ保護者確認のもと実施した。
個別面談	各担当者が保護者との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助について園と家庭での様子に関する情報交換を行い、課題に取り組んだ。進路については、保護者の気持ちも大切にし、ともに悩み考え、わが子の理解にもつながるよう援助し、保護者自身で決定出来る様寄り添った。（年2回、その他随時）
クラス面談	各クラスの状況に応じた取組みや課題設定についての説明を行った。保護者がクラスの中で他の保護者の意見を聞き、また自分の悩みを話すなどの機会とし、ともに子育てをする仲間としての関係作りにもつなげた。
合同親子保育	全園児、全保護者を対象とした取組みを行う。2クラス合同で行うことによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施していたが、令和4年度は新型コロナウィルス感染症の影響により実施せず。

単独クラス 親子保育	単独クラス通園児保護者を対象とし、保育に参加してもらう中で、児の成長をともに確認し喜び合ったり、家庭との様子の違いや家庭での困りごと等についての情報交換を行い、園と家庭の役割・協力体制を整えることを目的として実施した。
保育参観	日曜参観、給食参観を年度当初に計画し、その時々の、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、実施時期、内容を検討し行った。保護者が園での子どもの様子を把握する目的での参観は、保護者の希望により随時受け入れを行った。(給食参観・プール参観等)
連絡ノート	日々の園と家庭での子どもの生活状況（食事・睡眠・健康状態）などの伝達の手段として活用した。また、保護者の育児に対する考え・姿勢・悩みを聞き、思いを共有したうえで、園での取り組みを伝える等子育てに対するアドバイスを行い、保護者の育児力を育むと共に育児負担の軽減に努めた。　（毎日）
園だより	近況紹介、新入園児の紹介、月間予定、給食だより（献立表） 連絡事項などの内容で保護者、関係機関に配布した。(毎月)

＊保護者教室

子どもの発達に関する学習や講習による技術習得をすることにより、保護者の負担を軽減し、子育てに精神的なゆとりを持つことが大切と考え、訓練士、心理士等により保護者対象に講話を行っていたが、令和 4 年度は新型コロナウィルス感染症対策により実施せず。今後実施に向けて内容等について検討していく予定。

⑥ 進路指導

就学については、市教育支援課および大阪府立摂津支援学校に講師依頼を行い、摂津市における就学指導および各学校の教育内容についての「保護者向け就学説明会」を行った。

また、年長児の校区にあたる小学校に当園の就学指導の取り組みや、見学・体験入学の主旨、園児の状況等を伝え、理解を深めた。そのうえで見学・体験入学実施を依頼し、職員が付き添った。そのことを通し保護者が進路先について充分な理解と検討を行った上で、進路決定をし、教育支援会議を迎えることが出来る様援助した。

就園（幼稚園、保育所、こども園）については、市子ども教育課に講師依頼を行い、幼稚園・保育所、こども園に対する理解、進路選択の手順についての「保護者向け就園説明会」を行った。そのうえで、保護者自身による見学・相談に繋げ、随時個人面談等で相談に応じた。

（保護者懇談会）　（人）

実施日	内　容	保護者
5 月 26 日	幼保進路説明会（市子ども教育課　参事）	7
6 月 16 日	就学説明会　（市教育センター主事 大阪府立摂津支援学校主事）	6

（小学校・支援学校小学部）　（人）

実施日	対象機関	内　容	対象児
5 月 30 日	摂津市立摂津小学校	来園見学 取組説明	1
6 月 9 日	摂津市立三宅柳田小学校	取組説明	1
6 月 9 日	摂津市立別府小学校	取組説明	3
6 月 10 日	摂津市立味舌小学校	取組説明	1
6 月 16 日	摂津市就学相談	相談	6
6 月 27 日	大阪府立摂津支援学校	見学	6
6 月 30 日	摂津市立味舌小学校	見学	1
7 月 4 日	摂津市立三宅柳田小学校	見学	1
7 月 6 日	摂津市立摂津小学校	見学	1
7 月 7 日	摂津市立別府小学校	見学	3
9 月 13 日	摂津市立三宅柳田小学校	資料説明	1
9 月 20 日	摂津市教育支援課	見学	6
9 月 20 日	摂津市立別府小学校	資料説明	2
9 月 22 日	摂津市立別府小学校	体験	1
9 月 22 日	摂津市立味舌小学校	資料説明	1
9 月 29 日	摂津市立味舌小学校	体験	1
10 月 3 日	摂津市立別府小学校	体験	1
10 月 3 日	摂津市三宅柳田小学校	体験	1
10 月 4 日	摂津市立摂津小学校	資料説明	1
10 月 13 日	摂津市立摂津小学校	体験	1
10 月 14 日	大阪府摂津支援学校	見学	1
11 月 1 日	摂津市立味生小学校	見学	1

11 月 10 日	摂津市教育支援会議	会議	4
11 月 17 日	摂津市教育支援会議	会議	3
12 月 15 日	教育支援会議結果伝え	面談	1
12 月 16 日	教育支援会議結果伝え	面談	5
2 月 20 日	摂津市立味生小学校	引継ぎ	1

（3）健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡をとり、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に感染症対策には細心の注意を払い、手洗い・手指消毒等の対応をした。また、体調の変化には細心の注意をはらった。日々の取組みとしては、戸外遊びなどを多く取り入れ、身体づくりを行うとともに歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

５月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活を過ごすことが出来るよう努めた。また、健康診断は次のとおり実施した。

①内科医健診

健 診 日	5 月 30 日
	11 月 14 日

②その他健診、検査

健 診 日	内　容
5 月 10 日	歯科検診
6 月 9 日	耳鼻科健診
11 月 1 日	尿 検 査

（4）給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。

給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理の充実にも努め、月１回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・栄養士で給食会議を実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給食提供をした。また可能な範囲で食物アレルギーのある子への除去食の提供を行った。

家庭との連携のため月１回給食だより・献立表の配布を行った。

（５）通園児の状況

① 通園状況（延べ人数）　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
親子クラス園児数	58	80	115	67	55	60	88	78	79	82	93	91	946
単独クラス園児数	173	178	213	191	202	240	239	277	243	225	243	246	2670
園児数計	231	258	328	258	257	300	327	355	322	307	336	337	3616

② 年齢別（令和４年４月１日の年齢）　（人）

年齢	２才	３才	４才	５才	合計
男	1	7	3	5	16
女	0	1	0	1	2
計	1	8	3	6	18

③ 障がいの状況（原疾患・合併症・診断名）　（人）

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症スペクトラム障害
男	15	0	7
女	1	0	2
計	16	0	9

④ 療育手帳の所持　（人）

区分	A	B１	B２	所持無	合計
男	6	1	3	12	22
女	1	1	0	1	3
計	7	2	3	13	25

⑤ 身障手帳の所持　（人）

区分	１級	２級	３級	合計
男	1	0	0	1
女	1	0	1	2
計	2	0	1	3

⑥ 進路の状況　（人）

区分	保育所	幼稚園	こども園	支援学校	居住地小学校	合計
男	1	3	4	2	2	12
女	0	0	0	1	0	1
計	1	3	4	3	2	13

（6）障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

① 利用状況　（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体障がい	4	6	7	13	7	7	2	4	6	7	7	7	77
重症心身障がい	9	6	6	9	9	5	6	7	11	9	8	3	88
精神障がい	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
知的障がい	48	41	45	48	47	41	47	33	45	46	60	51	552
発達障がい	27	27	26	29	20	18	30	22	18	9	21	23	270
その他	16	4	4	5	4	4	7	1	3	1	8	4	61
合計	104	85	88	104	87	75	92	67	83	72	104	88	1049

② 支援内容　（件）

福祉サービスの利用等に関する支援	2424
障害や病状に関する支援	5
健康・医療に関する支援	69
不安の解消・情緒安定に関する支援	2
家族関係・人間関係に関する支援	53

保育・教育に関する支援	103
社会参加や余暇活動に関する支援	0
家計、経済に関する支援	5
権利擁護に関する支援	8
生活技術に関する支援	0
その他	556

延べ利用人数　1049 人　支援件数　3225 件

（7）保育所等訪問支援

保護者からの希望により、専門的な知識を持った訪問支援員が保育所等を訪問し、発達等に課題のある子どもたちに対して、集団の中で自分を発揮して安心して過ごし、より集団生活が豊かになるよう、対象児への直接的な支援、職員、環境などへの間接的な支援等、必要な支援を行った。

実施状況 （人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
公立こども園	8	8	13	13	8	13	11	16	10	11	9	8	128
私立こども園	8	12	9	8	9	7	10	9	9	9	10	11	111
私立保育園	4	5	4	4	4	5	2	5	5	5	5	4	52
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
合計	20	25	26	25	21	25	23	30	24	26	24	25	294

（8）くまさん親子教室事業（摂津市委託事業）

市家庭児童相談課からの紹介により、発達や養育上に課題のある 1 歳から 3 歳児とその保護者を対象に、市内 3 か所で親子教室を実施した。年度当初、利用児が少ないことから、担当課と共に教室の意味や方針、市民ニーズを探り、今後の方向性も含め、何度か会議を実施した。後半より希望人数が増え、紹介、入室の調整が必要となった。

実施状況 （人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月曜日	8	17	15	12	18	17	18	23	15	14	15	7	179
火曜日	0	0	0	0	0	0	3	17	15	18	19	11	83
水曜日	0	0	0	0	0	0	0	14	9	14	22	28	87
金曜日	0	0	2	4	4	13	11	14	12	17	24	19	120
計	8	17	17	16	22	30	32	68	51	63	80	65	469

（9）日中一時支援事業

日中一時支援事業として、つくし園通園児を対象に、保護者の就労、通院、きょうだい児の学校行事、長期休暇中の余暇支援、保護者のレスパイト支援を目的とし、日中活動の場として受入れを行った。

利用実績 （人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	17	15	29	30	28	38	38	42	38	17	26	41	359

（１０）各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

１．施設連絡会議（毎月２回）
２．行事会議（随時）
３．ケース会議（随時）
４．市家庭児童相談課との会議（判定会議等）
５．処遇会議（毎日）
６．給食会議（月１回）
７．総括会議（年度末）

（１１）災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災、地震を想定した避難訓練・総合訓練(消火訓練を含む）を月に１回実施した。

（人）

実施日	想定災害	訓練内容	参　加　者			
			園児	保護者等	職員	合計
4 月 22 日	火　災	避 難 訓 練	12	3	18	33
5 月 20 日	火　災	避 難 訓 練	10	3	15	28
6 月 18 日	火　災	避 難 訓 練	17	5	15	37
7 月 29 日	火　災	避 難 訓 練	14	5	17	36
8 月 20 日	火　災	避 難 訓 練	13	3	16	32
9 月 10 日	火　災	避 難 訓 練	12	1	18	31
10 月 22 日	火　災	避 難 訓 練	25	11	20	56
11 月 19 日	火　災	避 難 訓 練	19	5	16	40
12 月 22 日	火　災	避 難 訓 練	15	4	16	35
1 月 17 日	地　震	避 難 訓 練	23	10	15	48
2 月 28 日	火　災	避 難 訓 練	16	4	15	35
3 月 24 日	火　災	総 合 訓 練	15	3	11	29

（１２）職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主　催	職種
7月12日～9月22日	大阪府相談支援従事者初任者研修	オンライン	大阪府	相談員
7月２９日	虐待防止研修	オンライン	摂津宥和会	管理者 虐待防止マネージャー
8月24日～31日	小中学校および知的障がい支援学校に在籍する肢体不自由のある児童生徒への対応について」	オンライン	高槻支援学校	保育士 相談支援専門員
8月17日～31日	不登校児童生徒（予防的にそれに関わる支援が必要な子も含めて」への対応について	オンライン	高槻支援学校	保育士・相談支援専門員
8月23日～28日	ビジョントレーニング（入門編）。見る力を育てる指導の考え方	オンライン	高槻支援学校	作業療法士 相談支援専門員・保育士
１１月1日 8日	虐待防止研修	摂津市	摂津宥和会	全職員
11月14日～16日	人権研修	オンライン	摂津宥和会	全職員
11月25日	WISC−Ⅳオンライン研修	オンライン	デイプレイス	相談支援専門員
12月～3月	大阪府相談支援従事者 現任研修	大阪市	大阪府	相談支援専門員
12月1日～23日	障がい者支援 区分認定調査員研修	オンライン	大阪府	相談支援専門員・管理者
12月6日 7日	大阪府サービス管理責任者 実践研修	大阪市	大阪府	作業療法士
12月7日	自閉症スペクトラムと共に	吹田市	医療法人いちえ	相談支援専門員
1月16日 17日	大阪府医療ケア児等支援者養成講座	大阪市	大阪府	相談支援専門員・保育士
2月14日	防犯研修	大阪市	大阪府社会福祉協議会	児童指導員

2月15日	安全運転管理者講習	豊中市	大阪府	管理者
2月22日	人事考課研修	オンライン	摂津 宥和会	管理者
2月20日 24日	安全運転講習	摂津市	摂津 宥和会	全職員
3月20日	障がい者虐待・身体拘束研修	摂津市	摂津 宥和会	保育士 公認心理師

※令和4年度は、新型コロナウィルス感染症対策を行ったうえで、対面での研修再開されたことに加え、開催を控えられていた研修(オンライン・体面にかかわらず)も行われ、参加する機会が増えた。

※その他、職員勉強会を適宜行った。(伝達研修も含む)

（１３）施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターの地域における社会資源として、外部からの実習生を積極的に受け入れた。

実習期間	学校名等	内容	人数
8月22日～9月2日	聖和短期大学	保育実習	1
9月5日～16日	聖和短期大学	保育実習	1
11月14日～28日	日本メディカル福祉専門学校	保育実習	1
11月25日	大阪人間科学大学	公認心理師 実習	2
1月24日～2月6日	光華女子大学	保育実習	1
2月20日～3月6日	梅花女子大学	保育実習	1
3月7日～22日	聖和短期大学	保育実習	1

※実習生の受け入れにあたっては、2週間前からの検温の実施、当日の健康チェック表の提出を求めた。

※令和5年2月に予定していた実習生2名が当園の新型コロナウィルス感染症の影響により、受け入れ不可となったため、令和5年8月～9月に受け入れを行った。

（１４）他機関との連携

① 子育て支援ネットワーク推進会議

今年度は 2 回開催され、コロナ禍における各事業の工夫点について話し合いが行われる。また、恒例となっていた(令和元年～令和3年度は中止)「親子ランド In 鳥飼」の開催に向けて内容について検討、話し合いを行い、4年ぶりに行った。

② 摂津市児童発達支援事業所連絡会

市内の事業所が集まり連絡会を開催する。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施している。令和４年度は、４年ぶりに第１回目、第２回目共に対面で行うことが出来、交流を深めることが出来た。

③ 摂津市発達支援担当者会議

出産育児課が主催する、標記会議に、家庭児童相談課・子育て支援課・子ども教育課の発達支援担当者と共に参画し、摂津市における発達支援の課題等について検討を行った。

④ その他

＊摂津市要保護児童対策地域協議会

当園入園までの経緯及び、入園後の家庭環境や親子関係の様子から、虐待等好ましくない家族関係や家庭環境が見受けられた場合は、要保護児童対策地域協議会と連携を図り、情報交換、役割分担をして子どものすこやかな育成及び家族支援に努めた。

＊卒園後のフォロー体制

卒園児、修了児の就学先、就園先担当者と連携を図り、スムーズに新しい生活に移行できるよう、在籍中に参観にきていただき、資料を基に引継ぎを行った。

＊ボランティア

新型コロナウィルス感染症の感染拡大を防ぐことをねらいとし、行事内容を縮小して実施したため、ボランティアの受け入れを行う機会がなかった。今後は機会を設けて、積極的に受け入れを行っていく予定。

（１５）新型コロナウィルス感染症の発生に伴う措置

令和２年２月頃から続いている、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、今年度も引き続き下記対応を継続した。

・園児、職員、来園者の手洗い・うがい・消毒・体温等体調チェックの実施
（体調がすぐれない・37.5 度以上の発熱の場合は利用を控えていただいた。）
・活動前後の手洗いうがいの励行・マスク着用の徹底（未就学児は除く）
・密を避ける環境構成及び室内の換気・保育内容の工夫
（密にならない。飛沫が飛ばない。玩具を共有しないなど）
・行事の縮小・内容の変更
・玩具・設備（共有部分）等の消毒。使用後の部屋の消毒
・感染防止のための環境設定（アクリル板の設置・空気清浄機の設置等）
・保護者・職員への感染を防ぐための対応・行動等の協力依頼
・感染拡大時には、相談員による家庭訪問・事業所訪問の自粛（電話・手紙の活用）

・家族に感染の可能性があり自宅待機となった場合は、職員及び当園利用児も自宅待機の協力を要請
・他機関との情報共有
※3 月 13 日にマスク着用について、個人判断に委ねることとなったが、市子育て支援課とも相談の上、園内ではマスク着用のお願いをした。

◆新型コロナウイルス感染症罹患者が発生した時の対応
・罹患者から速やかに連絡を受けると共に、医師、保健所からの指示についても報告を受け、園での対応を検討した。
・必要に応じて茨木保健所と連携し、対応について指示を受け、摂津市担当課、法人本部、職員と共有し速やかに対応（保護者連絡・園内消毒等）を行った。
※令和 4 年度は、罹患者も少なく、集団感染が起こることなく、幸いにも事業運営に影響が出る事はなかった。

◆今後に向けて
新型コロナウィルス感染症は、感染者も減少傾向にあり、感染症法上の位置づけについて、政府より今年 5 月 8 日に。季節性インフルエンザなどと同じ「5 類」に移行する方針が発表された。感染者は減少したものの、感染リスク(重症化・後遺症等)について、警戒する必要を感じるため、感染防止について引き続き状況に応じて対応して行きたい。それと共に、マスク着用はもとより、行事内容についても、感染前の形態に戻していく等、事業内容について検討を行い、利用児の経験拡大はもとより、地域に開かれた施設作りを再検討していきたい。

Ⅱ　障害児通所支援施設「めばえ園」

（1）概況

めばえ園は、児童福祉法による通学利用の発達に課題のある児に対する支援を行う身近な発達支援の場として、未就学児を対象に「児童発達支援事業」就学児を対象に「放課後等デイサービス事業」を実施した。併設しているつくし園内の相談支援及び行政機関（出産育児課、子育て支援課、家庭児童相談課）で相談を受付けられたのち、障害児相談支援事業所で作成される「障害児支援利用計画書」、および保護者作成による「セルフプラン利用計画書」に基づき、理学療法・作業療法・言語療法の訓練領域、親子教室である「グループ療育」について、個々の課題に沿う訓練を保護者と連携のもと実施した。心身その他状況に応じて、生活に関する相談及び助言等も行った。

市出産育児課、家庭児童相談課、教育支援課からの依頼、観察・評価ケースが 84 件あった。各関係機関からの協力依頼に基づき連携・協力に努めた。

めばえ園では今後も摂津市在住の児童の健やかな成長を育むため関係機関との連携を密にとり、社会や利用者のニーズに応えていけるよう更なるサービスの向上を図っていきたい。

（2）サービスの状況

① 理学療法

個別訓練を発達段階に応じて実施した。個別訓練では感覚、運動レベルの機能障害に対しての訓練指導のみならず、利用児を取り巻く生活環境や家族関係等への指導助言も、丁寧に行い、訓練とともに成果をあげた。

② 作業療法

知覚、認知、概念の学習や日常生活動作指導、手指機能訓練を主として行った。
利用児を取り巻く生活環境や生活場面での状況に応じて、指導助言も丁寧に行い、訓練指導によって行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大などにつながり、場面適応が改善されてきた。グループ訓練と個別訓練を、発達段階に応じて実施した。

③ 言語療法

口腔器官、聴覚器官だけの障害でなく、それらを制御する中枢器官に問題のある場合が多い中で早期治療が行われる事によって、伝達、思考、記憶への発達面の援助を行ってきた。

④ グループ訓練

健診後のフォロー教室として、出産育児課からの紹介等により、週 1 回の親子教室を実施し、子の困り感へのアプローチだけでなく、こだわり等により育てにくい子を持つ、

子育てに悩む保護者に対して、保育士・言語聴覚士・作業療法士・公認心理師があらゆる側面から支援を行った。

⑤ 送迎サービス

利用児の利便性向上のためニーズに応じて、つくし園の通園バスを利用し、送迎サービスを実施した。

⑥家庭との連携

訓練には保護者と共に来園し同室で訓練の様子を見てもらうことにより、児への対応と発達段階を理解できるよう努めた。また、学習し成長していく過程を担当職員と共感し、児への理解を深め受容できるように、助言すると共に、揺れ動く保護者の気持ちに寄り添ってきた。

⑦ 関係機関との連携

利用児の所属小学校の担任教諭等が訓練の見学に来園し情報共有を行う、こども教育課の保育所巡回指導で公認心理師と作業療法士が同行して、助言や意見交換を行うなどした。また、必要に応じて発達検査を行い、保護者の同意のもと「教育支援会議」に出席し、情報提供及び助言を行った。

（保育所　巡回指導）

実施日	対象機関
5 月 12 日・11 月 21 日	認定こども園　こどもの杜藤森学園
5 月 23 日・9 月 26 日	摂津さつき保育園
5 月 26 日・10 月 13 日 1 月 12 日	認定こども園　正雀ひかり園
6 月 16 日・11 月 4 日	認定こども園　摂津市立べふこども園
6 月 24 日・10 月 21 日	認定こども園　摂津市立とりかいこども園
7 月 7 日・11 月 10 日	認定こども園　せっつ遊育園
10 月 27 日・1 月 20 日	認定こども園　摂津市立子育て総合支援センター
11 月 7 日	認定こども園　摂津ひかり保育園

（引継ぎ・来園相談・見学）

学校

実施日	対象機関
4 月 6 日　10 月 19 日 10 月 24 日	摂津市立鳥飼小学校

4月9日・4月26日 11月17日・2月8日	摂津市立鳥飼西小学校
4月8日	摂津市立三宅柳田小学校
9月7日・9月28日 12月5日・12月8日 1月17日・1月19日 1月31日	摂津市立鳥飼北小学校
4月12日・10月7日	摂津市立味生小学校
4月4日・8月26日 10月11日・10月14日 11月10日・11月28日 12月16日・1月10日	摂津市立摂津小学校
4月6日・10月19日	摂津市立千里丘小学校
4月5日・11月17日	摂津市立味舌小学校
4月6日・10月24日 12月5日・1月30日	摂津市立別府小学校

幼稚園・保育園・こども園

実施日	対象機関
10月21日	摂津市立とりかいこども園
4月27日	かおり幼稚園
4月13日・9月9日 10月9日	摂津ひかり幼稚園
7月13日	認定こども園　摂津ひかり保育園
8月9日	摂津市立べふこども園
8月17日	あそびまち游育園
2月7日	認定こども園　正雀ひかり園
3月27日	認定こども園　とりかい遊育園

⑧発達検査

児童の発達段階や特性などの特徴について見立て、適切な対応を検討することを目的として、公認心理師が実施した。検査結果については、保護者に伝えるほか、必要に応じて保護者同意のもと、または希望により、所属園、進路先等の関係機関に情報提供を行った。

≪実施状況≫ (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	7	6	9	12	7	5	0	4	0	1	0	52

（3）健康管理

利用児の健康状態の把握には常に保護者と連絡調整を図り、必要に応じて医療機関・担当保健師との連携に努め助言・指導を受け訓練に活かしてきた、特に感染症対策には細心の注意を払い、保護者・利用児において手洗い、うがい、手指消毒の励行、検温等体調管理に努めた。

（4）通園児の状況 (人)

月別	開所日数	就学児	未就学児	合　計
4	22	68	104	172
5	21	56	111	167
6	22	54	129	183
7	20	52	126	178
8	22	68	113	181
9	20	49	173	222
10	20	45	154	199
11	20	43	158	201
12	20	38	160	198
1	19	34	179	213
2	19	26	191	217
3	22	38	212	250
合計	247	571	1810	2381

（５）サービス別の利用状況　（人）

月	サービス別							観察	つくし個別指導	延人数
	理学療法		作業療法		言語療法		ｸﾞﾙｰﾌﾟ訓練			
	放	児	放	児	放	児				
4	4	13	36	53	28	14	24	11	0	183
	17		89		42					
5	2	11	32	62	22	24	14	8	12	187
	13		94		46					
6	3	13	31	69	20	20	27	9	11	203
	16		100		40					
7	3	11	29	75	20	27	13	4	11	193
	14		129		47					
8	3	12	47	82	18	20	9	13	12	216
	15		129		38					
9	2	11	29	88	18	33	41	10	12	244
	13		117		51					
10	1	8	26	85	18	31	30	3	19	221
	9		111		49					
11	3	13	22	90	18	31	24	5	14	220
	16		112		49					
12	1	11	26	97	11	25	27	4	14	216
	12		123		36					
1	5	6	17	95	12	41	37	7	16	236
	11		112		53					
2	0	5	13	105	13	41	40	5	15	237
	5		118		54					
3	1	9	19	110	18	46	47	5	14	269
	10		129		64					
計	28	128	327	1011	216	353	333	84	150	2625
	151		1338		569					

（６）各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

１．施設連絡会議（毎月２回）　２．めばえ意見書会議（年２回）

３．家庭児童相談課との会議（判定会議、随時）

４．行事会議　（随時）　５．処遇会議　（毎日）

（７）災害防止対策　（つくし園と同様）

利用児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・総合訓練(消火訓練を含む）を月に１回実施した。

（８）職員研修

つくし園事業報告書に記載

（９）新型コロナウィルス感染症の発生に伴う措置

令和２年２月頃より日本国内での感染者拡大を受け、下記対応を継続した。

・園児、職員、来園者の手洗い・うがい・消毒・体温等体調チェックの実施
（体調がすぐれない・37.5 度以上の発熱の場合は利用を控えていただいた。）
・活動前後の手洗いうがいの励行・マスク着用の徹底（未就学児は除く）
・密を避ける環境構成及び室内の換気・保育内容の工夫
（密にならない。飛沫が飛ばない。玩具を共有しないなど）
・玩具・設備（共有部分）等の消毒。使用後の部屋の消毒
・感染防止のための環境設定（面談時のアクリル板の設置・空気清浄機の設置等）
・家族に感染の可能性があり自宅待機となった場合は、職員及び当園利用児も自宅待機の協力を要請
・他機関との情報共有

※3 月 13 日にマスク着用について、個人判断に委ねることとなったが、市子育て支援課とも相談の上、園内ではマスク着用のお願いをした。

◆新型コロナウイルス感染症罹患者が発生した時の対応

・罹患者から速やかに連絡を受けると共に、医師、保健所からの指示についても報告を受け、園での対応を検討した。
・必要に応じて茨木保健所と連携し、対応について指示を受け、摂津市担当課、法人本部、職員と共有し速やかに対応（保護者連絡・園内消毒等）を行った。
・家族が罹患、または濃厚接触者等にあたり、自宅療養中は利用を控えていただくよう、協力依頼を行った。

◆所属校（園）で感染者が出た場合

・新型コロナウィルスの感染により、所属校、所属園が休校、休園となった場合は、当園の利用も控えていただくよう周知、徹底した。(家族等が感染の可能性がある場合も同様の措置)

4　多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

（1）概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援Ｂ型・自立訓練（生活訓練）の各事業を実施した。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して構造化を中心とした手法で落ち着いて過ごせる環境を整えた。その結果、活動や行動に見通しを持ち作業に集中できるようになった。また、学校のような雰囲気も含め新たな利用者獲得へ繋がった。昨年度同様に近隣の企業から作業を請負い、生産活動の機会を提供し昨年以上の高い工賃支給額へと繋がった。

就労移行支援では、2名の利用者が、一般就労及び就労継続支援Ａ型事業所に結びついた。また、継続雇用ができるよう就労定着支援に努めた。

就労継続支援 B 型では、「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」と施設外就労「食品トレイ等選別業務」、その他請負作業とシール張り作業の充実した取り組みができた。また、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

新たな利用者確保の為に、支援学校や関係機関への情報提供を強化した。

その他、新型コロナ感染予防に努め、陽性者が発生した場合は速やかに市・保健所・関係機関と連携を取り感染拡大を防いだ。また、昨年度同様に感染対策として手洗いうがいの徹底。3密を避ける取り組みとして、時間差での給食の提供と活動の分散化。各部屋への換気器具の設置。利用者へ見て分かりやすいルールの掲示等に取り組んだ。

その他、園舎の経年劣化によるドア修繕やフェンス交換、水道管交換などの環境整備を行った。今後も定期的な点検と計画的な改修・修繕が円滑に進むよう努めたい。

ひびきはばたき園では、職員の資質向上・意識の統一を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように取り組んだ。

（2）支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。また、昨年度に引き続き構造化支援に取り組み、利用者が活動できる場を提供した。その他、近隣の企業よりシール張り作業を請け負い、生産活動の機会の提供を通して達成感や社会の一員としてのやりがい・いきがいを感じる活動に取り組み、工賃として還元した。

①　個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、半年に一度個別支援計画の作成・見直し、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。

また、移動支援事業「てくてく」を開始して以降、利用者、家族へ制度やサービスの利用について働きがけや、積極的にガイドヘルパーの利用を促してきたが、昨年度に続き今年度も、新型コロナウイルスの影響で事業を実施する事ができなかった。

③ 日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全を確保するために活動内容･障がい程度を基準に､いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきの５クラスに編成し活動を行った。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復･維持訓練やリラクゼーション活動･リラックスタイム･気候に応じた外気浴など､ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、運動・生産活動（シール貼り作業)・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ
運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業手順や見通しの立つスケジュールを提示する構造化を行った｡和紙作業･生産活動（シール貼り作業）・制作活動・レクリエーションなどでは集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。
調理訓練･個別作業･集団体操など多彩なプログラムを提供するなか､個々に応じた活動を行った。

④　生産活動（収入状況）　（単位：円）

内　容	年間収入	事業所
シール貼り作業	28,605	(株)フレッシュファーム
その他の収入	93	
収 入 合 計	28,698	

⑤　工賃支給状況　（単位：円）

工 賃 支 給 総 額	利用者数	工 賃 / 1人平均
28,698	9	3,189

■就労移行支援・就労継続支援Ｂ型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、カリキュラム（ビジネスマナー、SST（ソーシャルスキルトレーニング)、面接、履歴書作成等）を充実させ実践的な訓練（面接会等）と、仕事のイメージをより実感し理解し経験する為の職場実習の充実に努めた。また、就労後も継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、支援学校や関係機関への啓発活動と、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せっつくすのき、関係機関との連携も強化した。

就労継続支援Ｂ型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供に努め「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きがけにより、官公需要や地域の企業からの継続的な作業受注に繋がった。

また、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業内容の拡大を図った。

その他、市からの業務受託事業（食品トレイ等選別業務）に８名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援Ｂ型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

また環境業務課・障害福祉課の協力の下、小型家電リサイクル事業のパソコン解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

①　作業訓練と還元金

個別支援計画（就労移行支援は３ヶ月ごと、就労継続支援Ｂ型は６ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。

陶芸や軽作業（電気部品の加工作業、小型家電リサイクル事業）と食品トレイ選別等業務など幅広い作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

②　生活支援プログラムの充実

利用者の個々のニーズに即した生活支援や、自治会・情報提供・運動などを実施した。

③　主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④　家庭生活、地域生活支援

ニーズや家庭状況に合わせて必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課、相談支援事業所と連携しながら生活支援を行った。

障害福祉課、生活支援課、相談支援事業所、その他関係機関と連携を図り「一人暮らし・自立」への地域生活支援を実施した。また、その他、健康で安心・安全な生活が送れるよう通院支援も実施した。

⑤　ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育と進路について考えてもらうことを目的に積極的に受け入れてきた。

⑥　その他

施設支援計画や機関紙など、利用者への情報提供や案内文には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦　作業指導

■就労移行支援、就労継続支援Ｂ型

・ 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

・軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業を中心に、株式会社フレッシュファームからのシール貼り作業を受注した。また、「障害者週間」に配布するカイロ袋詰め作業を摂津市の担当課より請け負った。この他３ヶ月に１回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組み、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。

・食品トレイ選別等業務

摂津市リサイクルプラザにて食品トレイの分別・選別を行い、資源リサイクルとごみに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

・小型家電リサイクル事業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

■自立訓練（生活訓練）
今年度の利用はなかった。

⑧ 就労活動

■就労移行支援　（人）

実施日	名　　称	場　所	参加者
4 月 28 日	企業事業所見学	エスプールプラス	1
5 月 17 日	企業事業所実習	エスプールプラス	1
5 月 31 日～6 月 3 日	企業事業所実習	エスプールプラス	1
6 月 16 日	求職活動	ハローワーク茨木	2
9 月　5 日	企業事業所見学	イオンペット㈱	1
9 月　7 日・ 8 日	企業事業所実習	ひびきはばたき園	1
9 月 21 日	企業事業所見学	フレッシュファーム	3
10 月 11 日～14 日	企業事業所実習	フレッシュファーム	3
10 月 27 日	求職活動	ハローワーク茨木	1
11 月 8 日	企業事業所見学	明治屋	1
11 月 21 日～23 日	企業事業所実習	明治屋	1
11 月 28 日・29 日・12 月 1 日	企業事業所実習	明治屋	1
12 月 20 日	企業事業所見学	おかえりホームきゅら海	1
12 月 21 日	企業事業所見学	AsFine アビリティ㈱	1
1 月 10 日～13 日	企業事業所実習	AsFine アビリティ㈱	1
1 月 24 日	企業事業所面接	AsFine アビリティ㈱	1

⑨ 就職状況

■就労移行支援　（人）

事業所名	職　種	所在地	人数
摂津市立ひびきはばたき園	補助員	摂津市	1
AsFine アビリティ㈱	作業員	摂津市	1

⑩ 生産活動（収入状況）

■就労移行支援　（単位：円）

内　容	年間収入	事業所
陶芸作業	463,600	
その他	197,178	カネカ労働組合大阪支部等
収 入 合 計	660,778	

■就労継続支援Ｂ型　（単位：円）

内　容	年間収入	事業所
清掃作業	184,800	㈱セラ
空缶・古紙回収	40,148	
電気部品の加工作業	465,481	(株)ダイキンサンライズ摂津
建設会社ＤＭ作業	74,210	エッグ住まいる工房
シール張り作業	155,797	(株)フレッシュファーム
カイロ袋詰め等請負作業	35,000	官公庁等
小型家電解体作業	608,176	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレー選別作業	8,961,620	環境業務課
その他	0	
収 入 合 計	10,525,232	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援　（単位：円）

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	19,750	4	4,938
5	19,736	4	4,934
6	20,603	4	5,151
7	19,876	4	4,969
8	19,191	4	9,732
一時金	19,737		
9	19,375	4	4,844
10	19,000	4	4,750
11	14,313	3	4,771
12	14,563	3	9,730
一時金	14,626		
1	14,813	3	4,938
2	14,276	3	4,759
3	9,943	2	9,767
一時金	9,591		

工 賃 支 給 総 額	平 均 工 賃 ／ ヶ 月
249,393	5,938

■就労継続支援Ｂ型

・食品トレイ選別作業　（単位：円）

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	775,320	8	96,915
5	749,050	8	93,631
6	868,330	8	108,541
7	769,640	8	96,205
8	412,510	8	51,564
9	785,260	8	98,158
10	778,870	8	97,359
11	754,020	8	94,253
12	735,560	8	91,945
1	739,110	8	92,389
2	735,560	8	91,945
3	858,390	8	107,299

・軽 作 業　（単位：円）

<table>
<tr><th>月</th><th>工賃支給総額</th><th>利用者数</th><th>平均工賃</th></tr>
<tr><td>4</td><td>69,318</td><td>8</td><td>8,665</td></tr>
<tr><td>5</td><td>71,375</td><td>8</td><td>8,922</td></tr>
<tr><td>6</td><td>70,395</td><td>8</td><td>8,799</td></tr>
<tr><td>7</td><td>70,114</td><td>8</td><td>8,764</td></tr>
<tr><td>8</td><td>70,000</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">17,558</td></tr>
<tr><td>一時金</td><td>70,464</td></tr>
<tr><td>9</td><td>70,295</td><td>8</td><td>8,787</td></tr>
<tr><td>10</td><td>71,500</td><td>8</td><td>8,938</td></tr>
<tr><td>11</td><td>69,500</td><td>8</td><td>8,688</td></tr>
<tr><td>12</td><td>70,000</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">43,912</td></tr>
<tr><td>一時金</td><td>281,298</td></tr>
<tr><td>1</td><td>75,000</td><td>8</td><td>9,375</td></tr>
<tr><td>2</td><td>70,264</td><td>8</td><td>8,783</td></tr>
<tr><td>3</td><td>68,421</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">35,288</td></tr>
<tr><td>一時金</td><td>213,881</td></tr>
</table>

工 賃 支 給 総 額	平 均 工 賃 / ヶ 月
10,373,445	54,028

（3）行　事

行事は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場面を導入しレクリエーション的要素・学習的要素を含む取り組みにより、知識・経験の拡大を図ることを目的として実施予定だったが、今年度は、多くの行事が新型コロナウイルスの影響で内容変更もしくは自粛となった。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場　　所	参加人数	内　　容
12月22日	ジャンボ クリスマス会	各サービス作業室	利用者 生介　28 かがやき3 移行　3 B型　16 自立　0	一年の思い出やイルミネーション動画を上映し謎解き、宝探し、ゲームなど各サービスで実施 新型コロナウイルスの影響で縮小
2月18日 ～23日	つくっ展	摂津市立コミュニティプラザ	約100人	コロナウィルスの影響でコンサートは中止しコミュニティプラザでの作品展のみ実施。

※その他、摂津宥和会運動会・風船バレーボール大会等については、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

■生活介護

実施日	行事名	場　所	参加人数	内　　容
11月　2日	ミニ運動会＆秋祭り	園舎前、作業室C	利用者 生介30	法人運動会が新型コロナウイルにより中止となったため生活介護内でイベントを企画し新しい利用者にも楽しんでもらえるよう実施。
7月13日 22日 8月5日 9月7日 26日 10月25日 11月17日	おやつ作り	かがやき調理室	利用者 生介33	利用者のニーズに合わせ調理に参加する者と食べる喜び重視のグループに分け実施。

8月３０日	園外活動	コープ・ラボたべるたいせつミュージアム	利用者 生介２	新型コロナウイルス感染流行をふまえ２年間は園外活動を中止してきましたが、今年度は外出する楽しみを待ち望んでおられる声を聞くことも多く感染防止に努めながら実施。行先については、利用者のご希望を聞き決定。
9月１５日		紫金山公園	利用者 生介１	
10月5日 11日 14日 20日		安満遺跡公園	利用者 生介9	
11月9日 2月14日 15日		ニフレル	利用者 生介11	
12月12日		スカイパーク	利用者 生介2	
3月　2日 8日		大阪市立科学館	利用者 生介8	

※その他、懇親会、スプリングフェスタ等については、新型コロナウイルスの影響で全て中止となった。

■生活介護かがやき

① 食事会

実施日	行事名	場　所	参加人数	内　容
7月26日 27日 28日	かがやき食事会	木曽路　守口店	利用者 かがやき7	食事を楽しむことで潤いのある園生活を送ることを目的とし実施。

② 社会見学

実施日	行事名	場　所	参加人数	内　容
11月15日 30日 12月8日	かがやき社会見学	安満遺跡公園	利用者 かがやき7	コロナウィルスの終息する兆しが見えない状況で外出が制限される中、外出する喜びを感じてもらい活動範囲や経験の拡大を目的として実施。

③ 調理訓練

実施日	行事名	場　所	参加人数	内　容
5月18日 6月16日 7月12日 8月17日 9月28日 10月27日 11月　9日 12月13日 1月19日 2月21日 3月22日	かがやき調理訓練	かがやき調理室	利用者 かがやき30	コロナウィルス感染予防の為、園で調理したおやつを提供し利用者に食べる喜びを感じてもらった。

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場　所	参加人数	内　容
10月19日 20日	「アンサンブルひかり」「ヤクルトオンライン工場見学/出前授業」	はばたき園舎2階	利用者 移行　3 B型　16 自立　0	感染対策のため、園内での実施となる。オンライン工場見学は、ヤクルトができるまでをライブ中継で楽しんでもらいました。

（4）家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会にとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換を行った。

項　目	実施日	内　容
個人面談 家庭訪問	随　時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援B型は年2回・就労移行支援、自立訓練（生活訓練）は年4回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。また、新型コロナウイルス感染予防として電話での面談を実施した。
給食試食会		新型コロナウイルスの感染拡大のため中止とした。

家族会	随　時	年２回開催し、園の状況や今後について報告会を行った。
機関紙	３カ月ごと 発行	当月の予定や園活動を掲載し、3 カ月ごとにカラー印刷で発行した。
月課表	毎月１日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎　日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態･家庭での様子・検温･排泄時間･意見等家族とのコミュニケーションを図った。（生活介護のみ）
電話連絡	随　時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない場合に実施した。
その他	適　時	家族の都合により、送迎時間外で園で過ごしてもらい 登園時間外は、自力での登降園となる。

① ショートステイ先との連携

　家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

② 医療との連携

　個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③ 市との連携

　市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④ その他

　入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

（５）法人内他施設との連携

・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター　せっつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図ってきたが、今年度は新型コロナウィルスの影響で実施できなかった。

・みきの路との交流

みきの路の運動会や当園のクリスマス会、「つくっ展と輝けコンサート」等の催しにお

互いの利用者が参加し交流していたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

（６）健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌Ｏ－１５７、ノロウィルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図ると共に、今年度は、特に陽性者が発生した場合は法人、市役所及び関係機関と迅速に連携しながら対応に当たった。新型コロナウイルス感染予防として、検温・手指消毒・３密防止を徹底した。

① 環境整備

○冷暖房調節・換気、温湿度計の管理

○薬箱・体温計の整理・管理（医務室）　○医薬品管理

○業者による園舎内清掃、消毒　○手指などのアルコール消毒

○マスク　○非接触体温計　○ペーパーホルダー　○換気器具設置

② 健康の維持・管理

○健康カード作成（個人データの整理）

○検温（体調不良時には随時）　○血圧測定

○理学療法士による運動プログラム　○配慮食・きざみ食の提供

○インフルエンザ対策（手洗い・検温・視診）

○健康チェックカード（毎登園時提出）

③ 服薬管理

○医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）

○服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④ 作成資料

（ア）通院状況表

（イ）服薬調査表　（ウ）健康チェックカード

⑤ 健康診断

（ア）内科医健診

実 施 日	5 月 30 日・11 月 14 日

（イ）血圧・脈拍測定

実 施 日	随時

（ウ）その他健診、検査

歯科健診

実 施 日	9 月　5 日

検尿

実 施 日	5月10日　　9月27日

（7）給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。給食業務をウオクニ株式会社に委託して19年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

1．給食会議の充実
2．「給食だより（献立表)」の発刊（月1回）
3．残食検査の実施
4．食事提供状態の充実
5．衛生管理の充実
6.利用者給食会議

（8）利用者の状況

①通所状況　　　（在籍者数は月初の人数）

■生活介護　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	34	34	35	35	34	34	33	33	33	33	33	33	
支援日数（日）	20	19	22	20	17	20	20	16	20	19	19	22	234
延利用数（人）	562	546	659	578	388	560	554	420	524	496	512	602	6,401

■生活介護（かがやき）　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	
支援日数（日）	20	19	22	20	17	20	20	16	20	19	19	22	234
延利用数（人）	46	51	58	45	34	60	60	50	51	51	48	52	606

■就労移行支援　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	
支援日数（日）	20	19	22	20	17	20	20	20	20	19	19	22	238
延利用数（人）	80	76	89	80	50	78	77	59	60	55	56	44	804

■就労継続支援Ｂ型　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
支援日数（日）	20	19	22	20	17	20	20	20	20	19	19	22	238
延利用数（人）	304	290	331	298	176	305	299	288	289	286	279	328	3,473

■自立訓練（生活訓練）　（人）

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支援日数（日）	20	19	22	20	17	20	20	20	20	19	19	22	238
延利用数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

②年齢別　（令和 5 年 3 月 31 日現在）

■生活介護　（人）

性別＼年齢	18～19 才	20～29 才	30 才～39 才	40 才～	計
男	1	10	9	2	22
女	1	2	7	1	11
計	2	12	16	3	33

■生活介護かがやき　（人）

性別＼年齢	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80～89才	計
男	1	0	2	1	0	1	5
女	0	0	1	0	2	0	3
計	1	0	3	1	2	1	8

■就労移行支援　（人）

性別＼年齢	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	0	1	0	1
女	0	1	0	0	1
計	0	1	1	0	2

■就労継続支援 B 型　（人）

性別＼年齢	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	3	2	4	9
女	0	0	0	7	7
計	0	3	2	11	16

■自立訓練（生活訓練）　（人）

性別＼年齢	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0

③手帳の所持

（ア）療育手帳　（令和 5 年 3 月 31 日現在）

■生活介護　（人）

性別＼判定	A	B 1	B 2	計
男	21	0	0	21
女	11	0	0	11
計	32	0	0	32

■就労移行支援　（人）

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	0	1	0	1
女	0	1	0	1
計	0	2	0	2

■就労継続支援 B 型　（人）

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	5	4	0	9
女	1	5	1	7
計	6	9	1	16

■自立訓練（生活訓練）　（人）

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	0	0	0	0
女	0	0	0	0
計	0	0	0	0

（イ）身体障害者手帳　（令和 5 年 3 月 31 日現在）

■生活介護　（人）

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	1	5	0	1	7
女	1	2	0	1	4
計	2	7	0	2	11

■生活介護かがやき　（人）

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	3	2	0	0	5
女	1	2	0	0	3
計	4	4	0	0	8

（ウ）障害支援区分　（令和５年３月31日現在）

■生活介護　（人）

区分 性別	区分６	区分５	区分４	区分３	計
男	8	8	4	2	22
女	2	4	5	0	11
計	10	12	9	2	33

■生活介護かがやき　（人）

区分 性別	区分６	区分５	区分４	区分３	区分２	計
男	0	1	3	1	0	5
女	0	1	0	0	2	3
計	0	2	3	1	2	8

（９）各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

１．施設連絡会議（月２回）
２．作品展実行委員会（随時）
３．職員会議（随時）
４．ケース会議（随時）
５．給食会議（毎月１回）
６．サービス向上委員会（随時）
７．虐待防止・権利擁護委員会（随時）
８．リーダー会議（随時）

（１０）災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の職員の役割分担を明確化、緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練を実施した。尚、新型コロナウイルス感染予防対策として、火災報知器は鳴らさず各サービス時間差で実施した。また、ふれあいの里消防総合訓練（通報、避難、消火訓練）を年２回（6月、11月）予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

実施日	想定災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活介護	就労移行	就労B型	自立支援	
4月20日	火災	避難訓練	23	4	7	0	16
5月19日	〃	〃	23	3	7	0	16
6月15日	〃	消防総合訓練	28	4	7	0	22
7月 6日	〃	〃	22	4	7	0	18
8月		中止					

9月14日	〃	〃	23	5	7	0	19
10月13日	〃	〃	20	3	7	0	18
11月	〃	消防総合訓練中止					
12月　5日	〃	避難訓練	19	3	7	0	18
1月 17日	震災	〃	20	4	7	0	16
2月 16日	火災	〃	23	3	7	0	18
3月　9日	震災	〃	23	2	7	0	18

（１１）職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会･会議に参加した。

① 機関研修

研修日	研修名	場　所	主　催	職種
8月8日	第45回てんかん基礎講座	ふれあいの里（オンライン配信）	公益社団法人日本てんかん協会	支援員
8月25日	令和4年度アクトおおさか支援者対象公開講座	ふれあいの里（ZOOM配信）	大阪府障がい者支援センターアクトおおさか	支援員
9月14日	高次脳機能障害地域支援者養成研修	ふれあいの里（ZOOM配信）	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
9月26日	令和4年度大阪府強度障がい者支援者養成研修（基礎）	大阪府教育会館たかつガーデン	大阪府障がい者自立支援センター	支援員
9月28日	2022年度　中堅職員研修	ふれあいの里（ZOOM配信）	大阪府知的障害者福祉協会	支援員
10月13日・24日	障害者虐待防止研修	摂津市立地域福祉活動支援センター	摂津市障害者地域自立支援協議会・摂津市	支援員 栄養士
11月8日	虐待防止研修	ふれあいの里	人材育成策検討委員会	支援員
11月7日・8日・10日	人権研修	ふれあいの里(オンライン)	法人	全職員
11月15日	令和4年度就業支援実践研修	新大阪丸ビル別館	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	支援員
12月14日	人の発達プロセス	ふれあいの里	人材育成策検討委員会	支援員
12月15日	令和4年度大阪府強度行動障がい者支援者養成研修(実践)	アネックスパル法円坂	大阪府立砂川厚生福祉センター	支援員

1月19日・20日	令和 4 年度サービス責任者基礎研修	ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)	大阪府障害者福祉事業団	支援員
2月7日	摂津人企連　令和 4 年度ふれあい学習会	㈱ダイキンサンライズ摂津	摂津地区人権推進企業連絡会	支援員
2月10日	令和4年度サービス管理責任者更新研修	大阪府社会福祉会館	大阪府地域福祉推進財団	支援員
2月14日	従事者部会　防犯研修	エディオンアリーナ大阪	従事者部会及び大阪府民間社会福祉事業従事者共済会	支援員
2月20日・24日	安全運転研修	みきの路 ふれあいの里	社福）摂津宥和会	全職員
3月2日	2022年度新任職員研修	ふれあいの里 (オンライン)	一般財団法人大阪府知的障害者福祉協会	支援員
3月19日	令和4年度摂津宥和会 事業発表会	摂津市立コミュニティプラザ	摂津宥和会	職員
3月20日	身体拘束等の研修	ふれあいの里	虐待防止・身体拘束等適正化委員会	支援員

② 専門研修

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の予防という点で対面での研修はほぼ見送られた。食中毒予防講習会のみ開催された。北摂ブロック栄養士研修会は「案件」がある場合メールでのやり取りをした。

研修日	研修名	場　所	主　催	職種
7月　26日	食中毒予防講習会	茨木保健所	大阪府	栄養士

③ 施設内研修

新型コロナ感染予防から

（１２）その他

① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。今年度は、問い合わせは1件あったが、新型コロナウイルスの影響で受入れできなかった。

② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することと、進路選択を行うため広く受け入れた。また、新規事業を予定している民間の事業所より職員の現場実習の受入れを行った。

※今年度は新型コロナウイルス感染予防の徹底を行い受入れを実施した。
（実習生）

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
6 月 22 日～28 日	茨木支援学校	就労移行支援	1
7 月 4 日～ 8 日	摂津支援学校	就労継続支援 B 型・自立訓練	1
7 月 21 日・22 日 8 月 18 日・19 日	茨木支援学校	生活介護	1
7 月 28 日・29 日 8 月 1 日～3 日	茨木支援学校	生活介護	1
8 月 2 日・10 日・17 日 23 日・24 日	茨木支援学校	生活介護	1
8 月 3 日・4 日・8 日～ 10 日	茨木支援学校	生活介護	1
8 月 24 日～26 日	茨木支援学校	自立訓練	1
8 月 29 日～31 日	茨木支援学校	自立訓練	1
9 月 14 日～16 日	茨木支援学校	自立訓練	1
11 月 7 日～11 日	摂津支援学校	就労移行支援	1
11 月 14 日～18 日	摂津支援学校	就労移行支援	1
1 月 11 日～17 日	摂津支援学校	就労移行支援	1
1 月 18 日～20 日	茨木支援学校	自立訓練	1
1 月 25 日	摂津支援学校	生活介護	1
1 月 26 日～27 日	摂津支援学校	自立訓練	1
2 月 1 日	摂津支援学校	生活介護	1
2 月 2 日・ 3 日・ 7 日	茨木支援学校	生活介護	1
2 月 8 日	摂津支援学校	就労継続支援 B 型	1
2 月 13 日～15 日	摂津支援学校	就労継続支援 B 型	1
2 月 27 日～28 日	茨木支援学校	就労移行支援	1
3 月 6 日	茨木支援学校	就労継続支援 B 型	1

（職場体験実習）
毎年、摂津市立第三中学校より学生の受入れを行っていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により受入れは行わなかった。

③ アフターケア
障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

（１３）日中一時支援事業

ご家族のレスパイトを目的に、障がい児・者を長期休暇時や放課後、他事業所利用者の平日休暇日に日中活動の場として一時的に受入れを予定していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で受け入れが難しかった。受入れにあたり、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた５クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないので児童の受入れは難しい状況である。

（１４）移動支援事業（ガイドヘルパー派遣事業）

① 概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣する予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は見合わせた。

＊利用契約者の状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

		人　数	合　計
障害種別	知的障害	33	37
	身体障害	4	
	精神障害	0	
身体介護あり		25	37
身体介護なし		12	

② 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で受講できなかった。

③ 各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で移動支援事業が実施できないため、会議も行っていない。

（１５）新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

関係省庁の発表やガイドライン等に基づき、感染拡大防止対策の徹底を行った。新型コロナウイルス感染症の脅威から利用者の健康と安全安心な生活を守る取り組みに努めながら、法人の新型コロナウイルス対応マニュアルの徹底、ひびきはばたき園のルールや BCP（業務継続計画)、緊急連絡先リスト等の整備も行った。感染予防のため、支援員にフェイスシールド、防護エプロン、携帯用消毒を配布した。また、施設内で登園前と降園後にドアノブや手すり、机等を次亜塩素酸ナトリウムで消毒し、登園時に検温・手洗いうがいの徹底、体

温チェックシートの提出や、利用者に視覚的にわかりやすい掲示物やパネルを用意し安全安心に活動に取り組めるように努めた。その他、各作業場には空気清浄機や換気器具等の設置等や、食堂での座席配置や人数制限、大人数での活動や行事の見直し等、利用者の受入れには細心の注意を払い対策を講じた。尚、利用者及び家族、職員に陽性者が発生した場合、保健所・市役所や関係機関と連携を図り、拡大防止に努めた。利用者に登園自粛要請、欠席者には体調確認の連絡を入れる。また陽性者が復帰する場合は、抗原検査を実施し感染拡大防止に努めた。

令和５年３月13日からマスク着用は個人の判断に委ねられる事となったが当園には基礎疾患を有する方や重症化リスクの高い方がおられるため、マスクの着用を引き続きお願いした。

5　摂津市立身体障害者・老人福祉センター

（１）概況

施設スローガンとして『共に歩もう！笑顔で・元気で・協働で』を掲げ、職員と利用者間の結びつきを持つことで、より身近に利用してもらえる雰囲気づくりや、館内を清潔に保てるような施設づくりに力を注いだ。また、利用者にとっての「健康づくり・生きがいづくり・友だちづくり」などを目的に、教養講座に加え、介護予防やフレイル（虚弱）予防を中心としながら事業展開した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3 密（密閉・密集・密接）回避を基本とする感染防止対策や消毒など利用者が少しでも安心・安全に利用していただける環境づくりに職員一丸となって尽力した。また、令和元年度から 3 年度までで、緊急事態宣言発令に伴っての休館は実に 111 日間となったが、令和 4 年度については休館することなく、年間 291 日間開館することができた。しかし、実施予定であった福祉センターまつりやバスツアー等については残念ながら中止せざるを得ない状況であった。一方で、新たな事業として、社会全体のデジタル化が進められている中、そのツールの一つとしての“スマホ講座”を実施した。また、多世代交流会＆つどい場として、“折り紙でペン立て作り･体操･脳トレ等”を身障･老人センター参加者と法人内施設の児童センターや障がい者施設数か所をリモートで繋ぎ、高齢者・障がい者・子どもが相互理解する機会として実施することができた。そして、日頃より利用いただいている活動団体や主催事業等の活動成果発表及び活動紹介の場として、“作品展･活動紹介月間”を実施し延べ 200 人を超える方々に鑑賞していただいた。施設 PR の一環として、時代のニーズに合わせ「公式 LINE アカウントの活用」や「施設ホームページの充実」を行い、事業のお知らせや活動風景写真を掲載するなどの取り組みを行った。また、利用者へのサービスの一環としてホームページの閲覧方法やスマートフォンの使い方レクチャーなどに取り組んだ。そして、これまでと同様に、同好会などの自主グループへの支援を行った。

（２）利用について

① 利用対象

・市内在住の６０歳以上の方　　　・市内在住の身体に障がいのある方

② 利用手続

・利用当日センター窓口で「利用証」を提示する。
・団体の場合は、使用日１ヵ月前から受け付ける。

③ 開館時間

・８時４５分から１７時１５分まで

④ 休館日

・日曜日　　　・国民の祝日　　　・１２月２９日～１月５日

（3）年間主要行事の実施状況

① 年間主催事業

（ア）主催事業　（人）

講　座　名	実　施　期　間	受講者数
男性のための 筋トレ＆ストレッチ教室	5 月 21 日～3 月 18 日（20 回） 毎月第 1･3 土曜日　9:10～10:30	16
男性のための体操教室	5 月 12 日～3 月 30 日（20 回） 毎月第 2･4 木曜日　10:30～11:30	7
健康体操（新規）	4 月 14 日～3 月 30 日（22 回） 毎月第 2･4 木曜日　12:45～13:45	9
カラオケ教室	4 月 6 日～3 月 15 日（24 回） ①毎月第 1･3 水曜日　10:00～12:00	11
	4 月 6 日～3 月 15 日（24 回） ②毎月第 1･3 水曜日　12:45～14:45	12
エアロバイク講習会	5 月 13 日・9 月 15 日（2 回） 10:00～11:00	8

（イ）受託事業

●つどい場事業　（人）

講　座　名	実　施　期　間	年間参加者数
つどい場＆カラオケ教室	4 月 6 日～3 月 29 日（48 回） 毎週水曜日　10:00～12:00	940 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 305

●いきいきカレッジ

『人生はこれからだ！目指そう！健康で明るい生活と仲間づくり』を年間テーマとして高齢者の方々が知識と教養を深める場、生きがいづくりや仲間づくりを行う場として開講した。

（人）

講　座　名	実　施　期　間	受講者数
いきいきカレッジ（老人大学）	8 月 19 日～12 月 9 日（全 16 回） 毎週金曜日　10:30～15:00	25

1　一般教養科目

	月 日	講　演　名	講　師　名
①	9月2日	『ニッコ♡元気のもと　笑顔がつくる幸齢者』	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　郡　眞由美 氏
②	9月16日	『みんなで助かる！　福祉×防災×コミュニティ』	(一社)福祉防災ｺﾐｭﾆﾃｨ協会　湯井　恵美子 氏
③	9月30日	『キャッシュレスとの付き合い方』〜知って使えばトラブル防止〜	大阪府金融広報委員会　金融アドバイザー　八束　和音 氏
④	10月7日	『歌って笑って健康長寿』	日本笑い学会　末広　幸子 氏
⑤	10月21日	『コロナリハから学ぶ　ポストコロナの生き残り術』	兵庫県立加古川医療センター　柳田　博美 氏
⑥	11月4日	『食と環境について学ぼう』〜ﾌｰﾄﾞﾏｲﾚｰｼﾞお買い物ｹﾞｰﾑ〜	大阪府　地球温暖化防止活動推進員　中村　智子 氏
⑦	11月18日	『交通安全の話』	摂津警察署交通課　摂津市 道路交通課

※終日専門科目　9月9日・10月14日・10月28日・11月11日・11月25日 実施

2　専門科目

科　　目	内　　　　容
陶芸を極めよう科	・土もみ(荒もみ 菊もみ）・波紋蓋物作り　・練り込み小鉢作り ・型皿（白化粧掻き落とし）作り　・長方皿作り（水玉模様） ・編み込み皿作り（市松模様）　・巻き模様皿作り ・鶉手(うずらで)マグカップ作り　・手びねりビアジョッキ作り ・花器（墨流し模様）作り　・釉薬がけ
笑顔で体操しよう科	［実技編］ ・正しいスクワットなど正しい筋トレの方法 ・膝痛、腰痛、肩こり、股関節痛予防改善体操 ・座ってできる足腰強化のいす体操　・バランストレーニング ・フレイル予防(パタカ体操・早口言葉など)・ウォーキングの方法 ［座学編］ ・運動が大切な理由　・高齢者の老化に伴う体の変化・筋肉のお話 ・運動を習慣化するために　・呼吸について(胸式呼吸と腹式呼吸) ・自律神経のお話　・フレイルとは？　・知っておきたい体のこと ・認知症と軽度認知症　・ロコモティブシンドロームについて

パソコンを もっと知ろう科	・入力の基礎 ・Word ［・文書編集、書式設定　・表の作成と編集 　　　　　・グラフィックスの利用、応用　・年賀状作成 ・音楽 CD の取り込み、オリジナル音楽 CD の作成 ・電子メールの利用　・USB メモリへのコピー方法 ・ﾈｯﾄｼｮｯﾌﾟ の利用体験　・Google 画像検索及びﾊﾟｿｺﾝへの保存 ・インターネットでプログラムをダウンロード、インストール ・インターネット検索や便利なホームページ ・写真入りカレンダー作り

※12 月 9 日にふれあいの里に於いて閉講式・学習成果発表を行った。

3　いきいきカレッジ（老人大学）申込・受講者数

・申込者数　（人）

専門科目	男性	女性	合計
陶芸を極めよう科	2	6	8
笑顔で体操しよう科	2	10	12
パソコンをもっと知ろう科	5	1	6
合　　計	9	17	26

・受講者数　（人）

専門科目	人数
陶芸を極めよう科	8
笑顔で体操しよう科	12
パソコンをもっと知ろう科	5
合　　計	25

（ウ）短期主催事業　（人）

講　座　名	実　施　期　間	受講者数
スマホ講座	【第 1 回】（全 3 回） 5 月 13 日・20 日・27 日（各金曜日） 10：00～12：00	6

	【第 2 回】（全 3 回） 7 月 8 日・15 日・22 日（各金曜日） 13：00～15：00	6
	【第 3 回】（全 3 回） 10 月 11 日・18 日・25 日（各火曜日） 13：00～15：00	6
	【第 4 回】（全 3 回） 1 月 12 日・19 日・26 日（各木曜日） 10：00～12：00	6
初心者のための パソコン講座	【第 1 回】（全 10 回） 5 月 17 日～7 月 19 日（各火曜日） 10：10～12：10	3
	【第 2 回】（全 10 回） 1 月 10 日～3 月 14 日（各火曜日） 10：10～12：10	1 （3 名辞退）

（エ）単発事業　（人）

実施期間	事 業 名	場　所	参加者	内　容
1 月 20 日 ～ 2 月 10 日	作品展・活動紹介(月間)	福祉センター 1 階 相談室・廊下 1 階 2 階 テレビモニター	延べ 202 ※準備 片付 含む	活動団体の成果発表及び活動紹介の機会として、運動系は活動風景を写真撮影したものを編集しスライドショーを作成。館内のﾃﾚﾋﾞ ﾓﾆﾀｰで映し、文化系はそれぞれの作品を出展していただいた。展示スペースを広くし、鑑賞人数についても制限を設け消毒等についても徹底した。
3 月 29 日	多世代交流会 & つどい場	福祉センター 2 階集会室 作業訓練室	身老ｾﾝﾀｰ 42 ﾘﾓｰﾄ参加 125 (法人内 4 施設)	初めての試みとして、身老センターつどい場参加者と法人内 4 施設をリモートで繋げ、“折り紙でペン立て作り・体操・脳ﾄﾚ等”を行った。一堂に会することがためらわれる中、リモートを使ってではあるが、高齢者・障がい者・子どもが相互理解する機会として、実施することができた。

※“第 20 回福祉センターまつり”“第 36 回ふれあいの里バスツアー”を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として中止とした。

② 同好会活動等 （人）

	同　好　会　名	活　　動　　日	時　　間	会 員 数
1	陶芸同好会	① 毎週火・木曜日	10:00 ～ 15:00	18
		② 毎週水・土曜日	10:00 ～ 15:00	24
2	え～やろ仲良会	① 第 2・4 月曜日	9:45 ～ 11:45	19
	さわやかマンデー	② 第 1・3 月曜日	9:45 ～ 11:45	20
3	書道悠墨会	第 2・4 火曜日	10:00 ～ 12:00	13
4	革工芸同好会 （コロナで活動休止中）	月 2 回 木曜日	12:00 ～ 15:00	4
5	健康体操ＡＢＣＤ	A 第 1・3 木曜日	14:10 ～ 15:10	11
		B 第 2・4 木曜日	14:10 ～ 15:10	6
		C 第 1・3 木曜日	13:00 ～ 14:00	11
		D 第 1・3 木曜日	11:15 ～ 12:15	12
6	パソコン同好会	第 2・4 水曜日	10:00 ～ 12:00	8
7	いきいきふれあいの会	毎週 火曜日	13:30 ～ 15:00	14
8	太極拳同好会	毎週 金又は土曜日	13:00 ～ 15:00	5
9	パソコン撫子会	月 2 回 火・木曜日	10:00 ～ 12:00	8
10	パソコン 44 会	月 2 回 火曜日	13:00 ～ 15:00	10

③ その他の利用団体 （人）

	団　　体　　名	活　　動　　日	時　　間	会員数等
1	46 期パソコン科ＯＢ	月 2 回　水曜日	10:30 ～ 12:30	10
2	パソコンあじさい	月 2 回　木曜日	10:00 ～ 12:00	9
3	48 期パソコン科ＯＢ	月 2 回　火曜日	9:30 ～ 11:30	8
4	カラオケ愛好会	毎週土曜日	9:00 ～ 11:30	6
5	つどい場運営ボランティア	毎週水曜日	9:30 ～ 12:30	8
6	手芸ボランティア	月 2 回　月曜日	13:00 ～ 16:00	12

（4）利用者の月別状況　　（人）

月	主催事業	つどい場		いきいきカレッジ	短期・単発事業	同好会	健康体操ABCD	個人・団体	介護予防	手芸ボランティア	エアロバイク講習会	エアロバイク利用	合計
		参加者	ボランティア										
4	32	57	29			315	77	99		25		61	695
5	63	49	25		24	289	43	78		21	3	55	650
6	74	104	33		3	341	103	62		26		52	798
7	69	82	24		16	282	73	69		27		60	702
8	54	87	33	49	4	204	59	46		16		34	586
9	62	72	32	93		279	68	66		19	5	50	746
10	66	88	24	89	15	310	73	60		16		55	796
11	68	91	23	92		300	38	78		19		42	751
12	65	63	13	52		241	68	68		16		29	615
1	53	53	16		135	240	42	63		17		29	648
2	48	75	23		90	271	67	75		17		29	695
3	65	119	30		2	285	70	68		17		52	708
合計	719	940	305	375	289	3,357	781	832		236	8	548	8,390

※ 個人・団体は、法人内他施設の利用者・職員研修・会議等の利用を含む

（５）年齢別利用証交付状況　（人）

年齢＼性別	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	合　計
男	0	2	13	17	26	6	0	64
女	2	11	49	64	40	8	1	175
合　計	2	13	62	81	66	14	1	239

（６）地区別利用証交付状況　（人）

地区＼性別	鳥飼北	鳥飼南	味　生	味　舌	千里丘	合　計
男	20	20	11	3	10	64
女	93	61	12	3	6	175
合　計	113	81	23	6	16	239

（７）身体障害者手帳等級別利用状況　（人）

級＼性別	１級	２級	３級	４級	５級	６級	合　計
男	0	0	0	2	1	1	4
女	0	2	1	1	0	1	5
合　計	0	2	1	3	1	2	9

（８）各種会議

１．施設連絡会議（月２回）

２．法人行事実行委員会（随時）

３．ふれあいの里内防災担当者会議（随時）

４．職員会議（随時）

（9）災害防止対策

施設の安全性を確保するため、防災設備の点検・災害時の任務分担及び緊急連絡網の確認等を行った。

（人）

実施日	参加者	実施内容
6月15日	22	ふれあいの里全施設 総合消防訓練 通報・避難・消火訓練を利用者・職員で行った。 ※全体では114(利用者・訓練生78／職員36)
3月11日	16	震災訓練 ・大型地震発生時の身を守る行動について（コロナ禍改訂版） ・安全な場所で命を守る事が最優先／非常用持ち出し袋内容一覧

（１０）職員研修

利用者へのサービス向上や職員のスキルアップのために研修会に参加した。

（人）

実施日	研修名	出席者
7月27日	「メンタルヘルス研修」法人内研修(オンライン)	1
7月29日	「虐待防止研修」法人内研修(オンライン)	1
7月29日	「パソコン（Word）研修」(対面での研修)	全職員
9月25日	「長寿の未来フォーラム」～記憶の見方が変わる～(オンライン)	1
11月11日	「人権研修法人内研修」（オンライン） ～精神疾患と共に生きる暮らしの『生きづらさ』から考える～	全職員
2月22日	「人事考課者向け研修」法人内研修(オンライン)	1
2月24日	「安全運転研修」法人内研修(対面での研修)	2
2月26日	「自治体等の地域活動団体と市民活動団体の連携による地域づくりについて」（オンライン）	1

（11）新型コロナウイルス感染拡大防止の措置

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、玄関に非接触型温度計・消毒機を設置し館内要所に手指消毒液を配置した。そして、利用者に広く“3密（密閉・密集・密接）回避を促すとともに、館内の空気を留めさせないよう換気扇やサーキュレーター等を適時作動させることに加え、換気を徹底するための目安として CO2 センサーを活用した。
また、乾燥する冬季には加湿器を追加し作動させた。使用後の部屋の消毒にミストジェネレーターで消毒液の噴霧を行うなど対策を強化した。

6　摂津市障害者職業能力開発センター「せっつくすのき」

１　概況

摂津市障害者職業能力開発センターは大阪府の特別委託訓練施設として昭和61年４月に開所して以来、障がい者の職業能力開発訓練施設として歩んできた。現在は身体障がい者及び内部障がい者対象のＯＡ実務科と知的障がい者対象の実務作業科の２科であり、それぞれ定員10名の１年間の職業訓練を実施した。ＯＡ実務科では令和３年10月入校の引継生5名に加えて令和４年４月入校の５名と、実務作業科10名の20名で開始した。9月にＯＡ実務科５名が修了し、新たに令和４年10月５名が入校した。10月以降も変更なく、20名で訓練を行なった。

令和３年度は実務作業科において１名の欠員、ＯＡ実務科についても１名の退校があり、運営的には厳しい状況となったが、今年度は定員充足に加えて作業習得科１名を受入れる事が出来た。

これまでは大阪府から障がい者特別委託訓練事業について随意契約を受託して運営してきたが、令和５年度契約から一部の訓練校（摂津市障害者職業能力開発センター、大阪市職業リハビリテーションセンター）を対象とした企画提案公募（公募型プロポーザル方式）が実施される事になった。結果的には令和５年度についても選定される事にはなったが、今後も企画提案公募が継続して実施される予定である。摂津市障害者職業能力開発センターは、36年の歴史、実績に加えて、就労支援に関するノウハウを蓄積している。また、日本における障がい者就労支援の初期から実施しているかけがえのない職業能力開発校を今後も継続して運営していくためには、職員の資質やスキルの向上、時代やニーズに合わせた支援方法を模索していくと共に、地域や関係機関との連携を強化していく必要がある。専門性や資質の向上を図るため、これまでよりも職員研修の充実を図った。今後、職業訓練校で就労支援を実施するには必須となる予定の職場適応援助者養成研修に１名受講する事が出来た。今後も継続して受講していきたい。また、7月には藍野大学の作業療法科３回生40名の実習生を受入れ、専門的な観点からのアドバイスをもらう等、資質の向上を図った。今後も継続して受け入れていきたい。

２　職業能力開発訓練指導の状況

ＯＡ実務科においては、簿記、ワープロ、表計算、ホームページ、電子会計を中心に実施した。また、企業や時代、ニーズに合わせたリモート訓練やプレゼンテーション、ＳＳＴ（ソーシャル・スキル・トレーニング）、オフィスアシスタント（事務補助）等を取り入れ、修了後に社会で即戦力として働ける知識、技術を身に付けるための各訓練生に合わせた柔軟な訓練カリキュラムを実施した。

実務作業科については、軽作業、オフィスアシスタント、木工、ビルクリーニング（清掃）、パソコン、園芸、洗車を中心に実施した。また、社会性の向上を図るためにＳＳＴやグループワークを取り入れたり、清掃技術向上のために敷地内の福祉センターの清掃や地域清掃

を行なった。対人関係を良好に築くため、手話やスマイルエクササイズを実施した。

3　行　事

職業訓練指導・社会生活指導を目的として、次のとおり感染対策を徹底して行事を実施した。

実施日	行事名	場　所	参加者	内　容
4月 5日	入校式	せっつ くすのき	実務作業科 10名 ＯＡ実務科 10名	入校式後 各科でホームルーム 実務作業科39期10名 OA実務科55期5名
4月 6日	オリエンテーション	〃	〃	訓練生を2グループに分けて午前・午後のオリエンテーション
5月 19日	就職相談	〃	ＯＡ実務科 54期生5名	管轄職業安定所の担当官との個別就職相談
5月10日 ～31日	保護者等懇談	〃	実務作業科 保護者10名	保護者の参観、懇談
6月18日	アビリンピックおおさか	ポリテクセンター	実務作業科 3名	競技：製品パッキング
7月　2日			実務作業科 7名	競技：オフィスアシスタント・パソコンデータ入力・ビルクリーニング
6月21日	企業見学会	(独)大阪刀根山医療センター	実務作業科 10名 OA実務科 5名	就職活動として 障害者雇用事業所を 見学する
6月29日		(株)JR西日本あいウィル		
5月10日		(株)ダイキンサンライズ摂津		
7月 6日				
9月16日		㈱スミセイハーモニー		
9月28日	修了式	せっつくすのき	実務作業科 10名 OA実務科 5名	修了生 ＯＡ実務科54期生5名
10月6日	入校式	〃	実務作業科 10名 OA実務科 10名	入校生 ＯＡ実務科56期生5名

10 月 19 日 20 日	就職相談	〃	実務作業科 10 名 ＯＡ実務科 5 名 保護者 10 名	各管轄職業安定所の担当官との個別就職相談
1 月 24 日	マラソン大会	鳥飼仁和寺大橋	実務作業科	実務作業科 39 期生 10 名
3 月 3 日	企業見学会	㈱ＮＴＴルセント	OA 実務科 5 名	就職活動として 障害者雇用事業所を 見学する
3 月 15 日		㈱スミセイハーモニー		
3 月 24 日	修了式	せっつくすのき	実務作業科 10 名 ＯＡ実務科 10 名	修了生 実務作業科 39 期生 10 名 ＯＡ実務科 55 期生 5 名 保護者 8 名、来賓 11 名

4　採用試験受験、職場実習

職業安定所、新聞広告等からの情報を取り入れて、職場開拓、会社訪問、採用試験受験、職場実習をすすめ、就職活動を行った。ハローワーク等の関係機関との連携を強化した事により、新規の企業訪問や来所に繋がり、今後の就職先へと拡げる事が出来た。

※障がい者合同面接会

実施日	名　称	場　所	参加者
6 月 16 日	高槻市障がい者合同就職面接相談会	高槻市生涯学習センター	ＯＡ実務科
9 月 15 日	摂津市障がい者就職フェア	摂津市立コミュニティプラザ	ＯＡ実務科
9 月 28 日	大阪府障がい者就職面接会	マイドームおおさか	ＯＡ実務科
11 月 14 日	すいた障がい者就職フェア	メイシアター	実務作業科 ＯＡ実務科
11 月 25 日	茨木市就労支援フェア	茨木市役所	ＯＡ実務科
随時	ハローワーク梅田ミニ面接会	ハローワーク梅田	実務作業科 ＯＡ実務科
2 月 28 日	大阪府障がい者就職面接会	マイドームおおさか	ＯＡ実務科

5　就職状況

令和４年度の就職先事業所は次のとおり。

ＯＡ実務科 第 54 生　5 名

事業所名	所在地
(独)大阪刀根山医療センター	豊中市
日本郵政㈱摂津郵便局	摂津市
パーソルチャレンジ㈱	大阪市
㈱スミセイハーモニー	大阪市

ＯＡ実務科 第 55 期生　5 名

事業所名	所在地
(独)大阪刀根山医療センター	豊中市
㈱スミセイハーモニー	大阪市
ひごペットフレンドリー㈱	吹田市
㈱スミセイハーモニー	大阪市
㈱スタッフサービス・クラウドワーク	大阪市

実務作業科　第 39 期生　10 名

事業所名	所在地
㈱日研環境サービス	吹田市
㈱ニッセイニュークリエーション	大阪市
㈱カネカ　大阪工場	摂津市
利昌工業㈱	豊中市
シロキ工業㈱	茨木市

事業所名	所在地
㈱かんでんエルハート	吹田市
㈱ダスキン	大阪市
㈱ＪＲ西日本あいウィル	尼崎市
㈱ダイキンサンライズ摂津	摂津市
クボタワークス㈱	枚方市

6　家庭等との連携

保護者及び関係機関に対して職業訓練の目的、主旨、生活指導、就職活動等を理解し協力を得るため、次のように随時面談等を実施して連携を深めた。

実施日	科目名	保護者・支援者懇談内容
5 月 19 日	ＯＡ実務科	職業安定所就職相談会
3 月 2.8 日 4 月 4.7.13 日	実務作業科	職業センター重度判定
5 月 10 日～31 日	実務作業科	訓練参観・懇談
5 月 25 日	実務作業科	訓練生面談（訓練生間トラブル）、保護者電話連絡
7 月 26 日	実務作業科	訓練生面談、保護者電話連絡（実習内容）
9 月 14.15 日	実務作業科	訓練生面談、保護者電話連絡（実習内容）
10 月 19.20 日	実務作業科 ＯＡ実務科	職業安定所就職相談会
11 月 30 日	実務作業科	訓練生面談（訓練生間トラブル）、保護者同席 12/1～12/4 自宅謹慎

12 月 16 日	実務作業科	訓練生面談・出身校先生来所面談
1 月 17.20 日 1 月 30 日	実務作業科	訓練生面談、保護者電話面談 訓練生・保護者 2 名面談（進路相談）
2 月 3.9.14.22.24 日 3 月 1.6.8.9.13.15.31 日	実務作業科 ＯＡ実務科	障害者就業・生活支援センター面談・登録

7　健康管理

食中毒･感染症予防対策としては、スタンド式サーモグラフィ、非接触体温計、マスク、手洗い消毒液やアルコール消毒液を使用して感染予防を実施した。訓練生や家族に対しては適宜、注意文書の配布や掲示、またセコム安否確認サービスを利用して職員・訓練生の健康状態を把握しタイムリーな感染対策や状況把握に活用した。施設内においては、感染対策として日々の健康チェック・行動管理シートの記入、朝昼のアルコールによる消毒、部屋の換気、３密の回避のため、更衣室の人数制限、食堂の時間差利用、合同訓練・体育の中止、訓練生全員が集まる事業の中止等の対応をとった。また、前年度末から換気機能付きエアコンに入れ替え工事を実施し、全ての部屋において常時換気が可能となり、感染予防に繋がった。新型コロナウィルスが感染拡大した事で、訓練生や指導員の感染は見られたが、全て家庭内感染で収束しており、校内での感染拡大は無かった。

その他、大阪府より入校して半年後に健康診断の実施が義務付けられたため、大阪府委託業者である大阪府結核予防会での健康診断を実施した。

実施日	検査内容	対象者	場　所
9 月 5.6.7.8 日	身体計測、血圧、 聴力、視力、 尿検査、胸部レントゲン	実務作業科 39 期生 10 名 ＯＡ実務科 55 期生 5 名	大阪府 結核予防会 複十字病院
3 月 8.13 日		ＯＡ実務科 56 期生 5 名	

8　訓練生の状況

(1)　手帳の所持者

（療育手帳）（重複者 3 名）　（人）

判定／性別	A	B1	B2	合計
男	0	2	4	6
女	0	0	5	5
合計	0	2	9	11

（身体障害者手帳）　（重複者２名）　（人）

級 / 性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	5	2	1	0	0	0	8
女	3	1	1	2	1	1	9
合計	8	3	2	2	1	1	17

（精神保健福祉手帳）　（重複者）　（人）

判定 / 性別	1	2	3	合計
男	0	1	0	1
女	0	0	0	0
合計	0	1	0	1

（2）通校状況　（人）

月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
在籍者数	ＯＡ実務科	54 期生	5	5	5	5	5	5	／	／	／	／	／	／	30
		55 期生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		56 期生	／	／	／	／	／	／	5	5	5	5	5	5	30
	実務作業科	39 期生	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	合　計		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
訓　練　日　数			18	19	22	20	18	18	18	20	18	17	17	16	221

（3）　地域別　（人）

	ＯＡ実務科			実務作業科	合　計
	54 期生	55 期生	56 期生	39 期生	
摂津市	1	1		1	3
茨木市		2	1		3
大阪市	2		3	2	7
高槻市			1	2	3
寝屋川市		2			2

池田市				1	1
豊中市	1			2	3
枚方市				1	1
箕面市	1			1	2
合　計	5	5	5	１０	２５

(4) 年齢別 (入校時)　　（人）

年　　齢		～19 才	20 ～29 才	30 ～39 才	40 ～49 才	50 ～59 才	60 才～	合　計
ＯＡ実務科	男			1	5	1		7
	女			2	2	3	1	8
実務作業科	男	6						6
	女	3	1					4
合　計	男	6		1	5	1		１３
	女	3	1	2	2	3	1	１２

(5)　入校斡旋職業安定所　　（人）

		茨木	淀川	門真	池田	梅田	枚方	大阪西	大阪東	阿倍野	合計
ＯＡ実務科	54 期生	1			2			1	1		5
	55 期生	3					2				5
	56 期生	2				2			1		5
実務作業科	39 期生	3	2		4		1				10
合計		9	2		6	2	3	1	2		25

(6)　通校の方法　　（人）

方　法			電車 バス	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計
ＯＡ実務科	54 期生	男	2					2
		女	1	1	1			3
	55 期生	男		2				2
		女		2		1		3

	56 期生	男	3				3
		女		2			2
実務作業科	39 期生	男	4	2			6
		女	4				4
合　　計		男	9	4			１３
		女	5	5	1	1		１２

９　障がい者の態様に応じた多様な委託訓練事業（作業習得科）

軽作業・木工等の作業訓練により、生活態度・集中力・持続性等の向上を図り、多種多様な仕事に対応できる基礎知識、技能の習得を行う。

訓練期間	令和 4 年 8 月 1 日 ～ 10 月 28 日	令和 4 年 11 月 1 日 ～令和 5 年 1 月 30 日
定　　員	年間　3 名	
受 講 者	1 名	0 名

１０　各種会議

訓練生の職業能力の開発及び向上のため、ケース会議と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

１．施設連絡会（月２回）　２．ケース会議（随時）　３．カリキュラム会議（随時）
４．各行事会議（随時）　５．法人行事実行委員会（随時）・人材育成策検討委員会
６． 法人内就労支援事業所連絡会（随時）　7. サービス管理責任者等会議
8． 虐待防止マネージャー会議　９．防災会議

１１　防災訓練

火災、地震を想定した施設内訓練を次のように実施した。　（人）

実施月日	想定災害	訓練内容	参加者
6 月 15 日	ふれあいの里総合消防訓練 火災避難	通報・避難・消火訓練 協力：摂津市消防本部	訓練生 20　職員 8
9 月　2 日	地震避難	大阪 880 万人訓練 地震を想定した「大津波警報発令」緊急地震メール	訓練生　18　職員　9

12月　2日	地震避難	避難訓練 大阪で震度5地震発生 想定訓練	ひびきはばたき園 身体障害者・老人福祉センター せっつくすのき 訓練生 18　職員 9

今年度についてはコロナ禍の影響もあり、普通救命講習を実施できなかった。

１２　職員研修

訓練生の職業能力の開発及び向上を図るため、職員の資質向上を目指し、今年度は例年以上に積極的に研修参加を促した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
4月14日 ～ 3月31日	中長期的なキャリアコンサルタント向け研修	オンライン	学校法人　大原学園	指導員
5月7日 ～ 2月5日	自閉症eサービス研修 ベーシック（ライブ） ステップアップ（ライブ） ＱＯＬ向上シリーズ 全11回開催	オンライン	自閉症eサービス 全国ネット事務局	指導員
5月27日	職業訓練サービスガイドライン研修	オンライン	ランゲート㈱	指導員
6月3日	日本職業リハビリテーション学会近畿ブロック研修会 職リハ×人材育成	エルおおさか	日本職業リハビリテーション学会 近畿ブロック	代理
6月20日	通常総会	大阪市立 東成区民センター	一般社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター	統括
7月27日	メンタルヘルス研修 ～職場のメンタルヘルス～	オンライン	摂津宥和会	所長 代理

7月29日	虐待防止研修「権利擁護 虐待防止体制の整備～虐待防止委員会の設置等について～	オンライン	摂津宥和会	所長 代理
9月21日	令和4年度能力開発施設連絡会	大阪市職業リハビリテーションセンター	NPO法人全国就業支援ネットワーク 能力開発施設部会	統括 所長 代理
10月 21.22日	第23回定例研究・研修会 その働き方、幸せですか？	あべのハルカス	NPO法人全国就業支援ネットワーク	所長
12月9日	障がいのある人の新たな働き方「テレワークによる就労支援の実践セミナー」	オンライン	NPO法人 全国就業支援ネットワーク	指導員 3名
12月9日 ～ 1月19日	高齢・障害福祉サービス事業所のための災害リスクマネジメント研修	オンライン	NPO法人 日本防災環境	代理
12月 15.16日	令和4年12月度公正採用選考人権啓発推進員新任・基礎研修	エル・おおさか	大阪府商工労働部 雇用推進室	代理
1月 10～19日	令和4年度第2回 訪問型職場適応援助者 養成研修	三宮コンベンションセンター 阪神友愛食品㈱	NPO法人全国就業支援ネットワーク	代理
1月21日	職場適応援助者養成研修修了生対象合同フォローアップ研修会	オンライン	NPO法人全国ジョブコーチ連絡協議会	代理
1月25日	第5回ジョブジョイント おおさか実践報告会 発達障がいのある人が自分らしく社会人生活を送るために	立命館いばらき フューチャーズ プラザ	ジョブジョイント おおさか	代理 指導員
2月9日	「共生社会と人権に関するシンポジウム」	オンライン	法務省 人権ライブラリー	代理
2月 15.22日	北摂版ジョブライフサポーター養成講座	豊中市立 文化芸術センター	北摂地域障害者・就業・生活支援センター	指導員
2月24日	「定着支援地域連携モデルに係る調査事業」事業報告セミナー	オンライン	ＮＰＯ法人 全国就業支援ネットワーク	代理

2月 20.24日	安全運転講習会	身障・老人センター	摂津有和会	所長含む8名
2月27日	指導員実地研修	㈱エルアイ武田 十三工場	㈱エルアイ武田	指導員
3月3日	就労支援制度の態様横断化を目指すWORK！DIVERSITY～その利点と欠点を明らかにする～	オンライン	一般社団法人 ダイバーシティ就労支援機構	代理
3月3日	日本ライトハウス創業100年記念式典・記念行事	メルパルクホール 大阪	社会福祉法人 日本ライトハウス	統括

１３　その他：　検定試験合格者　（人）

実施日	検定名	科目名	合格者
4月26日	日本商工会議所　簿記検定3級	OA実務科	1
	日本商工会議所　PC検定（データ活用）3級	〃	1
4月28日	日本商工会議所　PC検定（文書作成）3級	〃	1
5月17日	日本商工会議所　PC検定（プレゼン資料作成）3級	〃	1
5月27日	日本商工会議所　簿記検定3級	〃	2
5月30日	日本商工会議所　簿記検定3級	〃	1
6月14日 6月28日	日本商工会議所　PC検定（プレゼン資料作成）3級 日本商工会議所　簿記検定初級	〃 〃	2 1
7月19日	日本商工会議所　PC検定（文書作成）2級	〃	2
9月 5日	日本商工会議所　PC検定（データ活用）2級	〃	2
9月 6日	日本商工会議所　PC検定（プレゼン資料作成）2級	〃	1
9月 9日	日本商工会議所　電子会計実務検定3級	〃	1
9月20日	日本商工会議所　PC検定（データ活用）2級	〃	2
	日本商工会議所　電子会計実務検定3級	〃	1
9月22日	日本商工会議所　PC検定（文書作成）2級	〃	2
9月27日	日本商工会議所　簿記検定3級	〃	1
11月18日	日本商工会議所　簿記検定初級	〃	1
12月 1日	日本商工会議所　簿記検定3級	〃	1
	日本商工会議所　PC検定（文書作成）3級	〃	1
12月 5日	日本商工会議所　PC検定（文書作成）3級	〃	1

12月26日	日本商工会議所　ＰＣ検定（プレゼン資料作成）3級	〃	1
	日本商工会議所　PC検定（文書作成）2級	〃	1
	日本商工会議所　PC検定（データ活用）3級	〃	1
2月13日	日本商工会議所　PC検定（データ活用）3級	〃	2
	日本商工会議所　PC検定（プレゼン資料作成）3級	〃	1
	日本商工会議所　PC検定（プレゼン資料作成）2級	〃	1
2月19日	日本情報処理検定協会　日本語ワープロ検定3級	実務作業科	3
	日本情報処理検定協会　日本語ワープロ検定4級	〃	4
3月 6日	日本商工会議所　PC検定（データ活用）2級	ＯＡ実務科	1
3月10日	日本商工会議所　電子会計実務3級	〃	3
3月14日	日本商工会議所　PC検定（データ活用）3級	〃	1

１４訓練生の募集活動・施設のＰＲ活動

訓練生の募集活動としては、公共職業安定所、摂津市をはじめ近隣市の障がい担当課、支援学校、大学、病院、関係機関等に対する積極的なＰＲ活動に努めた。また支援学校、企業、放課後等デイサービスなどの福祉サービスからの施設見学、大学生の実習（作業療法学科）を積極的に受け入れている。

実施日	ＰＲ事業	主　催	内　容
7月 4日	障がい者職業訓練 合同説明会	大阪府 摂津市	障害別に大阪府下の障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
8月30日 11月 4日 12月 9日		大阪府	
6月23日 10月28日	ハローワーク職員向け 障がい者職業訓練説明会	大阪府	募集時期に合わせて各訓練校の内容・特色等の説明会を実施

【応募生職業評価選考試験】

令和４年１０月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

（人）

実施日	科目名	募集	応募者	合格者	対　象　者
8月19日	ＯＡ実務科	5	13	5	身体障がい者

令和５年４月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

（人）

実施日	科目名	募集	応募者	合格者	対　象　者
12 月 8 日	実務作業科	10	6	6	知的障がい者
2 月 24 日			4	4	
2 月　8 日	ＯＡ実務科	10	6	6	身体障がい者
3 月　7 日			1	1	
3 月 27 日			1	1	

１５　令和５年度大阪府障がい者特別委託訓練事業にかかる大阪府公募型プロポーザル選定

公募開始　　　　令和４年６月 15 日（水）
提案書提出締切　令和４年７月 19 日（火）
選定委員会　　　令和４年８月　1 日（月）
契約締結　　　　令和４年８月 19 日（金）
事業開始　　　　令和５年４月　1 日（土）
事業終了　　　　令和６年３月 31 日（日）

上記の要領で実施され、8 月 10 日(水)に選定結果発表があり、摂津市障害者職業能力開発センターと共に、大阪市職業リハビリテーションセンターが継続して運営する事が決まった。他にも１事業者が応募していた。

１６　アフターケア

修了生の職場定着を図り、企業の障がい者の就労に対する理解を深めるため、就職先事業所を連絡訪問し、就労の状況の把握を行い、事業所に対し相談援助を行った。また、修了生や事業所からの相談を随時受け付け対応した。

１７　修了生アンケートの実施

修了生に対してアンケートを実施している。各科毎に訓練カリキュラムについての満足度調査を実施し、PDCA サイクルの評価として活用して改善へと繋げている。一人ひとりの回答に目を向け、入校のきっかけとなったこと、就労に向けてのプロセス上で感じたこと、また科目や期生毎の傾向を読み取り、アンケート集計を分析している。

１８　新型コロナウイルス感染症の発生に伴う影響等

令和４年度は新型コロナウィルスの感染拡大によりまん延防止等重点措置適用や緊急事態宣言が発令されたが、「新しい生活様式」を取り入れ感染防止対策に努めて通常訓練を実施することができた。「障がいの障壁をこえた訓練」「お互いの障がいについて理解を深める訓練」「コミュニケーションを課題にした訓練」これらが当センターの特色であるが、感染防止を考慮して、各科が交流する機会を減らすように対策をしなければならなかった。しかし、3 月 17 日には社会見学として訓練生、職員が一緒にニフレル、エキスポシティへ行く事が出来た。今後はこのような楽しみを少しずつ増やしていきたい。

就職活動については、職場実習・見学が少しずつ快方の傾向にあり、新規事業所を含めて複数の受け入れを実施する事が出来た。就職先については、これまでのご縁のある企業に加えて、新規事業所開拓を進める事が出来た。今後も継続した関係作りをしていきたい。

7　摂津市立第1児童センター

（1）概況

令和4年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響から例年4月開催の児ーセンまつりは児ーセンランドと名称を変更し時間・定員制でゲームを中心に実施した。その後は感染症に対する規制や意識も徐々に緩和され、コロナ禍以来制限のある中でのあそびであったため子ども達がもっと自由に、みんなで目一杯あそべる・挑戦できるをテーマに基本的な感染症対策を講じながら事業実施をした。「〇〇やDay」は日常のあそびの中に変化を加え、いつ来ても違ったあそびを楽しめるよう折り紙の日やぬりえの日を取り入れた。コロナ禍で始まった取り組みの月間あそびや〇〇de ウィークは多くの利用者が楽しめる、また挑戦できるとして引き続き実施している。

児童健全育成推進財団主催ギネス世界記録挑戦の企画に参加し見事記録達成、ギネスブック世界記録2023にも掲載された。またけん玉クラブ員が文部科学大臣杯本選に出場、見事ベスト4に入った。日々練習を重ねその後の全国大会では2冠を達成、日本チャンピオンとなったことが他のクラブ員にも良い刺激になりクラブ活動がより活性化した。

乳幼児親子プログラムは遊戯室という大きな空間を活かし、定員制をとらずに気軽に参加できるようコロナ禍以前同様の事前申込不要とした。安心して参加できるプログラムとして特に2歳児未満を対象としたPukuMukuは多くの参加者で賑わった。

情報発信として新たにLINEを活用して週予定やイベントの案内等も実施。ボランティアとの連絡のツールとしても活用し、ボランティアの参加も活性化してきた。また「かんちょう　ちょっときいて〜な」と題し、子どもたちの意見箱を導入。児童センターに対する疑問や要望に返答しニーズを把握、子どもたちの声が反映される「児童センター」にしている。

年間使用証発行枚数、年間利用者数共にコロナ禍以前の水準まで回復した。児童センターが家庭、学校そしてサードプレイスの子どもたちの居場所として機能している。

（2）利用について

①利用対象

・保護者が同伴する乳幼児

・小学生

・児童関係の指導者及びこれに準ずるもの

・その他指定管理者が適当と認める者

②利用手続　（入館は無料）

・受付で「児童センター使用証」の交付を受け、来館するときには使用証を提示する。

・子育てグループ活動等のため児童センターの部屋の専用許可を受けようとする場合は「特別使用許可書」の交付を受ける。

③開館時間

・午前８時４５分から午後５時１５分まで
（５月～８月の４カ月間は閉館時間を１時間延長する開館延長を実施）

④休館日

・日曜日　・国民の祝日　・１２月２９日から１月３日まで

（３）年間行事の実施状況

感染症対策を講じて実施した令和２・３年度での取り組みも踏まえ、コロナ禍以前の事業について再開するもの・変更するものとを精査した。また新たな取り組みとして【○○や Day】を実施。日常のあそびの中に変化を加え、いつ来ても楽しい児童センターを目指した。

【年間主要行事】　（人）

実施日	行　事　名	内　容	定員	参加者数
4 月 23 日	児ーセンランド ２０２２	感染症拡大防止のため、定員制で実施。児童センター全体をあそびランドとして乳幼児親子～小学生までが楽しめるイベント。	4 部制 各 30 組	183
5 月 14 日	新 1 年生歓迎会	子どもスタッフが中心となって進行するイベント。新 1 年生を迎えて児童センターのルールの説明や他の学年も交えてのみんなであそぶ。	―	50
7 月 30 日	夏まつり	児童センター館内全体を使用してのおまつり。あそびコーナーの他に子どもによるフリーマーケットなど。	―	900
8 月 19 日	工作くん	夏休みのクラフト教室。タイルを使ったコースター作り。	2 部制 各 15	29

8月23日	みんなであそぼう＆おおそうじ	子どもスタッフ企画のあそびと館内のおおそうじイベント。	−	29
8月30日	乳幼児 ウォーターランド	館全体を使用した乳幼児向けのあそびイベント。園庭での水あそびも実施。	―	45
9月3日～ 10月8日	Nature くらぶ （全4回）	自然体験事業。デイキャンプに向けて役割分担し、子どもたち自身が企画・準備・実施。自分たちでつくるキャンプ。	20	18 のべ69
12月10日	クリスマス会	1部：クリスマスキャストやリコーダークラブによるクリスマスショー 2部：キャンドルサービスやサンタクロースからのプレゼントなどのクリスマスパーティー	1部：− 2部：50	1部：145 2部：51
12月14日	乳幼児クリスマス会	乳幼児親子のクリスマス会。職員による出し物や子どもたちによるダンス	40組	41組 89
12月28日	みんなであそぼう＆おおそうじ	子どもスタッフ企画のあそびと館内のおおそうじイベント。	―	33
1月28日	地球 Labo	気象予報士正木明さんによる地球について考える講座。	50	53
2月25日	J ステージ	けん玉クラブやリコーダークラブの発表とよさこいグループ【りん】によるパフォーマンスなど。	―	159
3月14日	乳幼児ランド	館全体を使用した乳幼児向けのあそびイベント。消防署立ち合いの避難訓練も併せて実施。	―	85組 176
3月29日	多世代交流会	Zoom を使用してふれあいの里をメイン会場とし、みきの路や児童発達支援セン	―	29 (児童センターのみ)

		ターともつないで、高齢者・障がい者・子どもが一堂に会する場として実施。		
3月31日	お別れお楽しみ会	6 年生が参加する最後の行事。参加者全員であそぶ。	―	65

【クラフト教室】・・・定員を設けてのクラフト教室
例年実施している専門講師を招いての教室活動は開催を見合わせ、職員指導によるクラフト教室を実施した。

（人）

実施日	行　事　名	内　　容	定 員	参加者数
5月7日	母の日クラフト	エコバック作り	20	20
6月18日	父の日クラフト	スノードーム作り	20	20
8月19日	工作くん	タイルコースター作り	30	30
10月29日	ハロウィンクラフト	お菓子箱作り	45	45
11月26日	クリスマスクラフト	リボンリース作り	20	20
12月26日	お正月クラフト	たこ作り	20	20
2月4日	バレンタインチョコ作り	チョコレート作り	24	24

【〇〇ウィーク】・・・1 週間程度期間を設け、その中で小学生だけでなく来館者全員が楽しめる内容の事業

（人）

実施日	行　事　名	内　　容	参加人数
9月10日 ～17日	月見 de ウィーク	クイズ・展示物・クラフトの実施	クイズ：55 クラフト：28
10月22日 ～31日	ハロウィン de ウィーク	フォトスポット・フォトギャラリー・クラフトを実施	フォト：27 クラフト：45
12月19日 ～24日	クリスマス de ウィーク	クイズ・クラフト・ぬりえを実施	クイズ：14 クラフト：50 ぬりえ：28
1月4日 ～15日	お正月 de ウィーク	書初め・コマまわし大会・巨大かるた大会を実施。期間内はお正月あそびの貸出。	書初め：22 コマまわし：17 かるた：9
1月28日 ～2月3日	節分 de ウィーク	豆知識掲示 【鬼】を探せ！ラリー 豆まき	鬼探し：29 豆まき：60

【その他の行事】

①○○や Day・・・不定期に実施。誰でも参加できる。

（人）

あそび名	回数	延べ参加者数
折り紙や Day	4 回	61
シネマや Day	2 回	41
どろんこあそびや Day	1 回	17
フープあそびや Day	1 回	15
鬼ごっこや Day	1 回	20

②月間あそび・・・毎月 1 日～20 日で一つのあそびの記録に挑戦する。

（人）

実施日	行事名	実施内容	備　考	参加者数
4 月 ～3 月 （6・7・8 月は未実施）	月間あそび （令和 2 年度より継続実施）	月ごとにあそびを設定し、月間を通してチャンピオンを競う。年間ランキングであそびキングを決定。	SNS にて見本動画を掲載	690

【定例行事活動】

登録制の乳幼児親子プログラムである「PukuMuku」「ひよこちゃんよっといで」については令和 4 年度は申込不要に変更した。別府コミュニティセンター移動児童館を定員を設けて再開した。またけん玉認定会等を定期的に実施した。

（人）

行　　事　　名	実施回数	延参加者数
ＰｕｋｕＭｕｋｕ６ヶ月～２歳児	34 回	1,283
ひよこちゃんよっといで 3 歳児～	32 回	339
乳幼児の日	4 回	137
乳幼児親子プログラム移動児童館 （別府コミュニティセンター）	4 回	61
保健師講座	1 回	32
トランポリンの日	16 回	1,178
けん玉認定会(移動児童館含む)	8 回	345

【クラブ活動】

指導者が児童を集団で指導するクラブを編成し、感染症対策を講じながら継続指導を行った。幼児親子対象の「おもしろくらぶ」では大阪人間科学大学こども教育学科と協働した。

（人）

クラブ名	期間・活動日・活動日数	部員数	延参加者数
けん玉クラブ(前期)	4月7日～9月29日　木曜日20回	16	266
〃　（後期）	10月6日～3月9日 木曜日20回	13	225
卓球クラブ　（前期）	4月8日～9月30日　金曜日21回	15	262
〃　（後期）	10月7日～3月10日　金曜日21回	15	264
リコーダークラブ(前期)	4月2日～9月24日　土曜日23回	11	201
〃(後期)	10月1日～3月25日 土曜日23回	10	212
クリスマスキャスト	10月1日～12月10日 計17回	12	129
おもしろくらぶⅠ期	5月13日～7月1日　金曜日8回	15	198
〃　Ⅱ期	10月6日～12月1日　木曜日8回	15	231
こどもスタッフ(前期)	4月1日～9月30日　計18回	9	130
〃(後期)	10月1日～3月31日　計23回	15	184

【対外活動】

文部科学大臣杯けん玉道選手権大会（南関西予選会：大阪・奈良・和歌山）においてけん玉クラブ員が優勝。全国大会に出場し、ベスト4に入るなど輝かしい成績を収めた。リコーダークラブは別府コミュニティセンターまつりにて演奏。卓球クラブは京都西京極児童館との交流試合を行った。

（4）使用状況　（人）

月	個人使用	特別使用	計	開館日数	1日平均
4	1,576	21	1,597	25	64
5	1,634	50	1,684	23	73
6	2,125	48	2,173	24	91
7	3,299	45	3,344	25	134

8	2,200	47	2,247	26	86
9	1,835	52	1,887	24	79
10	2,314	57	2,371	25	95
11	2,098	61	2,159	24	90
12	1,986	47	2,033	24	85
1	1,735	45	1,780	23	77
2	1,909	49	1,958	22	89
3	3,017	25	3,042	26	117
計	25,728	547	26,275	291	90

※特別使用…子育てグループ活動等のため部屋の専用許可を受けようとする場合

（５）年齢別使用証交付状況　（枚）

月	乳児	幼児	１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計	累計
4	32	66	30	37	20	67	45	45	342	342
5	10	42	18	24	21	19	15	19	168	510
6	19	21	13	6	8	25	9	22	123	633
7	18	31	17	7	13	31	13	20	150	783
8	9	11	5	14	9	8	13	8	77	860
9	22	23	8	14	3	3	3	8	84	944
10	24	15	6	5	4	6	8	4	72	1,016
11	19	10	4	7	2	0	8	4	54	1,070
12	6	11	1	9	4	2	7	2	42	1,112
1	14	8	5	1	3	1	3	6	41	1,153
2	20	14	8	0	1	2	2	0	47	1,200
3	19	9	4	8	5	6	6	5	62	1,262
合計	212	261	119	132	93	170	132	143	1,262	

（６）学校別使用証交付状況　（枚）

月	摂　津	味　舌	三宅柳田	その他	合計	累計
4	183	28	19	14	244	244
5	76	26	6	8	116	360
6	44	11	26	2	83	443
7	78	9	13	1	101	544
8	30	10	16	1	57	601
9	18	17	3	1	39	640
10	21	11	1	0	33	673
11	16	7	1	1	25	698
12	11	13	1	0	25	723
1	11	0	5	3	19	742
2	10	0	3	0	13	755
3	19	2	6	7	34	789
合計	517	134	100	38	789	

（７）ボランティア受け入れ状況

新型コロナウイルスの影響も減少し、昨年度に比べボランティア受け入れが増加した。また大阪人間科学大学ボランティアサークル Lico と連携をスタートし、日常のボランティアとして活動した。

（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
回　　数	12	20	15	15	11	3	14	15	11	6	3	14	139
行事・日常ボランティア活動者数	40	41	31	40	21	8	65	40	28	10	12	32	368

（８）個人情報の取り扱い及び虐待防止についての取り組み状況

使用証の交付申請書、使用登録カードをはじめ個人情報が記された書類などの管理は、施錠したキャビネットにて保管した。施設外への個人情報データの持ち出しも一切行わなかった。虐待ケースがあり、吹田子ども家庭センターへ連絡。市家庭児童相談課とも連携を図り、解決に向けて引継ぎを行った。今後の対応に向け、市家庭児童相談課の担当者による勉強会を行った。

（９）職員研修

日常業務に必要な技術の習得や質の高いサービス向上を目指し、職員の資質を高めるために研修会に参加した。

研修日	研修名	開催場所	主催	職種	備考
6 月 24 日	児童虐待の対応について	施設内研修	施設内研修	全員	講師：摂津市家庭児童相談課
7 月 14 日	防犯研修	施設内研修	施設内研修	全員	講師：摂津警察
7 月 27 日	メンタルヘルス研修	オンライン	摂津宥和会	施設長	
7 月 29 日	虐待防止研修 ～虐待防止委員会設置について～	オンライン	摂津宥和会	施設長	
11 月 1・8 日	虐待防止研修	1 日：みきの路 8 日：ふれあいの里	摂津宥和会	児童 厚生員	
11 月 21・22 日	人権・同和問題 企業啓発講座	オンライン	人権・同和問題企業啓発講座実行委員会	全員	
12 月 2 日	運動遊びプログラム実践研究会	児童健全育成推進財団	京都市男女共同参画センターウィングス京都	児童 厚生員	
12 月 14 日	人の発達プロセス ～定型発達を知り発達障害の知識を深める～	オンライン	摂津宥和会	児童 厚生員	
1 月 18 日	人権教育講座 ヤングケアラーを知っていますか？ ～地域での支援を考える～	高槻市人権まちづくり協会	高槻市人権まちづくり協会	児童 厚生員	
1 月 29 日	全国子ども健全育成リーダー養成セミナー	オンライン	一般財団法人 児童健全育成推進財団	児童 厚生員	

2 月 22 日	人事考課研修	オンライン	摂津宥和会	施設長	
2 月 24 日	安全運転研修	ふれあいの里	摂津宥和会	児童 厚生員	講師： 摂津警察署
3 月 7 日	全国児童館・児童クラブオンラインフォーラム	オンライン	全国児童厚生員研究協議会・ 一般財団法人児童健全育成推進財団	児童 厚生員	
3 月 20 日	身体拘束研修	ふれあいの里	摂津宥和会	児童 厚生員	

（１０）各種委員会・会議について

委 員 会 名	内　容	回数	参加者
虐待防止・身体拘束等適正委員会	法人に設置。各施設から委員を選出し、利用者に対してより良い支援をするために検討する委員会	1 回	施設長
人材育成策検討委員会	法人内のキャリアパス案検討や人材育成としての研修の企画・実施等を検討する委員会	7 回	児童厚生員
サービス管理責任者等会議	法人内各施設のサービス管理者等、サービスの要となる職員がサービスの質の向上や今後の経営計画案等の策定を目指すために法人を横断的に検討する委員会	5 回	児童厚生員

（１１）実習生受け入れと職場体験について

７月下旬～８月上旬大阪健康福祉短期大学子ども福祉学科から２名保育実習Ⅲを受け入れた。また摂津市立中学校の職場体験プログラムとして、第一中学校【児童館のプログラムを考えよう】、第二中学校【社会人トーク】に参画した。

（１２）運営委員会について

（人）

	実 施 日	内　　　　　容	参加者
第 1 回	8 月 18 日	委嘱状交付、事業報告、決算概要、近況報告、質疑応答	8
第 2 回	3 月 29 日	事業計画、予算概要、近況報告、質疑応答	8

（１３）避難訓練等

全来館者を対象にして火災、地震想定の避難誘導消火訓練を実施した。

（その他の避難誘導訓練は以下の通り）

（人）

実　施　日	参　加　者	実　施　内　容
1 月 14 日	49	地震を想定して避難誘導訓練を実施。
3 月 14 日	176	乳幼児ランドで幼児親子を対象に火災を想定して避難誘導訓練及び通報訓練を実施。市消防隊員の講話と消防車の見学は未実施。

（１４）子ども食堂

法人事業として実施しているこども食堂は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み休止したが、摂津市子ども食堂ネットワーク会議に参加し、情報の共有に努めた。

8　摂津市障害者総合支援センター

Ⅰ　摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」

（1）概況

令和 4 年度の相談支援部門における事業については、当センターが担うべき基本的事業を継続しつつ、重点策としては、「次世代を見据えた人材育成」「地域における相談支援の中核的な機能をもつ基幹相談支援センターとして行う地域支援の充実」「地域生活支援拠点等事業の基礎的枠組みの構築」「新型コロナ感染防止」「法人相談支援部門の充実」を挙げ、〔1〕摂津市指定「計画相談支援」、〔2〕摂津市委託「摂津市障害者相談支援事業」、〔3〕大阪府指定「地域相談支援」、〔4〕摂津市委託「摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業」、〔5〕大阪府事業で大阪府より相談支援アドバイザーとして委嘱を受けた「大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業」、〔6〕摂津市委託「障害支援区分認定調査」、〔7〕陽だまりと会議室の運営を継続して実施した。

なお、新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、感染防止を徹底しながら、大阪府内の感染状況に応じて対面支援の一部を電話やオンライン、郵便を活用した書面で実施した。

（2）事業の状況

① 計画相談支援（サービス利用支援、継続サービス利用支援）

サービス等利用計画作成を 364 名について実施した。本人が地域でいきいきと自分らしく生活が送れるように本人中心支援計画をケアマネジメント手法を活用して作成し、きめ細やかな支援を行った。また、計画相談支援を導入することにより関係機関の連携強化、明確な役割分担、系統だった支援による本人のエンパワメントの引き出しを行った。

② 障害者相談支援事業

対象者は、摂津市内在住の障がい（身体・知的・精神）者である。
障害者相談支援事業は、知的障がい者を対象としていたが、身体障がい者や精神障がい（主に発達障がい）の継続相談も受けてきている。相談経路は、行政機関や専門機関、各教育機関・学校、病院、地域包括支援センターなどから情報提供を受けたり、障害福祉ハンドブック、ホームページなどを見て連絡される。

コロナ禍において対面支援の一部を電話やオンライン、電子メール等による支援に変更したが、相談件数の大幅な減少はなく、数的には、概ね利用者のニーズに対応できた。

（障害者相談支援事業）相談の内訳と件数　　　　　　　　　　　　　　　　　　（件）

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	1,204	4	414	194	5	203	97	164	79	11	132	24	2,531

（主催事業）

令和 4 年度については、摂津市から事業運営委託を受けている障がい児者を対象にしたエアロビクスダンス教室が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から摂津市の指示にて中止となった。また、法人主催の運動会や摂津市主催事業の風船バレーボール大会についても同様の理由で中止となった。

③ 地域相談支援

障がい者支援施設等の施設に入所している障がい者や精神科病院等に入院している精神障がい者、矯正施設を退所される障がい者に対して、住居の確保、地域生活に移行するための活動に関する相談、その他の便宜を供与する地域移行支援は、障がい者支援施設を退所してグループホームの利用を希望された 2 名の方へサービス提供を行った。

居宅において単身等の状況において生活する障がい者に対して、当該障がい者との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態において相談、その他の便宜を供与する地域定着支援は対応できる体制を確保してきたが対象者（支給決定者）はなかった。

④ 摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業

市町村における相談支援事業が、適正かつ円滑に実施されるよう、相談支援の強化を図ることを目的としている。三障がいを対象とした相談支援拠点（基幹相談支援センター）の設置によって専門的な相談支援等を要する困難事例への対応や総合相談、地域自立支援協議会を構成する相談支援事業者等に対して専門的な指導、助言などを行った。また、新型コロナ感染拡大防止に関する情報共有や自立支援協議会の運営などと摂津市障害者介護給付費等支給審査会審査委員の委嘱を受け審査会に出席した。

令和 4 年度は、市内の相談支援専門員に対する定期的なスーパービジョンの実施や相談支援従事者研修の新カリキュラムの開始に伴うインターバル研修の受け入れを実施したために「相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整」に関する対応件数が増加した。また、新型コロナ感染拡大に関する対応も増加したが支援困難

事例や初期相談等の個別支援・調整については、減少した。本事業の取組み全件数が昨年度に比べて１件減少した結果となった。

１）市自立支援協議会実務担当者会議 （事務局会議･相談支援部会、障害児相談連絡会、地域移行部会等）	年２４回
２）市障害者地域自立支援協議会全体会	年　１回
３）各支援学校主催会議や進路支援等	年１２回
４）相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整	年 125 回
５）介護給付費等支給審査会	年　５回
６）地域移行・各種ネットワーク会議等	年　４回
７）支援困難事例や初期相談等の個別支援	年３９回
８）成年後見利用支援や虐待対応・地域移行関係	年　２回
９）新型コロナ感染症関係の対応	年７２回
10）その他（研修講師、研修受講、市民団体への助言など）	年１１回
	合計２９５回

⑤ 大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業

大阪府の地域生活支援事業として位置づけられており、障がい者及び障がい児の相談支援に関し、地域における相談支援体制整備に向けて実績を有する、あるいは相談支援事業に従事した相当期間の経験を有する等、専門性の高いアドバイザーを派遣し、地域のネットワーク構築（地域自立支援協議会等）に向けた助言等、広域的支援を行うことにより、地域における相談支援体制の整備を推進することを目的としている。

１）アドバイザー報告連絡調整会議等	年　６回
２）市町村地域自立支援協議会連絡会議	年　１回
３）大阪府障がい者自立支援協議会委員参加	年　２回
４）市町村へのアドバイザー派遣	年　４回
５）研修企画会議等	年　３回
	合計 16 回

⑥ 障害支援区分認定調査員

障害福祉サービス（介護給付費）の支給にあたり、市から障害支援区分認定調査員の委託を受け、１１０件の認定調査を実施した。

⑦ 会議室(貸室)の運営

市内障がい福祉事業所や当事者団体の活動を支援する等の目的で、会議室の貸室事業を継続し、必要に応じて基幹相談支援センター機能強化事業として、当事者団体等へ助言や情報提供を行った。

現在、貸室登録団体は１２団体で令和４年度利用実績回数は１２回

（３）研修（人材育成）

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

	日付	研修名	主催	場所	内容
1	5月7日	社会福祉施設等における新型コロナウィルス感染症対策	大阪府	オンライン	新型コロナウイルス感染予防や対応について
2	6月1日、6月13日	令和4年度大阪府相談支援従事者専門コース別研修　地域移行・地域定着支援コース	大阪府	映像配信(6/1)及びコミュニティプラザ平野	相談支援専門員に対する専門研修
3	6月14日、6月21日、7月19日、8月30日	大阪府相談支援従事者現任研修	社会福祉法人大阪市障害者福祉スポーツ協会	映像配信(6/14)及び大阪私学会館	相談支援専門員資格更新法定研修
4	6月29日、6月30日、7月12日、7月13日、8月24日、9月20日、9月28日	令和4年度大阪府相談支援従事者初任者研修（7日課程）	大阪府障害者福祉事業団	映像配信(6/29、6/30)及び大阪府社会福祉会館	相談支援専門員資格取得のための法定研修
5	8月23日	令和4年度第1回相談支援専門員研修	相談支援部会	摂津市障害者総合支援センター	摂津市内の相談支援専門員への専門研修
6	10月4日	相談支援従事者初任者フォローアップ研修	相談支援部会	摂津市障害者総合支援センター	摂津市内の初任相談支援専門員へのスキルアップ研修
7	10月11日	高齢障がい者支援研修	摂津市地域包括支援センター、摂津市基幹相談支援センター	オンライン	市内の相談支援専門員と介護支援専門員の合同研修

	日付	研修名	主催	場所	内容
8	10 月 13 日、10 月 24 日	障がい者虐待防止研修	摂津市、摂津市障害者地域自立支援協議会	摂津市消防庁舎(10/13)、地域福祉活動支援センター（10/24）	虐待の防止について
9	11 月 1 日、11 月 8 日	虐待防止研修	摂津宥和会（人材育成策検討委員会）	みきの路	虐待の防止について
10	12 月 14 日	人の発達プロセス　定型発達を知り発達障がいの知識を深める	摂津宥和会（人材育成策検討委員会）	オンライン	人の発達について
11	1 月 18 日	相談支援従事者初任者フォローアップ研修	相談支援部会	摂津市障害者総合支援センター	摂津市内の初任相談支援専門員へのスキルアップ研修
12	2 月 1 日	愛着障害の理解と支援	大阪府	オンライン	愛着障害に対する基礎知識の習得と支援方法について
13	2 月 3 日	令和 4 年度第 2 回地域自立支援協議会情報交換会	大阪府	大阪府庁　咲洲庁舎	府内の市町村自立支援協議会事務局職員への研修
14	2 月 7 日	摂津人企連　令和 4 年度ふれあい学習会　障害者雇用について	摂津地区人権推進企業連絡会	（株）ダイキンサンライズ摂津本館	障害者雇用の現状について
15	2 月 20 日	安全運転研修	摂津宥和会	みきの路	交通事故の特徴などを知る
16	2 月 22 日	人事考課者向け研修	摂津宥和会	オンライン	人事考課制度の概要や心得など

	日付	研修名	主催	場所	内容
17	2月27日	後見人ってどんな人？	摂津市障害福祉課･高齢介護課	地域福祉活動支援センター	成年後見制度とは何かを知る
18	3月20日	身体拘束など適正化に関する研修	摂津宥和会(虐待防止委員会)	身障老人福祉センター	他法人の身体拘束適正化の取り組みについて
19	3月30日	後見人ってどんな人？	摂津市障害福祉課･高齢介護課	地域福祉活動支援センター	成年後見制度とは何かを知る
20	3月31日	身体拘束など適正化に関する研修	摂津宥和会(虐待防止委員会)	動画視聴	他法人の身体拘束適正化の取り組みについて

上記の研修会への参加以外に毎週木曜日に相談支援専門員のスキルアップを目的とした支援会議を実施した。

（4）新型コロナウイルス感染防止に伴う措置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかで、摂津市や大阪府から発表される情報を集めつつ、感染防止のための対策を以下のとおり実施した。

① 環境整備等の対策

三密を避けるために面談室や会議室の定員制を導入して使用人数制限措置を実施したり、新たに二酸化炭素濃度計測器の設置、来所者への健康チェックカードの記入依頼を実施した。

② 職員の感染防止対策

当センターの業務の性質上、訪問業務が多く外部と接触する機会が多くなる。そのために、法人の「新型コロナウイルス感染防止のための職員行動指針」をもとに当センター独自の感染防止及び感染者等が発生した場合のマニュアルを作成して職員に対して出勤時の検温と手洗い、業務中の行動履歴の作成(勤務時間外についても行動履歴の作成を勧奨)、食事時以外のマスクの着用、手の触れる場所の随時の消毒等を行った。

さらに、やむなく感染者や濃厚接触者、感染が疑われる利用者等との接触が必要な場合に備えて防護服等の備蓄と着脱訓練を実施した。

また、府内における感染者数等情報や施策、注意喚起等の行政情報や法人理事長による

感染予防にかかる注意喚起等を職員全員で共有しつつ、当センター独自の感染防止マニュアルに沿った自己評価を月初めに実施して感染防止に対するモチベーションの維持、向上に引き続き努めた。

③ 利用者への感染防止対策

来所者に対しては、マスクの着用と自動検温アルコール消毒器を設置し、来所時に検温と手指の消毒と健康チェックカード記入への協力を依頼した。また、府知事から府民への要請内容をホームページや館内掲示により、情報提供と協力依頼を行った。

感染防止にかかる個別の相談やコロナ禍における生活面での困りごと、不安等についての相談は随時、対応した。さらに、利用者や家族、関係する支援者等が感染者または、濃厚接触者等になった場合に正しい状況を把握するための聞き取りシートを作成し、運用した。

④ 法人内の居住系サービス施設、事業所との連携

法人内の居住系サービス施設、事業所において感染者が発生した場合の当センター職員による応援体制を構築した。

⑤ 地域への対応

令和３年４月から摂津市障害者自立支援協議会主催の新型コロナウイルス感染者等発生時の情報共有システムの運用が始まった。本システムは、自立支援協議会事務局である当センターが事務局を担い、市内相談支援事業所と参加希望された摂津市内の障がい福祉サービス事業所、児童通所支援事業所で構成されており、新型コロナ感染者等が発生した５４事業所からの情報対応を行った。

(相談支援担当統括者)

相談支援担当統括者は、法人内相談支援事業(就業・生活支援センターも含む)の効率的かつ効果的な事業運営に向けた助言指導・指揮、人材育成、ガバナンスの強化等を実施し、法人内の相談支援事業の質の向上に努めた。

当センター内の相談支援事業である摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」及び茨木・摂津障害者就業・生活支援センターに対しては、随時、助言・指導・調整を実施し、児童発達支援センターに対しては、年間２２件実施した。

また､相談員として着任した職員に対する着任時研修も実施した｡(令和４年度の実績は、１名対象に１回実施)

Ⅱ　茨木・摂津障害者就業・生活支援センター

（1）概況

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターは、職業生活における自立を図るために、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携（連絡・調整）を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言その他の支援を行うことにより、その雇用の促進及び職業の安定を図った。

当センターの年間就職者数は６４名で、障がい種別にみると、身体障がい者が６名、知的障がい者が３９名、精神障がい者が１８名、その他（難病等）が１名で摂津市・茨木市別に就職状況をみると、摂津市が２３名で茨木市が４１名であった。また、職場定着支援については、例年同様、当センターの登録者が増加し、それに伴い定着支援の必要性が増してきている。支援対象者は、年々増加する中で職員体制を確保するとともにサービスの質の向上を目指し、初期相談時にアセスメント表を作成して利用者の状況やニーズを正しく把握するように努めた。

令和４年度事業の重点策については、下記の通り実施した。

①次世代を見据えた人材育成

職員の世代交代が進む中で安定的な支援の継続をめざしていくためには、職員の専門性の向上が必要になり、従来積み上げてきた支援実績を基礎に時代のニーズに応じられるように、外部研修の受講や 2 週間に１回の内部会議の継続、スタッフ内での随時の情報共有や定期的なケース会議の実施、スーパービジョンを実施した。

②関係機関とのネットワーク体制の充実

就労支援のネットワーク構築については、コロナ禍においても感染拡大防止に最善を尽くしながら、オンライン会議や書面会議、参加人数を絞った対面での会議の主催や参加により、ネットワーク体制の維持に努めた。具体的には、摂津・茨木両市の障害者地域自立支援協議会委員や摂津支援学校、とりかい高等支援学校の運営協議会委員の就任をはじめ、摂津就労支援ネットワーク会議の座長を務め、行政及び関係機関、企業等とのネットワークを深めていく中で、地域における障がい者の就労支援を担う機関としてその果たすべき役割を担った。

③サービスの質の向上

就労している利用者が相談しやすい環境を作ることを目的に毎月第１、3 土曜日の相談日の実施を継続した。また、サービスの質の向上をめざして支援方針や支援内容を明確化した当センター独自の個別の支援計画やアセスメント票の様式を作成している。

令和３年度から取組んでいる利用者への情報発信を目的とした機関紙を年３回発行した。

④新型コロナ感染防止

感染防止を図りながら利用者が求めるニーズに対応する支援が滞らないよう最善の方法を検討して個別支援に取り組んだ。(新型コロナ感染防止の具体的取組は「(８) 新型コロナウイルス感染防止に伴う措置」に記載)

（２）就業・生活支援センター活動の状況（利用者参加）

実 施 日	行 事 名	場　所	内　容
6 月 11 日	ピアサポート活動・在職者交流活動	摂津市立コミュニティプラザ	障害者年金についての講義とグループワーク
7 月 13 日	摂津支援学校職業相談会	摂津支援学校	就職希望の 3 年生の職業相談、就業・生活支援センターの事業内容の説明
7 月 28 日	とりかい高等支援学校職業相談	とりかい高等支援学校	就職希望の 3 年生の職業相談、就業・生活支援センターの事業内容の説明
8 月 19 日	むらの高等支援学校	摂津市障害者総合支援センター	就職希望の 3 年生の職業相談、就業・生活支援センターの事業内容の説明
9 月 15 日	摂津市障がい者就職フェア	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障がい者合同企業面接会
11 月 25 日	茨木市障がい者合同就職面接会	茨木市役所	茨木市障がい者合同企業面接会
1 月 17 日	とりかい高等支援学校ガイダンス	とりかい高等支援学校	就業・生活支援センターのガイダンスと利用登録
2 月 25 日	ピアサポート活動・在職者交流活動	摂津市立コミュニティプラザ	利用者の方々に交流の場を提供するとともに講師を招いて呼吸法を学んだ

（３）利用者の状況

① 地域別相談者数　（人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	258	103	159	12	532
茨木市	457	138	355	35	985
合計	715	241	514	47	1,517

② 新規相談者数（人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	12	4	8	0	24
茨木市	22	8	21	1	52
合計	34	12	29	1	76

③ 延べ相談件数（人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	572	72	274	26	944
茨木市	947	112	907	81	2,047
合計	1,519	184	1,181	107	2,991

④ 市別利用登録者数（人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	172	41	61	4	278
茨木市	305	58	143	13	519
合計	477	99	204	17	797

（４）就職の状況

① 職場実習（人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	8	0	2	1	11
茨木市	11	0	8	1	20
合計	19	0	10	2	31

② 就職者数（人）

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合　計
摂津市	13	2	7	1	23
茨木市	26	4	11	0	41
合計	39	6	18	1	64

（５）職員研修（人材育成）

利用者の職業生活における自立を図ることを目的に、必要な情報・知識を習得し、職員の資質を高めるため研修会、連絡会等へ参加した。

実施日	研修名	主催	場所	内容
7月12日 ～ 7月15日	令和4年度障害者就業・生活支援センター就業担当者研修	独立行政法人高齢・障害求職者雇用支援機構	障害者職業総合センター（千葉県）	就業支援担当者が担う各業務に必要な基礎知識及び技術を内容とする
8月1日	ハラスメントからみたビジネスと人権	大阪府社会保険労務士会	オンライン	職場のハラスメントについて
8月25日	発達障害を愛着ですませないために	アクトおおさか	オンライン	子どもの発達障害を知る
10月31日	あがり症と誤解され続ける社交不安症	大阪府茨木保健所・大阪精神科診療所協会	オンライン	社会不安症の病気と対応を知る
11月8日	虐待防止研修	摂津宥和会	みきの路	虐待の防止について
11月15日・16日	職業リハビリテーション研究・実践発表会	独立行政法人高齢・障害求職者雇用支援機構	ライブ視聴	パネルディスカッションと講演
11月15日	就業支援実践研修	独立行政法人高齢・障害求職者雇用支援機構	新大阪丸ビル別館	会社の事例を踏まえ検討し意見交換を行う

実 施 日	研 修 名	主　催	場　所	内　容
11 月 30 日 ～ 12 月 2 日	令和４年度障害者就業・生活支援センター主任就業支援担当者研修	独立行政法人高齢・障害求職者雇用支援機構	障害者職業総合センター（千葉県）	主任就業支援担当者になるための研修
12 月 14 日	「人の発達プロセス」～定型発達を知り発達障害の知識を深める～	摂津宥和会	オンライン	人の発達について
1 月 18 日 ～ 1 月 20 日	令和４年度就業支援スキル向上研修	独立行政法人高齢・障害求職者雇用支援機構	オンライン	職業リハビリテーションの実践に有効な技術、技法の習得
1 月 26 日 2 月 27 日 3 月 15 日	成年後見制度	摂津市障害福祉課・高齢介護課	・別府コミュニティセンター ・地域福祉活動支援センター ・摂津市立コミュニティプラザ	成年後見制度とは何かを知る
2 月 20 日 2 月 24 日	安全運転研修	摂津宥和会	・みきの路 ・身体障害者・老人福祉センター	交通事故の特徴などを知る
2 月 22 日	人事考課者向け研修	摂津宥和会	オンライン	人事考課制度の概要や心得など

実 施 日	研 修 名	主　催	場　所	内　容
3 月 22 日 3 月 23 日	障がい者の地域生活を支える体制づくり	大阪府障がい者自立相談支援センター	オンライン	地域移行を知る
3 月 20 日 3 月 31 日	身体拘束など適正化に関する研修	摂津宥和会	・みきの路 ・録画視聴	他法人の身体拘束適正化の取り組みについて

（6）関係機関との会議

会議名	会議内容	回数
茨木・摂津障害者就業・生活支援センター 運営会議	事業報告、事業計画、今年度の取り組みについて対面会議にて実施	年 1 回
大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会	・基調講演「精神障害者等の職場定着を図るための SST 等を活用したグループワークの実施」 ・厚生労働省より就ぽつが今後担う役割・方向性について ・課題検討「府連のこれから」 ・障がいがある方への定着支援の実際 意見交換会	年 4 回
大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会 A ブロック	・自己紹介と前年度の報告、今年度取り組み ・労働基準法について ・職場のハラスメント防止について ・障害者就労支援のために知っておきたい社会保険労働保険	年 4 回

令和４年度障害者就業・生活支援センター近畿ブロック意見交換会	地域のジョブコーチとの連携、支援者による復職支援について、意見交換会 11 月にオンライン会議で実施 幹事は京都労働局	年１回
摂津市障害者地域自立支援協議会全体会	専門部会からの報告、摂津市障害者相談支援事業の報告、基幹相談支援センター等機能強化事業の報告 摂津市障害福祉計画等の実績等について	年１回
摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会	各センター近況報告、部会報告、その他	年６回
茨木市障害者地域自立支援協議会全体会議	・茨木市障害者地域自立支援協議会の概要 　障害者相談支援体制及び相談支援実施状況 ・各部会の報告	年２回
茨木市障害者地域自立支援協議会定例会	障害者地域自立支援協議会関係課所管の主な事業について、各部会・PT の報告、定例会メンバーからの報告、意見交換 9 月・１月はオンライン開催、その他は集合開催	年７回
茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会	コロナ禍の情報交換、各機関からの状況報告、立命館大学訪問など茨木市内大学との連携を行う、障害者雇用支援セミナー、事業所向け研修会の実施。 集合開催４回、ハイブリット開催１回、オンライン１回	年６回
茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会 コア会議	就労支援部会の事前打ち合わせや研修会の企画、意見交換。参加者は５名で、少人数で深い所まで打ち合わせができた。会議はオンライン会議	年６回

大阪府立摂津支援学校運営協議会	今年度の学校経営計画について、今年度の使用教科書について、学校教育自己診断について、授業見学、ICT 活用の実際と課題、進路状況、	年 3 回
大阪府立とりかい高等支援学校運営協議会	学校経営計画について、授業参観アンケート、教科書について、進路状況について、学校教育自己診断実施について	年 3 回
三島ブロック進路指導関係機関連絡会	各校より 3 年生の進路状況について、各関係機関より報告・情報提供及び情報共有、その他連絡事項。第 1 回はとりかい高等支援学校、第 2 回は茨木支援学校で開催	年 2 回
特別支援学校と障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議	各支援学校の進路進捗状況、各センターの近況、児童養護施設利用生徒の状況確認、企業情報の交換 集合開催	年 3 回
令和 4 年度　摂津市障害者虐待防止ネットワーク会議	令和 3 年度摂津市障害者虐待の状況 書面開催で実施	年 1 回
摂津市就労支援ネットワーク会議	・各事業所近況報告と課題 ・特例子会社について ・支援学校について	年 3 回

（7）就業・生活支援センターのＰＲ活動

摂津市、茨木市の障がい福祉担当課、商工担当課をはじめ、両市の広報への掲載や茨木公共職業安定所等主催の障がい者合同面接会において企業、求職者に対してＰＲ活動に努めた。

（8）新型コロナウイルス感染防止に伴う措置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかで、摂津市や大阪府から発表される情報を集めつつ、感染防止のための対策を以下のとおり実施した。

① 環境整備等の対策

三密を避けるために面談室や会議室の定員制を導入して使用人数制限措置を実施したり、新たに二酸化炭素濃度計測器の設置、来所者への健康チェックカードの記入依頼を実施した。

② 職員の感染防止対策

当センターの業務の性質上、訪問業務が多く外部と接触する機会が多くなる。そのために、法人の「新型コロナウイルス感染防止のための職員行動指針」をもとに当センター独自の感染防止及び感染者等が発生した場合のマニュアルを作成して職員に対して出勤時の検温と手洗い、業務中の行動履歴の作成(勤務時間外についても行動履歴の作成を勧奨)、食事時以外のマスクの着用、手の触れる場所の随時の消毒等を行った。

さらに、やむなく感染者や濃厚接触者、感染が疑われる利用者等との接触が必要な場合に備えて防護服等の備蓄と着脱訓練を実施した。

また、府内における感染者数等情報や施策、注意喚起等の行政情報や法人理事長による感染予防にかかる注意喚起等を職員全員で共有しつつ、当センター独自の感染防止マニュアルに沿った自己評価を月初めに実施して感染防止に対するモチベーションの維持、向上に引き続き努めた。

③ 利用者への感染防止対策

来所者に対しては、マスクの着用と自動検温アルコール消毒器を設置し、来所時に検温と手指の消毒と健康チェックカード記入への協力を依頼した。また、府知事から府民への要請内容をホームページや館内掲示により、情報提供と協力依頼を行った。

感染防止にかかる個別の相談やコロナ禍における生活面での困りごと、不安等についての相談は随時、対応した。さらに、利用者や家族、関係する支援者等が感染者または、濃厚接触者等になった場合に正しい状況を把握するための聞き取りシートを作成し、運用した。

④ 法人内の居住系サービス施設、事業所との連携

法人内の居住系サービス施設、事業所において感染者が発生した場合の当センター職員による応援体制を構築した。